Canon

Canofax L380S

ユーザーズガイド



最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

• 設置について知るには	スタートアップガイド（紙マニュアル）
• 基本的な使いかたを知るには • 困ったときには	ユーザーズガイド（本書）（紙マニュアル）
• プリンタドライバのインストールのしかたなどについて知るには	ソフトウェアガイド（CD-ROM）

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

ユーザーズガイドの構成について

第14章 各種機能の登録 / 設定

第15章 付録

本製品の仕様や索引を掲載しています。

目次

第 4 章　ダイヤル登録機能

第 5 章　ファクスの送信

第 6 章　受信するには

第 7 章　ポーリング機能を使う

第 8 章　その他の機能

第 9 章　コピーするには

第 10 章　システムモニタ

第 11 章　各種レポート / リストをプリントする

第 12 章　困ったときには

第 13 章　日常のメンテナンス

第 14 章　各種機能の登録 / 設定

第 15 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン Canofax L380S をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

また本書では、操作するキーとディスプレイに表示されるメッセージを区別するために以下のように表記しています。

- キー名称：[ストップ]
- ディスプレイ：<メモリジュシン>

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、Canofax はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

注意事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

［関係法律］

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

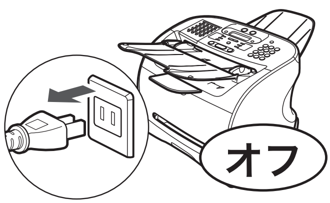
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。また、通常の使い方以外で発生した故障は保障の対象外となりますのでご注意ください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源コードを抜いてお近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  ・ネックレスなどの金属物
  ・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器



注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  ・湿気やほこりの多い場所
  ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  ・直射日光のあたる場所
  ・高温な場所
  ・火気に近い場所

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不十分ですと、火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  〈アース線を接続してもよいもの〉

  電源コンセントのアース端子

  接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  〈アース線を接続してはいけないもの〉

  水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。

  電話線のアースや避雷針：落雷のときに大量の電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。
- 原則的に延長コードを使用しないでください。また、延長コードの多重配線をしないでください。火災や感電の原因になることがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100 V 15 A 以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源コードを抜き、電話線コードを取り外してください。そのまま移動すると電源コードや電話線コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にクリップやホチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源コードを抜いてお近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- プリント中は、排紙トレイに触れたりしないでください。けがの原因になることがあります。
- 夜間や連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードを抜いてください。
- レーザ光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開かないでください。
- カバー内部に貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

DANGER - Invisible laser radiation when open.
AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
CAUTION - CLASS 3B. INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION - RAYONNEMENT LASER INVISIBLE DE CLASSE 3B.
EN CAS D'OUVERTURE ÉVITEZ L'EXPOSITION AU FAISCEAU.
VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG
GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
PRECAUCIÓN - RADIACIÓN LÁSER INVISIBLE DE CLASE 3B PRESENTE AL ABRIR.
EVITE LA EXPOSICIÓN AL HAZ.
VARNING - KLASS 3B OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD.
STRÅLEN ÄR FARLIG.
VAROITUS - LUOKAN 3B NÄKYMÄTTÖMÄLLE LASER-SÄTEILYÄ AVATTUNA.
VÄLTÄ ALTISTUMISTA SÄTEELLE.
주 의 - 열리면 등급 3B 비가시 레이저 방사선이 방출됩니다.
광선에 노출을 피하십시오.
注 意 - ここを開くとクラス3B不可視レーザ放射が出ます。
ビームに身をさらさないこと。
RU5-8126

- 万一、レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

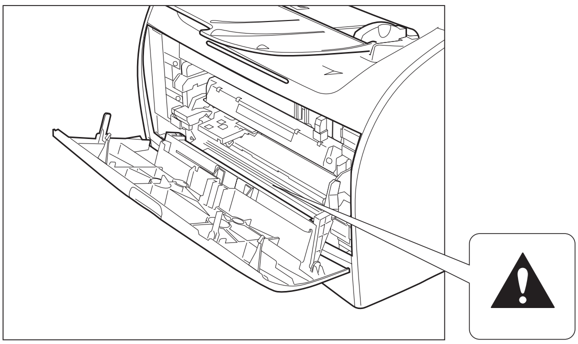
保守 / 点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは電源コードを抜いてください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを定期的に抜き、その周辺および電源コンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源コードを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように注意してください。やけどや感電の原因になることがあります。
- 使用済みのトナー容器を火中に投じないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やトナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに必ず水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散り、目や口に入らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- トナー容器を補給口から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などに入らないように、丁寧に取り出してください。万一、トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナー容器を火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。
- トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になることがあります。
- トナー容器を廃棄する場合は、回収窓口までお持ちいただくか、トナーが飛び散らないようにトナー容器を袋に入れて、自治体の指示に従って処理してください。

⚠ 注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 新しいトナーカートリッジを振るときは、静かに振ってください。激しく振るとトナーが飛び散ることがあります。

その他

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
  - 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

お使いになる前に

1
CHAPTER

本製品を使ってできることや本体各部の名称とはたらき、開梱してから電源を入れるまでの手順などについて説明します。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

本製品の特長

標準装備

■ **超高品質 (UHQ) 画質**
キヤノンの鮮明画像処理技術の搭載により、原稿に忠実で鮮明な画像が再現できます。

■ **レーザショットプリンタ**
レーザ技術により、静かで清潔な高品質印刷を可能にしました。

■ **ECM（Error Correction Mode: 自動誤り訂正モード）による通信**
自動誤り訂正モードにより、ECM 対応機種同士の通信時のエラーを低減することができます。

■ **FAX/TEL 自動切り替え**
ファクスと電話を自動的に識別できるため、1 本の電話回線で両方の受信が可能です。

■ **留守番電話接続**
留守番電話を接続できるため、留守中でもメッセージの受信が可能です。

■ **メモリ送受信**
最大 510* ページ分のファクスをメモリに保存できます。また、プリント中のファクス受信も可能です。

■ **縮小プリント**
本製品にセットされている用紙のサイズに合わせて、受信したファクスのサイズを自動的に調節します。

* キヤノン FAX 標準チャート No.1（標準モード）使用時

■ **簡単メンテナンス**
トナーとドラムを収納したカートリッジ W 対応で、装着や交換が容易です。

■ **経済的なトナー節約プリント**
エコノミープリントモードで、トナー消費量を約 30% 節約できます。

■ **最大 99 枚の連続コピー**
最大 99 枚の連続コピーが可能です。（A4 サイズで毎分最大 18 枚出力可能）

■ **解像度**
読み込み解像度は 300 × 300dpi、書き込み解像度は 1200dpi 相当× 600dpi です。

■ **拡大 / 縮小コピー**
50 〜 200% の、拡大 / 縮小コピーができます。

■ **ソートコピー**
出力されたコピーをページ順に並べることができます。複数ページから成る書類を複数部コピーする際に便利です。

■ **オートダイヤル機能**
3 つのオートダイヤル機能（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）を使用して、電話およびファクス番号を登録することにより、簡単で効率的な通信ができます。

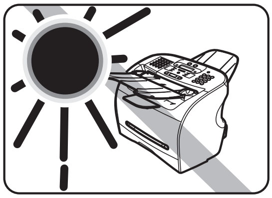
カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、第 12 章 「困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

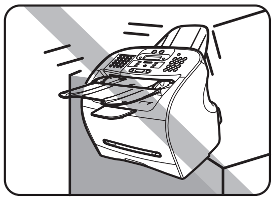
設置場所について

本製品の設置場所は下記のとおりです。

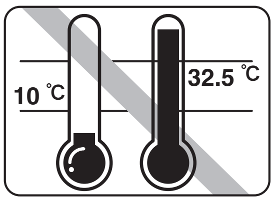
■ **直射日光の当たる場所を避けてください。窓のそばに置かなければならない場合は、厚地のカーテンやブラインドで遮光してください。また、本体の通気口やルーバを塞がないでください。**



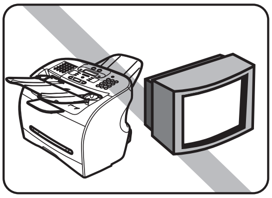
■ **平らで安定した、振動の少ない場所に置いてください。**



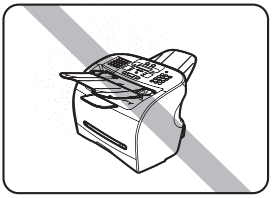
■ **温度変化や湿度変化の激しい場所を避けてください。周囲温度が 10 ～ 32.5 ℃、周囲湿度が 20 ～ 80%RH の範囲内の場所でご使用ください。**



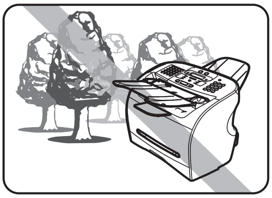
■ テレビやラジオ、コピー機、エアコン、コンピュータなど強い磁気を発するものの近くに置かないでください。本製品の動作を妨げる電気的ノイズの原因になることがあります。



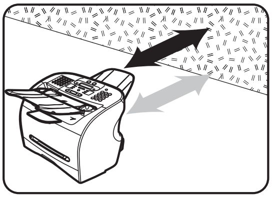
■ ほこりやチリなどの多い場所には置かないでください。



■ 屋外での使用や保管はしないでください。

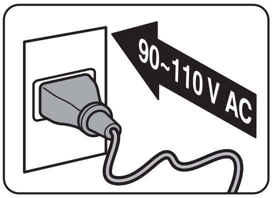


■ 本製品を壁や他の製品から 10cm 以上離し、背面にある通気口を塞がないように置いてください。通気口を塞ぐと、本製品が過熱して故障の原因になることがあります。

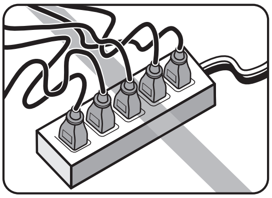


電源について

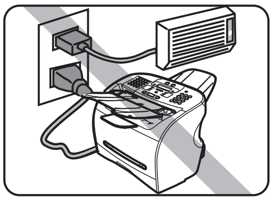
■ 電源は 100V（90V ～ 110V）の電源コンセントからとってください。本製品は日本国内電源仕様です。海外ではご使用になれません。



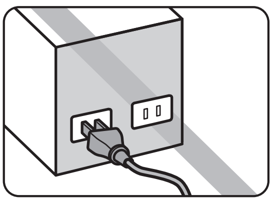
■ テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。



■ 本製品を接続する電源コンセントには、エアコン、コンピュータ、タイプライター、コピー機など、電気ノイズを発生する製品を同時に接続しないでください。



■ 電源コードを UPS（無停電電源装置）に差し込まないでください。



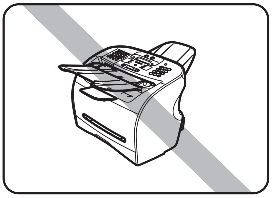
■ 感電防止のため必ずアース線を接続してください。

- アース線を接続してよいもの
  - ・電源コンセントのアース線端子
  - ・接地工事（第D種）が行われているアース線端子
- アース線を接続してはいけないもの
  - ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
  - ・水道管（配管途中がプラスチックになっている場合があり、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には、アース線を接続できます。）
  - ・電話線のアースや避雷針（落雷のときに大量の電流が流れ危険です。）

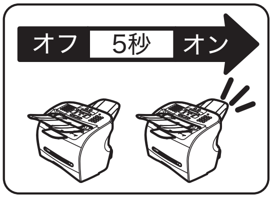
取り扱い上のご注意

本製品をご使用になるときには、以下の注意事項をお守りください。

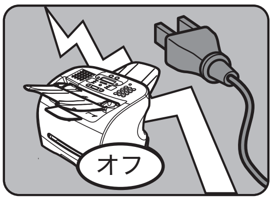
⚠警告　本製品を分解したり、改造したりしないでください。内部の高温、高圧になる部分に触れると、感電の原因になることがあります。



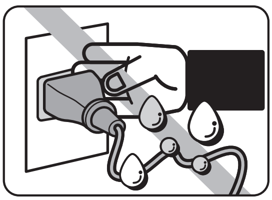
■ **電源コードを抜いてから再び差し込むときは、５秒以上の間隔をおいてください。**



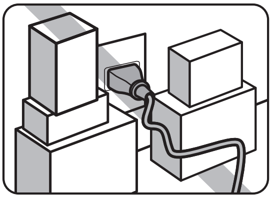
■ **近くで雷が発生したときには、本製品の電源コードを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。**



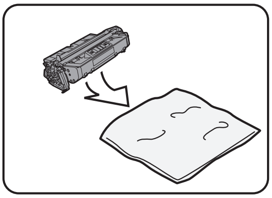
■ **電源コードの抜き差しは、必ず乾いた手で行ってください。**



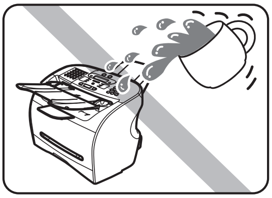
■ 本製品から異音や煙が発生した場合は、直ちに電源コンセントから電源コードを抜き、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。また、すぐに電源コードが引き抜けるように、電源コンセントの周りに箱を積み重ねたり、家具を置いたりしないでください。



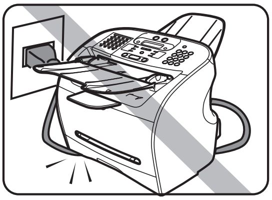
■ 本製品を輸送する場合には、トナーカートリッジを取り出し、光が当たらないよう保護袋に入れるか、布で包んでください。



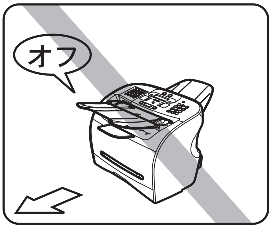
■ 水や洗剤などの液体や、ピンやクリップ、ホチキスなどの小物を近くに置かないでください。万一、本体内部にこれらのものを落とした場合は、電源コンセントから電源コードを抜き、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。



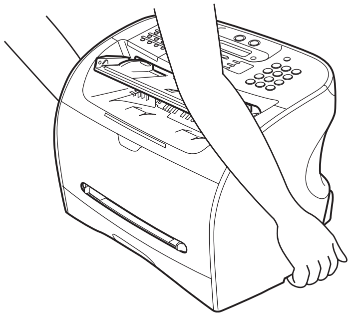
■ 電源コードを踏みつけたり、家具や他の電気製品など重いものを載せたりしないでください。また、電源コードに結び目を作ったり、覆ったりしないでください。



■ プリント中に電源コードを抜くと、紙づまりの原因になることがあります。紙づまりが起きた場合には、プリンタカバーを開けるかカセットを取り出して、つまった用紙を取り除いてください。



■ 本製品を持ち上げる場合は、電源コードを抜いてから必ず下の図のように行ってください。絶対にカセットやその他の部分を持って持ち上げないでください。



同梱品の確認

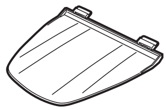
お買い上げいただいた本製品には、本体と以下の付属品が同梱されています。ご確認ください。

すべての同梱品を箱から慎重に取り出します。誰かに箱を押さえてもらいながら、本製品と梱包材を箱から取り出してください。

本製品を箱から取り出した後、本製品の移動や輸送に備えて、箱と梱包材は保管しておいてください。



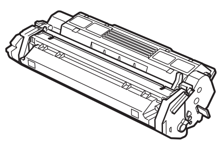
本体



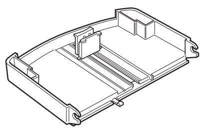
原稿排紙トレイ



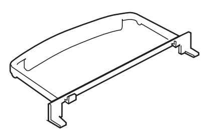
排紙トレイ



カートリッジ　W
スターター



延長カセット



延長カバー

電源コード

電話線コード

スタートアップガイド

ユーザーズガイド

保証書

宛先ラベル

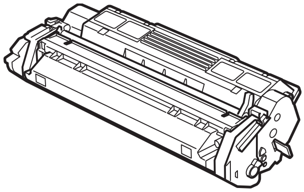
ワンタッチシート

ユーザソフトウェア CD

付属品が破損または不足していた場合は、直ちにお近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

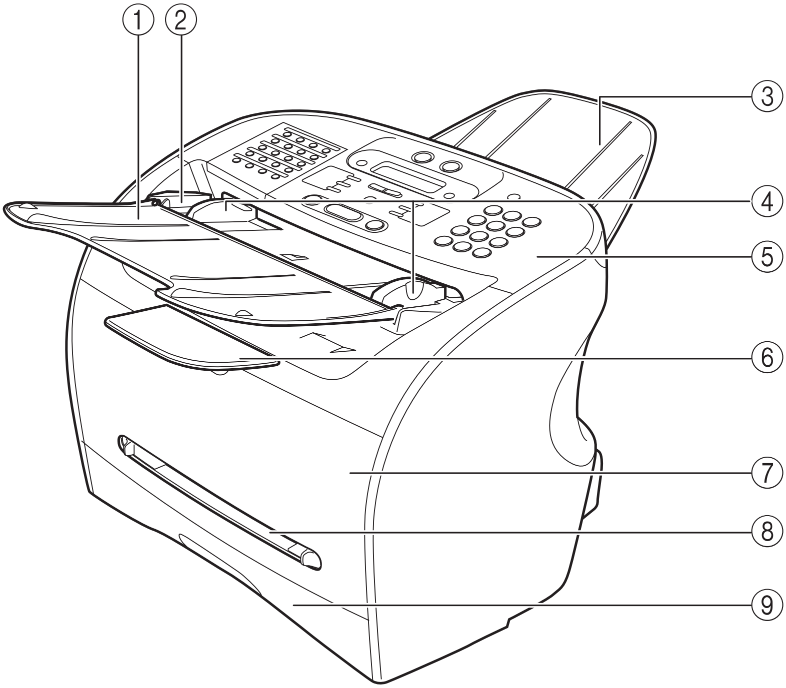
消耗品

- カートリッジ W



各部の名称とはたらき

本体前面



① **原稿給紙トレイ**
原稿をセットします。

② **ADF（自動原稿給紙装置）**
セットされた原稿を自動的にスキャンユニットに送り込みます。

③ **原稿排紙トレイ**
読み込まれた原稿は、ここに排紙されます。

④ **スライドガイド**
原稿の幅に合わせて調整します。

⑤ **操作パネル**
本製品を操作します。

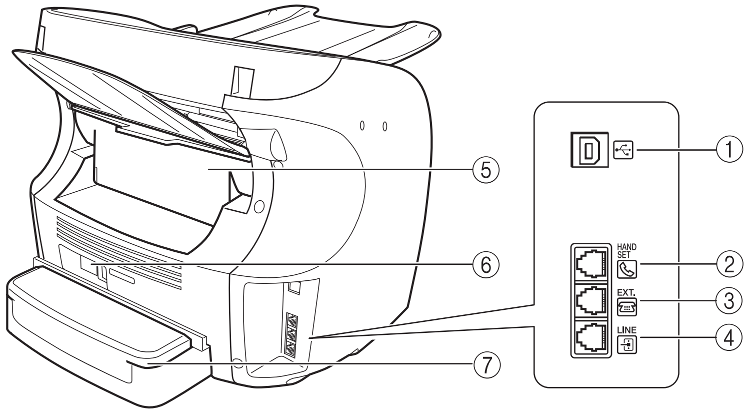
⑥ **排紙トレイ**
プリンタの出力紙を排紙します。

⑦ **プリンタカバー**
カートリッジを装着したり、つまった用紙を取り除くときに開きます。

⑧ **マルチフィーダ**
手差しで 1 枚ずつプリントするときに使用します。

⑨ **カセット**
用紙をセットします。

本体後面



① **USB ポート**
USB（Universal Serial Bus）ケーブルを接続します。

② **ハンドセット接続端子**
ハンドセット（オプション）を接続します。

③ **電話機接続端子**
電話機を接続します。

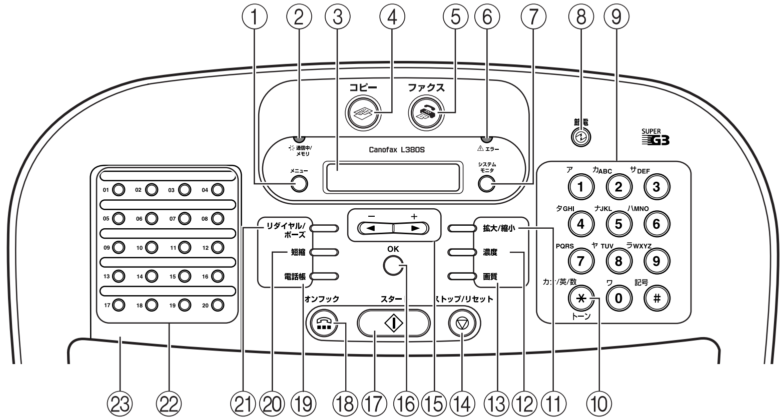
④ **電話回線接続端子**
電話線コードを接続します。

⑤ **フェイスアップカバー**
用紙を上向きに出力する場合、またはつまった用紙を取り除く場合に開きます。

⑥ **電源ソケット**
電源コードを接続します。

⑦ **延長カバー**
カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。

操作パネル



① **[メニュー] ボタン**
各種の設定を行うときに使います。

② **通信中 / メモリランプ**
電話回線の使用中に点滅します。コピーやレポート、代行受信などでメモリが使用されているときには点灯します。

③ **ディスプレイ**
本製品の使用中にメッセージや動作状況を表示します。

④ **[コピー] ボタン**
コピー機能を使うときに押します。

⑤ **[ファクス] ボタン**
ファクス機能を使うときに押します。

⑥ **エラーランプ**
紙づまりが発生した場合、または用紙やトナーがなくなった場合に点滅します。

⑦ **[システムモニタ] ボタン**
コピー、ファクス、プリント、レポート出力の状況を確認するときに押します。

⑧ **[節電] ボタン**
手動で節電モードに設定、または解除するときに押します。節電モードに移行すると緑色に点灯します。

⑨ **テンキー**
ダイヤルするとき、または文字や数字を登録するときに使用します。

⑩ **[トーン] ボタン**
ダイヤル回線でトーン信号を送出するときに押します。

⑪ **[拡大 / 縮小] ボタン**
コピーの拡大 / 縮小率を設定するときに押します。

⑫ **[濃度] ボタン**
コピーの濃度を調節するときに押します。

⑬ **[画質] ボタン**
ファクスまたはコピーする原稿の画質を選択するときに押します。

⑭ **[ストップ / リセット] ボタン**
ファクスの送受信などの操作をキャンセルし、スタンバイ表示に戻すときに押します。

⑮ **[◀(-)] および [▶(+)] ボタン**
選択項目をスクロールするときに押します。

⑯ **[OK] ボタン**
設定または登録した内容を確定するときに押します。

⑰ **[スタート] ボタン**
ファクスまたはコピーを開始するときに押します。

⑱ [オンフック] ボタン
オプションのハンドセットを置いたままダイヤルするときに押します。

⑲ [電話帳] ボタン
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した相手先を、検索してダイヤルするときに押します。

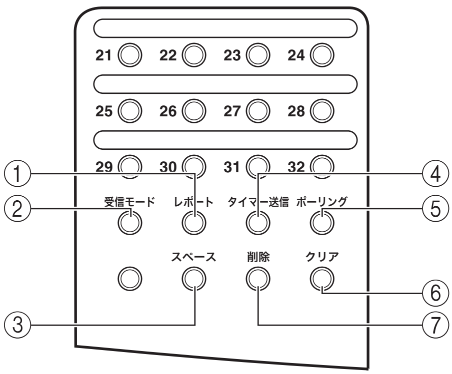
⑳ [短縮] ボタン
短縮ダイヤルに登録した相手先にダイヤルするときに押します。

㉑ [リダイヤル / ポーズ] ボタン
最後にテンキーでダイヤルした番号にかけ直すときに押します。

㉒ [ワンタッチダイヤル] ボタン
ワンタッチダイヤルに登録した相手先にダイヤルするときに押します。

㉓ [ワンタッチダイヤル] パネル
[ワンタッチダイヤル]ボタンや特殊機能ボタンを使用する場合は、このパネルを開いてください。

特殊機能ボタン（ワンタッチダイヤルパネルを開いた状態）





① [レポート] ボタン
通信関連のレポートやダイヤルリストなどをプリントするときに押します。



② [受信モード] ボタン
ファクス受信モードを変更するときに押します。



③ [スペース] ボタン
文字や数字を登録する場合、文字や数字の間にスペースを入力するときに押します。



④ [タイマー送信] ボタン
時刻を指定して送信するときに押します。



⑤ [ポーリング] ボタン
ポーリング送信する原稿を設定し、原稿を受信するファクスをポーリングするときに押します。

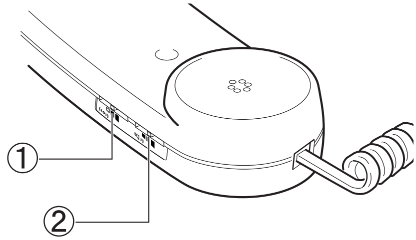


⑥ [クリア] ボタン
登録した情報を消去するときに押します。



⑦ [削除] ボタン
入力した文字を 1 文字ずつ削除するときに押します。

ハンドセット（オプション）



① **呼び出し音量調整スイッチ**
呼び出し音の音量を調整できます。ペンなど先が細いもので、スイッチを調節してください。

② **スピーカ音量調整スイッチ**
ハンドセットのスピーカの音量を調整できます。

節電モード

本製品には、節電機能が搭載されています。5 分以上何も操作をしないと、本製品は自動的に節電モードに移行します。

メモ
- 本製品が節電モードに移行するまでの時間は、3 〜 30 分の範囲で指定できます。また、節電機能をオフにすることもできます。（→第 14 章　「各種機能の登録 / 設定」）
- 本製品が次の状態のときは、節電機能は作動しません。
  - ・コピー、ファクス等のページをプリント中
  - ・ファクスを送受信中
  - ・コピーをメモリに保存中、コピー予約等の機能が動作中、または通信中 / メモリランプが点灯中
  - ・紙づまりが発生した場合
  - ・エラーコードが表示され、エラーランプが点滅した場合
  - ・カセットの用紙が切れた場合

節電モードを手動で設定する



1 [節電] を押します。

ディスプレイがオフになり、節電モードランプが点灯します。

メモ
本製品が節電モードから復帰した直後、またはコピー終了直後は、2 秒以上間隔をおいてから、[節電] を押してください。

節電モードから復帰する



1 [節電] を押します。

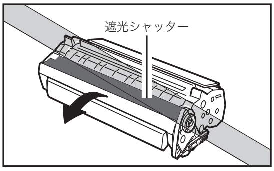
節電モードランプが消灯し、本製品はスタンバイモードに移行します。

メモ
本製品は節電モードからすぐに復帰することができますが、復帰時間は室温や周囲の環境などによって異なる場合があります。

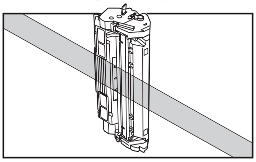
トナーカートリッジ

カートリッジを扱う / 保管する

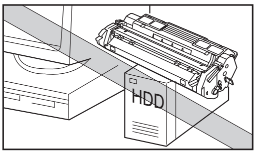
- カートリッジの遮光シャッターを開かないでください。ドラム表面が光に当たって損傷すると、プリントの品質が劣化する場合があります。



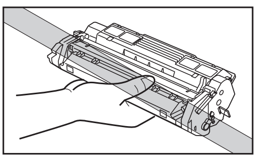
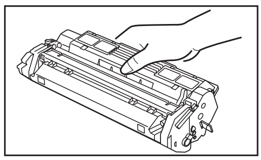
- カートリッジを立てたり、上下逆にしたりしないでください。トナーがカートリッジ内で固まると、カートリッジを振っても元に戻らない場合があります。



- カートリッジはコンピュータの画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクから離れた場所に保管してください。カートリッジ内の磁石によって損傷する場合があります。



- 絶対に遮光シャッターに触れないでください。カートリッジを持つ際は、手が遮光シャッターに触れないように注意してください。

- トナーカートリッジを直射日光に当てないでください。また､5分以上光に当てないでください。
- カートリッジを直射日光の当たる場所で保管しないでください。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- カートリッジを保護袋に入れて保管してください。本体にセットする直前まで、袋を開けないでください。
- 保護袋は保管しておいてください。使用済みのカートリッジを、後日、梱包し直して輸送する際に必要になります。
- 空気に塩分が多く含まれている場所、またはスプレーなど腐食性ガスが発生する場所にカートリッジを保管しないでください。
- 必要な場合以外は、本体からカートリッジを取り外さないでください。
- 本体を廃棄する場合は、必ずトナーカートリッジを本体から取り外してください。

注意 カートリッジを火中に投じないでください。トナーは可燃性です。

トナーカートリッジをセット / 交換する

本製品ではキヤノンカートリッジ W を使用します。

カートリッジのトナーが均一でないために、< カートリッジガ カラニ ナリマシタ > というメッセージが表示されることがあります。カートリッジを交換する前に、P.1-21 の手順 4 に従って、トナーを均一にしてみてください。その後もメッセージが表示された場合、またはプリントの品質が悪い場合は、次の手順に従って、カートリッジを交換してください。

1 本体から原稿とプリントされた用紙を取り除きます。

2 本体の電源プラグが接続されていることを確認します。

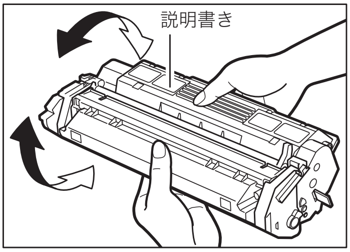
3 カートリッジを保護袋から取り出します。

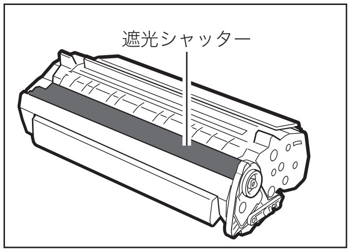
重要 トナーカートリッジ交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	同梱品 / 交換品	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
Canofax L380S	同梱品	Canon Cartridge W Starter	A4 サイズで約 2,500 枚
	交換品	Canon Cartridge W	A4 サイズで約 3,500 枚

メモ トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。紙づまりを取り除くときや本製品の移送時に必要になります。

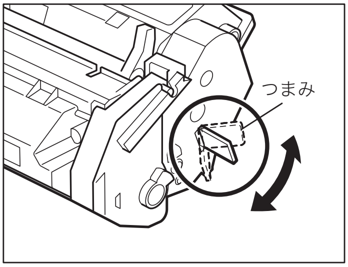
4 カートリッジをゆっくりと数回振って、内部のトナーを均一にならします。

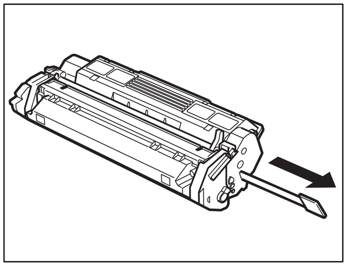




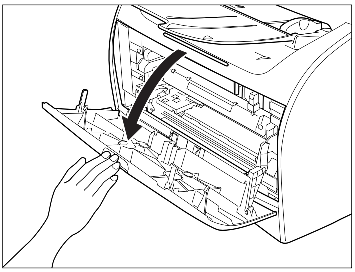
メモ　ラベルが上になるよう、必ず上図のようにカートリッジを持ってください。遮光シャッターを、無理に動かしたり押したりしないでください。

5 カートリッジを平らな安定した面に置き、片手で押さえ、もう一方の手でつまみを折り曲げ、つまみに付いているテープを引き抜きます。



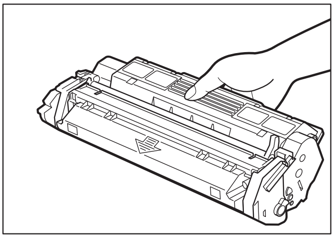


6 プリンタカバーを開きます。

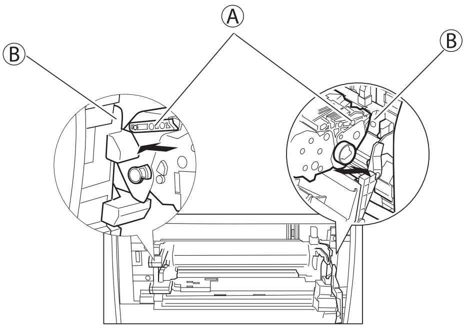


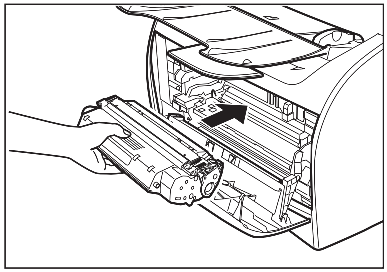
メモ　本体から古いカートリッジを取り出してください。その後すぐに、消耗品の処分に関する地域の条例や規制に従って、古いカートリッジを廃棄してください。

7 図のように、カートリッジの矢印が本体の内側を向くようにカートリッジを持ちます。



8 カートリッジの両側Ⓐを本体のガイドⒷに合わせ、カートリッジをスライドさせながら本体にセットします。





9 プリンタカバーを閉じます。

プリンタドライバ

本製品に付属しているCARPSプリンタドライバを用いて、コンピュータからプリントすることができます。

- 本製品をWindowsアプリケーションの標準のプリンタとして使用してください。
- CARPSプリンタドライバの詳細については、付属のCD-ROMに収められているソフトウェアガイドを参照してください。

システム要件

CARPSプリンタドライバは、次のシステム環境で使用できます。

● OS

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（x86アーキテクチャ）

● コンピュータ

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPが正常に動作するコンピュータ

● ハードウェア環境

CARPSプリンタドライバを使用するには、次のコンピュータ環境が必要です。

- IBMまたはIBM互換機
- CD-ROMドライブまたはCD-ROMにアクセス可能なネットワーク環境
- USBポートを搭載し、USBクラスドライバがインストールされたPC

OS	CPU	RAM	ディスク空き容量
Windows 98	Intel® Pentium® 90MHz以上	32MB以上	100MB以上
Windows Me	Intel® Pentium® 150MHz以上	32MB以上	100MB以上
Windows 2000* Professional	Intel® Pentium® 133MHz 以上または互換マイクロプロセッサ（2プロセッサまでサポート）	64MB以上	500MB以上
Windows XP*	Pentium Family® 233MHz以上	64MB以上	500MB以上

* 管理者権限を持つユーザアカウントとしてログオンしてください。

本製品へのデータの登録

2
CHAPTER

本製品へのデータの入力方法について説明します。

情報の入力

本製品へのユーザ情報の入力方法について説明します。

メモ　入力中に 2 分以上の中断があると、本製品はスタンバイモードに戻り、その時点までに入力したすべての情報が消去されます。この場合は、最初から操作をし直してください。

文字を入力する

テンキーのそれぞれのキーには、入力できる数字と文字が割り当てられています。各キーを押して入力できる文字については、次の表を参照してください。

ボタン	カタカナ	アルファベット
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@ . – _ /
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz
0	ﾜｦﾝ	
#	ﾞ ﾟ ｰ	– . ＊ # ! “ , ; : ^ ` _ = / l ’ ? $ @ % & + ¥ ( ) [ ] { } < >
＊	カタカナ入力 ⟶ アルファベット入力 ⟶ 数字入力	

ディスプレイの右上に入力モードが表示されたら、以下の手順に従って文字を入力してください。

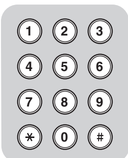
```
                         :ｱ
_
```



1 [✱] を押して、入力モードを切り替えます。

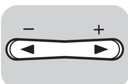
表示	入力モード	入力できる文字、数字
:ア	カタカナ	カタカナが入力できます。記号を入力する場合は、[#] を押してください。
:A	アルファベット	アルファベットが入力できます。記号を入力する場合は、[#] を押してください。
:1	数字	数字が入力できます。

メモ
- 入力モードは [✱] を押すたびに、カタカナ→アルファベット→数字と変わり、カタカナに戻ります。
- テンキーには、入力できる数字と文字が割り当てられています。テンキーの同じキーを押すたびに、文字が切り替わります。



2 テンキーで文字または数字を入力します。

入力したい文字または数字が表示されるまでキーを押してください。



- **同じキーに割り当てられている 2 つの文字または記号を入力する場合**

テンキーを押した後に [▶ (+)] を押し、もう一度同じテンキーを押します。

- **例えば、< ササ > と入力する場合は、[3] → [▶ (+)] → [3] の順に押します。**



- **スペースを入力する場合**

ワンタッチダイヤルパネルの [スペース] を押します。



- **1 文字を削除する場合**

ワンタッチダイヤルパネルの [削除] を押します。



- **入力した文字や数字をすべて削除する場合**

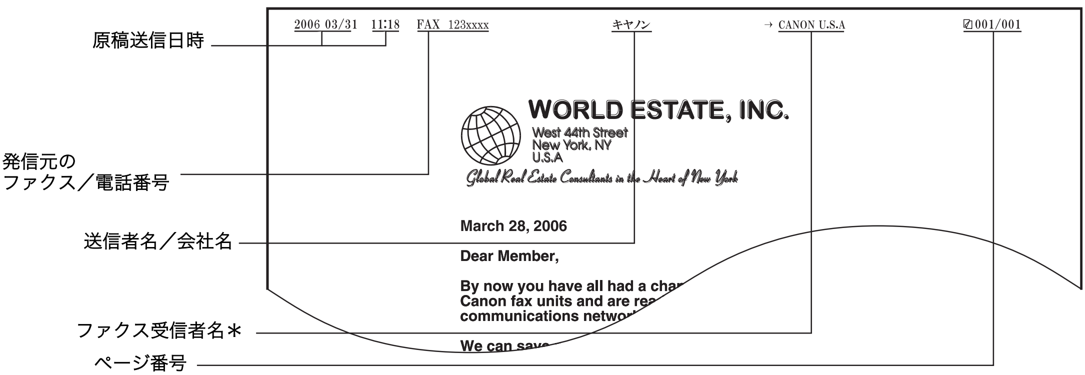
ワンタッチダイヤルパネルの [クリア] を押します。

発信元の情報を登録する

送信した相手の記録紙にプリントされる発信元の情報（電話番号や日付 / 時刻など）を登録します。

発信元情報とは

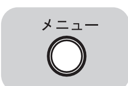
発信元情報は、以下のように相手先の記録紙上部にプリントされます。受信側は発信元情報により送信相手を確認することができます。



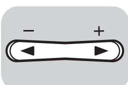
＊ ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使用した場合は、登録された名前も一緒にプリントされます。

日付 / 時刻を登録する

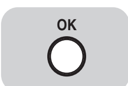
以下次の手順に従い、現在の日付と時刻を設定します。

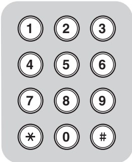


1 **[メニュー] を押します。**



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <7.タイマー セッテイ> を選択し、[OK] を 2 回押します。**







3 テンキーで日付（年 / 月 / 日）と時刻（24 時間表示）を入力し、[OK] を押します。

ヒヅケ/ジコク　セット '06　03/31　15:10	→	タイマー　セッテイ 2.オートクリア

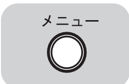
西暦の下 2 桁のみを入力してください。



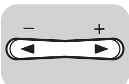
4 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

ユーザ電話番号とユーザ略称を登録する

以下の手順に従い、本製品の電話番号と会社や部署の名称などを登録します。



1 [メニュー] を押します。



2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <4. ファクス キノウ セッテイ> を選択し、[OK] を 4 回押します。



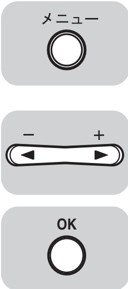


3 テンキーでファクス / 電話番号（スペースを含めて最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。

ユーザ゛TEL 123xxxxxxx	→	デ゛ンワ　カイセン　セッテイ 2.カイセン　シュルイ　センタク



数字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。



4 **[メニュー] → [◀ (-)] または [▶ (+)] の順に押して<2. ユーザ リャクショウ トウロク> を選択し、[OK] を押します。**



5 **テンキーで名前（スペースを含めて最大 24 文字）を入力し、[OK] を押します。**

：ア キヤノン	→ キホン　セッテイ 　３．ハッシンモト　キロク

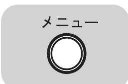
文字の入力 / 削除方法に関する詳細については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。



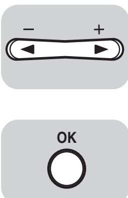
6 **[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。**

電話回線の種類を設定する

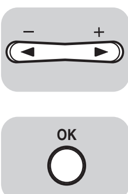
本製品に接続する電話回線の種類を設定します。設定が誤っていると、通信することができません。電話回線の種類を確認して正しく設定してください。電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。



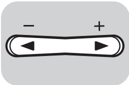
1 **[メニュー] を押します。**



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<4. ファクス キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を 3 回押します。**



3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <2. カイセン シュルイ センタク > を選択し、[OK] を押します。**





4 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して電話回線の種類を選択し、[OK] を押します。

カイセン シュルイ センタク プッシュ カイセン	→	デンワ カイセン セッテイ 3.ソウシン スタート スピード

次の項目から選択できます。

- トーンダイヤルの場合は < プッシュ カイセン >
- パルスダイヤルの場合は < ダイヤル カイセン >

メモ　< ダイヤル カイセン > を選択した場合は、次に < ダイヤル スピード センタク > の画面が表示されます。



5 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

用紙の取り扱い

3
CHAPTER

本製品のさまざまな機能に合わせた用紙の選択および補給方法について説明します。

使用可能な用紙について

記録紙にはキヤノン推奨用紙のご使用をお勧めいたします。市販されている用紙の種類によっては、本製品での使用に適さない場合があります。用紙に関するご質問は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターまでお問い合わせください。

● 用紙の保管

紙づまりを防ぐため、以下の注意事項をお守りください。

- 湿気を防ぐため、使用しない用紙は包装紙に包み、直射日光の当たらない、湿気が少ない場所に保管してください。
- 用紙はカールしないよう、立てたりせず、横にした状態で保管してください。
- 用紙がカールしている場合は、カセットやマルチフィーダにセットする前に、表面が平らになるように戻してください。カールしていると、用紙がしわになり、紙づまりが発生します。

● 使用できない用紙

次の種類の用紙にはプリントしないでください。紙づまりが発生する場合があります。

- 大きくカールした用紙やしわのある用紙
- カラーコピー機 / プリンタ用の OHP フィルム
- 片面がすでにデジタルカラーコピー機でプリントされている用紙（裏面はプリントしないでください。）
- 片面がすでに熱転写プリンタでプリントされている用紙（裏面はプリントしないでください。）

重要　カラー OHP フィルムはプリントしないでください。本製品が正常に機能しないことがあります。

● **使用可能な用紙**

	カセット	マルチフィーダ
用紙サイズ	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、封筒 : 洋形 4 号、洋形 2 号	A4、B5、A5、レター、リーガル、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、封筒 : 洋形 4 号、洋形 2 号、フリー : 216mm x 356mm [最大]/ 76mm x 127mm [最小]
重量	64 g/m^2 ～ 128 g/m^2	
紙種	普通紙（64g/m^2 ～ 90g/m^2)、再生紙（64g/m^2 ～ 90g/m^2)、普通紙 L（64g/m^2)、厚紙（91g/m^2 ～ 105g/m^2)、厚紙 H（106g/m^2 ～ 128g/m^2)、OHP フィルム	

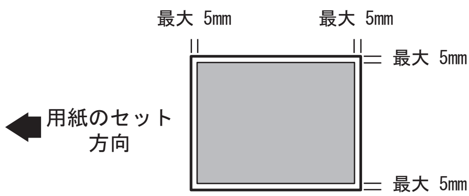
重要
- ファクスを受信するときの用紙サイズは、A4、B5、A5、レターから選択してください。
- ファクスを受信するときは、カセットにセットされた用紙のみ使用できます。マルチフィーダにセットした用紙は使用できません。

メモ
- 用紙サイズ、紙種、指定枚数によって、通常よりもプリント速度が遅くなる場合があります。これは、本製品の加熱を防ぐための安全機能のはたらきによるものです。
- 用紙の種類によっては、カセットやマルチフィーダにきちんとセットできない場合があります。

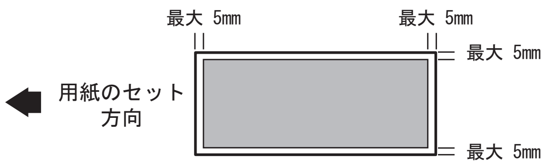
プリント範囲

プリント範囲とは、最良のプリント品質を得られる推奨領域と、本製品がコンピュータから技術的にプリント可能な領域の 2 つの意味で使われますが、推奨領域は下の淡色部分です。
プリント範囲（淡色部分）: この範囲にプリントすることをお勧めします。

● **用紙**



● **封筒**



メモ　コピー範囲はプリント範囲よりも若干大きくなっています。

用紙のセット

カセットおよびマルチフィーダへの用紙のセット方法を説明します。

注意 用紙をセットする際は、用紙の端で手を切らないように注意してください。

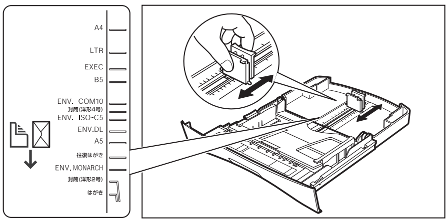
メモ
- マルチフィーダにセットされた用紙は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- カセットには、最大で約250枚の用紙(64 g/m^2)または約20枚の封筒をセットできます。

用紙をカセットにセットする

1 本体からカセットを完全に抜き出します。

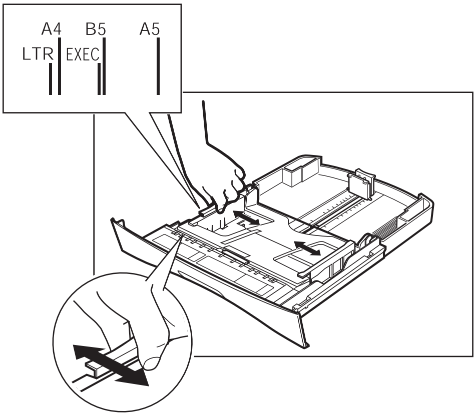
注意 カセットを完全に抜き出さずに用紙をカセットにセットしようとする場合、本製品がひっくり返ってけがをする恐れがあります。

2 カセット後部のガイドをつまみ、用紙サイズに合うようにスライドさせます。

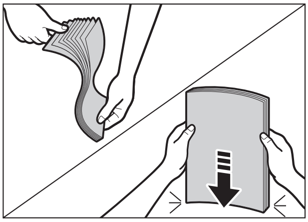


重要 ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

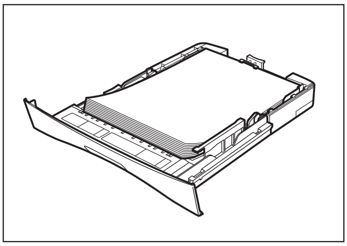
3 左右のガイドをつまみ、用紙サイズに合うようにスライドさせます。



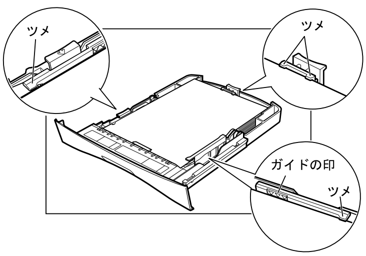
4 用紙を持って端をさばいてから、平らな場所で用紙の縁を揃えます。



5 プリントしたい面を下向きにして、カセットの後ろ側ガイドにぴったりと当ててセットします。

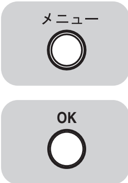


セットした用紙の高さがガイドの印を超えないようにしてください。



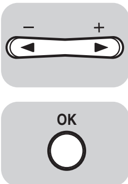
6 カセットを本体に戻します。

メモ　カセットが本体の奥まで差し込まれていないと、紙づまりが発生することがあります。

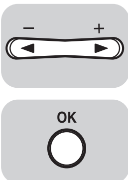


7 用紙のサイズと種類を指定します。

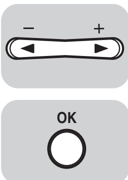
❑ [メニュー] → [OK] の順に押します。



❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.カセット>を選択し、[OK] を２回押します。



❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して用紙サイズを選択し、[OK] を 2 回押します。



❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して紙種を選択し、[OK] を押します。
使用できる用紙の詳細は、P.3-2 を参照してください。



❑ [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

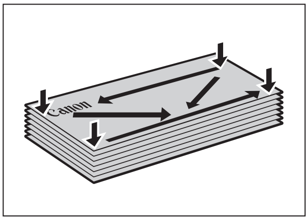
重要
- サイズや種類の異なる用紙を同時にセットしないでください。
- カセットに用紙が残っているときは、用紙を追加しないでください。プリント中に用紙を追加する場合は、カセット内に残っている用紙をいったん取り出してから、新しい用紙と一緒にして端を揃えてセットし直してください。

メモ
- 封筒をセットする場合は、<フウトウ>を選択してください。封筒のカセットへのセットについては、「封筒をカセットにセットする」（→ P.3-6）を参照してください。
- 標準サイズ以外の用紙の使用方法については、「用紙をマルチフィーダにセットする」（→ P.3-8）または「封筒をマルチフィーダにセットする」（→ P.3-10）を参照してください。

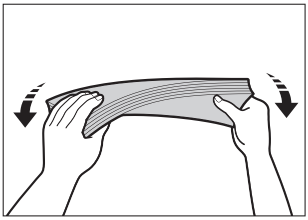
封筒をカセットにセットする

1　安定した清潔な台の上に封筒の束を置き、四隅を押して端を揃えます。

封筒の周りを押してまっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。また、フタの部分も十分に押してください。

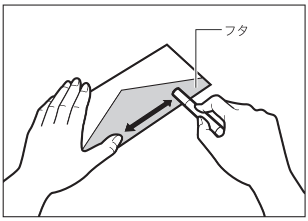


2　封筒がカールしているときは、対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。



3　ペンの軸などの丸いものでフタをまっすぐに伸ばします。

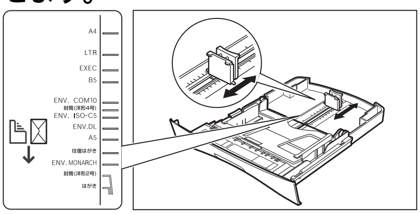
そりやふくらみが 5mm 以内になるようにしてください。



4　平らな台の上で封筒の端を揃えます。

5　カセットを完全に抜き出します。

6　カセット後部のガイドをつまみ、封筒のサイズに合うようにスライドさせます。

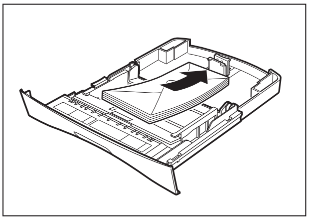


3

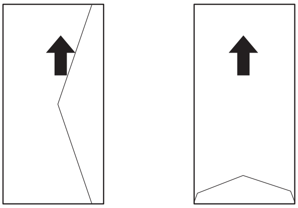
用紙の取り扱い

重要　ガイドが封筒のサイズに合っていない場合、きちんとプリントされないことがあります。

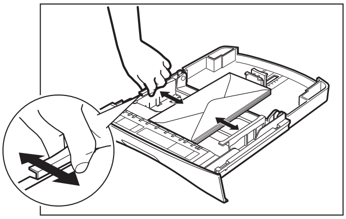
7　プリントしたい面を下向きにして、封筒をカセットにセットします。



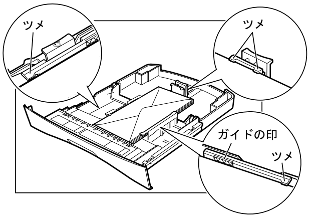
メモ
- 洋形封筒（長いほうの辺にフタがついている封筒）の場合：
  右端から（切手を貼る側）先に封筒をカセットにセットします。
- 長形 / 角形封筒（短いほうの辺にフタがついている封筒）の場合：
  フタがついている辺から先に封筒をカセットにセットします。



8　左右のガイドをつまみ、封筒のサイズに合うようにスライドさせます。

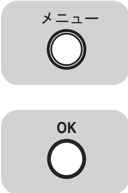


セットした封筒の高さがガイドの印を超えないようにしてください。



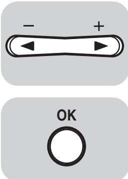
9　カセットを本体の奥まで差し込みます。

メモ　カセットが本体の奥まで差し込まれていないと、紙づまりが発生することがあります。

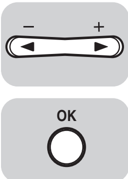


10 用紙のサイズと種類を指定します。

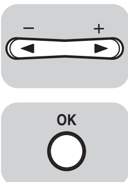
❑ [メニュー] → [OK] の順に押します。



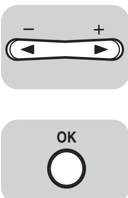
❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.カセット>を選択し、[OK] を２回押します。



❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して < フウトウ > を選択し、[OK] を押します。



❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して封筒サイズを選択し、[OK] を 2 回押します。



❑ [◀ (-)]または[▶ (+)]を押して<アツガミ>または<アツガミH>を選択し、[OK] を押します。
使用できる用紙の種類の詳細は、P.3-2 を参照してください。



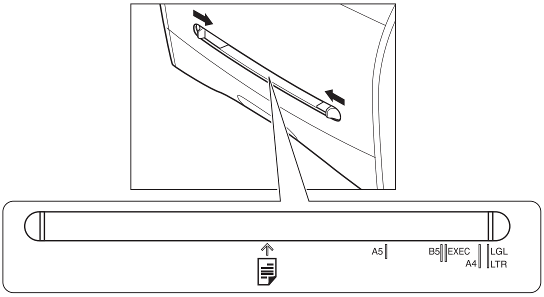
❑ [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

用紙をマルチフィーダにセットする

カセットにセットされている用紙と異なる用紙にコピーまたはプリントする場合は、マルチフィーダを使用します。マルチフィーダには用紙を 1 枚ずつセットします。

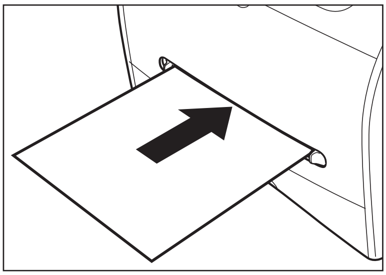
メモ マルチフィーダにセットされた用紙は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。

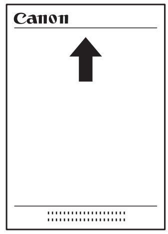
1 左右のガイドをスライドさせ、セットする用紙のサイズに合わせます。



重要 ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

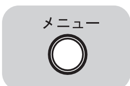
2 プリントしたい面を上向きにして、用紙をマルチフィーダにまっすぐに差し込みます。

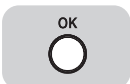




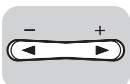
メモ ロゴがプリントされている用紙をセットする場合は、プリントしたい面（ロゴ側）を上向きにし、用紙の上端が先にマルチフィーダに収まるようにセットします。

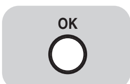
3 用紙のサイズを指定します。



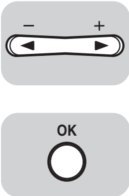


❑ [メニュー] → [OK] の順に押します。



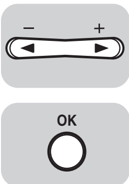


❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<2.テザシトレイ>を選択し、[OK] を2回押します。



❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して用紙サイズを選択し、[OK] を 2 回押します。

メモ
- 封筒をセットする場合は、< フウトウ > を選択してください。封筒のマルチフィーダへのセットについては、「封筒をマルチフィーダにセットする」(→ P.3-10) を参照してください。
- < フリー > を選択した場合は、次の範囲内で用紙の縦横のサイズを指定できます。
  - < タテ サイズ > : 127 ～ 356mm
  - < ヨコ サイズ > : 76 ～ 216mm



4 用紙の種類を指定します。

❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して紙種を選択し、[OK] を押します。
使用できる用紙の種類の詳細は、P.3-2 を参照してください。



❑ [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

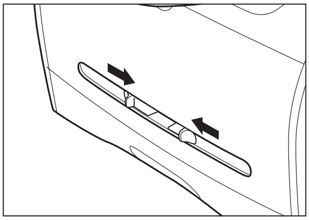
封筒をマルチフィーダにセットする

封筒を 1 枚ずつコピーまたはプリントする場合は、マルチフィーダを使用します。

重要　推奨封筒は洋形 4 号と洋形 2 号のみです。他の封筒を使用すると、きちんとプリントされない場合があります。

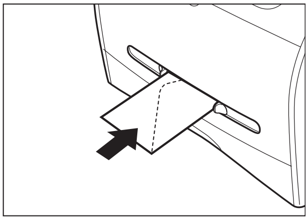
メモ　マルチフィーダにセットされた封筒は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。

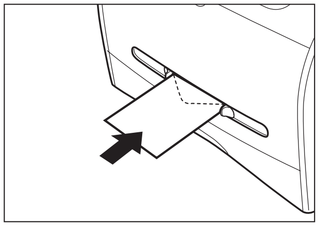
1 左右のガイドをスライドさせ、セットする封筒のサイズに合わせます。



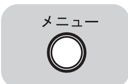
重要 ガイドが封筒のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

2 プリントしたい面を上向きにして、封筒をマルチフィーダにまっすぐに差し込みます。



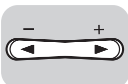


3 用紙のサイズを指定します。



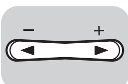


❑ [メニュー] → [OK] の順に押します。



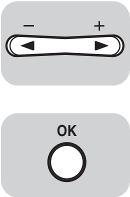


❑ [◀ (-)]または[▶ (+)]を押して<2.テザシトレイ>を選択し、[OK]を2回押します。



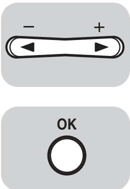


❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して < フウトウ > を選択し、[OK] を押します。



❏ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して封筒サイズを選択し、[OK] を 2 回押します。

メモ　< フウトウ > の代わりに < フリー > を選択することもできます。< フリー > を選択した場合は、次の範囲内で用紙の縦横のサイズを指定できます。
- < タテ サイズ >：127 〜 356mm
- < ヨコ サイズ >：76 〜 216mm



4 用紙の種類を指定します。

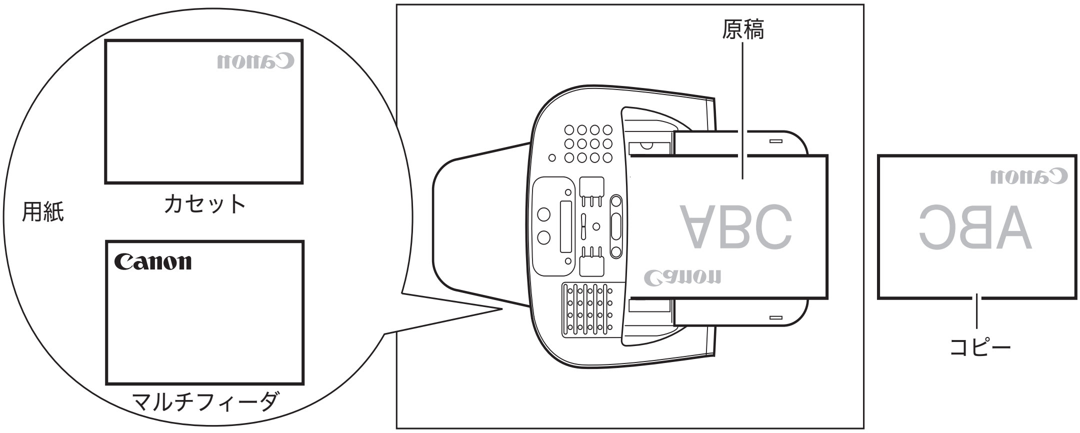
❏ [◀ (-)]または[▶ (+)]を押して<アツガミ>または<アツガミH>を選択し、[OK]を押します。
使用できる用紙の種類の詳細は、P.3-2 を参照してください。



❏ [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

原稿および用紙のセット方向

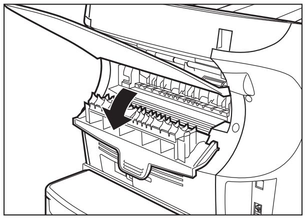
ADF に原稿をセットする場合の原稿の方向と、カセットまたはマルチフィーダにセットする用紙の方向は次のとおりです。



排紙エリアの選択

フェイスダウン排紙エリアには、プリント面を下にして、またフェイスアップ排紙エリアには、プリント面を上にしてトレイに排出されます。フェイスアップカバーを開閉して、目的に合わせてプリント排出部を選択してください。

フェイスアップカバーを開くとフェイスアップ排紙、フェイスアップカバーを閉じるとフェイスダウン排紙になります。



重要　コピー中やプリント中にフェイスアップカバーを開閉しないでください。

紙種と排紙エリア

紙種および目的に合わせて、最適な排紙エリアを選択してください。

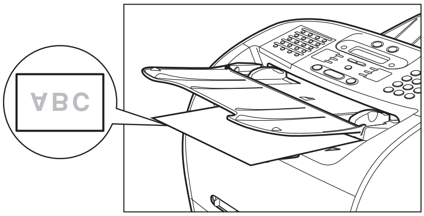
紙種	排紙エリア	出力枚数
普通紙 L	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 50 枚 (64 g/m^2)
普通紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 50 枚 (64g/m^2 ～ 90 g/m^2)
厚紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (91 g/m^2 ～ 105 g/m^2)
厚紙 H	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (106 g/m^2 ～ 128 g/m^2)
OHP フィルム	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 10 枚

使用できる用紙の種類の詳細は、P.3-2 を参照してください。

フェイスダウン排紙エリア

プリント面を下にして用紙が排紙トレイに排出されます。排出された用紙はプリント順に積み重ねられます。

フェイスアップカバーを閉じてください。



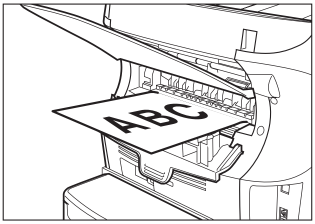
重要
- 排紙トレイに排出された用紙を押し戻さないでください。紙づまりの原因となります。
- 排紙トレイには用紙以外のものを載せないでください。紙づまりの原因となります。
- 大量の原稿をプリントする場合は、排紙トレイを下から支えてください。

フェイスアップ排紙エリア

プリント面を上にして用紙が排出されます。用紙が本体からまっすぐに排出されるため、カールしやすい OHP フィルム、封筒、ラベルのプリントに便利です。

フェイスアップカバーを開いてください。

- 排出された用紙は 1 枚ずつ取り除いてください。



重要
- 無理に用紙を引き出さないでください。
- 本製品にはフェイスアップ排紙トレイは装着されていません。排紙された用紙は手で取り除いてください。
- 紙づまりを防ぐため、排紙エリアの手前にはものを置かないでください。
- 用紙を取り除く際には、指を傷つけないように、フェイスアップ排紙エリアの鋭利な部分に注意してください。

ダイヤル登録機能

4
CHAPTER

本製品のスピードダイヤル機能の登録と利用方法を説明します。

ダイヤル登録の種類

ファクス / 電話番号は、通常のダイヤル方法の他にも、自動的にダイヤルする方法があります。

● **ワンタッチダイヤル**

あらかじめ登録されているワンタッチダイヤルキーを押すだけで、ファクス / 電話番号がダイヤルされます。

● **短縮ダイヤル**

[短縮] と登録されている 2 桁のコードを押すと、ファクス / 電話番号がダイヤルされます。

● **グループダイヤル**

あらかじめグループとして登録された複数のファクス番号に原稿を送信します。(グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録済みのファクス / 電話番号でなければ登録できません。)

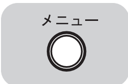
● **電話帳からのダイヤル**

[電話帳] を押し、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した送信先の名前、またはグループダイヤルに登録した名前の最初の文字を入力して、ファクス / 電話番号を検索します。検索された番号に自動的にダイヤルされます。

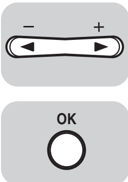
ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを登録する

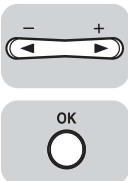
ワンタッチダイヤルには最大 32 箇所のファクス / 電話番号を登録できます。
以下の手順に従い、ワンタッチダイヤル機能を登録します。



1 [メニュー] を押します。



2 [◀(-)] または [▶(+)] を押して<5.アテサキ トウロク>を選択し、[OK] を 2 回押します。



3 [◀(-)] または [▶(+)]、あるいはワンタッチダイヤルキーを押して、登録したいワンタッチダイヤルを 01 ～ 32 の範囲で選択し、[OK] を 2 回押します。

・選択したキーにすでにファクス / 電話番号が登録されている場合は、その番号が表示されます。
・選択したキーがグループダイヤルに登録されている場合は、< グループ ダイヤル > と表示されます。



4 テンキーでファクス/電話番号（スペースおよびポーズを含めて最大120桁）を入力し、[OK] を 2 回押します。

```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ                  :ア
TEL=123xxxx_          →     _
```

・番号の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
・ワンタッチダイヤルパネルを開き、[スペース] を押すと、数字と数字の間にスペースを入力できます。（スペースの入力は任意で、ダイヤル中は無視されます。）
・番号にポーズを入力する場合は、[リダイヤル / ポーズ] を必要な回数押します。



5 テンキーで登録する名前（スペースを含めて最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。

・文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。



6 引き続き番号を登録する場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

番号の登録を終了する場合は、[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

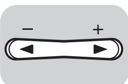
7 ワンタッチダイヤル番号を登録したときは、宛先ラベルに相手の名前を記入し、ワンタッチダイヤルキーの上のワンタッチダイヤルパネルに貼っておくと便利です。

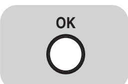
ワンタッチダイヤルに登録されているファクス / 電話番号や名前を変更 / 削除する

ワンタッチダイヤルに登録されている番号や名前を変更したり、すべての登録情報を削除することができます。

■ 番号を削除するには

1 「ワンタッチダイヤルを登録する」(→P.4-2) の手順1と2を実行します。





2 [◀(-)] または [▶(+)]、あるいはワンタッチダイヤルキーを押して、変更 / 削除したいワンタッチダイヤルキーを選択し、[OK] を 2 回押します。



3 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア] を押して番号を削除し、[OK] を押します。



テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ ＴＥＬ＝	→	ワンタッチ タ゛イヤル ２．ナマエ

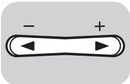
番号を削除すると、その番号に登録されていた名前も一緒に削除されます。



4 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

■ 番号 / 名前を変更するには

1 「ワンタッチダイヤルを登録する」(→P.4-2) の手順1と2を実行します。

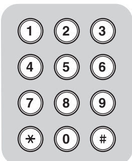




2 [◀(-)] または [▶(+)]、あるいはワンタッチダイヤルキーを押して、変更/削除したいワンタッチダイヤルキーを選択し、[OK] を 2 回押します。



3 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア]を押して、番号を削除します。

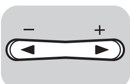




4 テンキーで新しい番号を入力し、[OK] を 2 回押します。

テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ TEL=124xxxx_	→	:ア キヤノンハンハ゛イ_

・番号の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
・数字を 1 つだけ削除する場合は、[◀(-)] または [▶(+)] を押してカーソルを削除する数字の下に移動し、[削除] を押します。



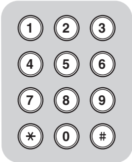




・名前のみを変更する場合は、手順 2 の後に [OK] を 2 回押し、ワンタッチダイヤルパネルを開いてから、手順 5 に進みます。



5 [クリア] を押して、名前を削除します。





6 テンキーで新しい名前を入力し、[OK] を押します。

・文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
・名前を変更しない場合は、手順 7 に進んでください。



7 引き続き番号 / 名前を変更する場合は、手順 2 〜 6 を繰り返します。

番号 / 名前の変更を終了する場合は、[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

ワンタッチダイヤルを使用する

以下の手順に従い、ワンタッチダイヤルを使って原稿を送信します。

1 ADF に原稿をセットします。

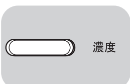
ファクス送信できる原稿の種類、要件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

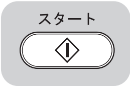
・ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）
・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）

4 相手先の番号が登録されているワンタッチダイヤルを押します。

```
TEL=            123xxxx
 04 ｷﾔﾉﾝﾊﾝﾊﾞｲ
```



・ワンタッチダイヤルに登録された名前が表示されます。名前が登録されていない場合は、登録された番号が表示されます。
・誤って別のワンタッチダイヤルを押した場合は、[ストップ / リセット] を押し、正しいキーを押し直してください。
・ワンタッチダイヤルにファクス番号が登録されていない場合は、ディスプレイに <ミトウロクデス> と表示されます。



5 [スタート] を押します。

・[スタート] を押さなくても 5 秒経過すると、自動的に原稿の読み込みが開始されます。自動読み込みをさせたくないときは、ダイヤルタイムアウト機能を解除してください。詳細については、P.14-10 を参照してください。

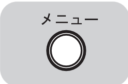
・送信中にエラーが発生した場合は、エラー送信レポートが出力されます。この場合には、ファクスを再送信してください。エラーについては、「ファクスのトラブル」(→ P.12-14）を参照してください。

メモ ワンタッチダイヤルを使用して、原稿を同時に複数箇所に送信することもできます。詳細については、「グループダイヤル」（→ P.4-12）および「同報送信」（→ P.5-15）を参照してください。

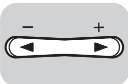
短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには最大 100 箇所のファクス / 電話番号を登録できます。以下の手順に従い、短縮ダイヤルを登録します。

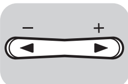


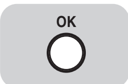
1 **[メニュー] を押します。**



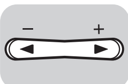


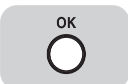
2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <5.アテサキ トウロク> を選択し、[OK] を押します。**





3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <2.タンシュク ダイヤル> を選択し、[OK] を押します。**





4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、2 桁の短縮ダイヤル (00 ～ 99) を選択し、[OK] を 2 回押します。**

- [短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤルを入力して、番号を選択することもできます。
- 選択した短縮ダイヤルにすでに番号が登録されている場合は、その番号が表示されます。
- 選択した短縮ダイヤルがグループダイヤルに登録されている場合は、< グループ ダイヤル > と表示されます。



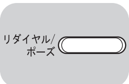
5 テンキーで電話番号（スペースおよびポーズを含めて最大 120 桁）を入力し、[OK] を 2 回押します。

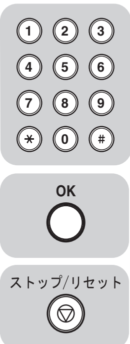
```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ
TEL=456xxxx_
```
→
```
                    :ア
_
```

・番号の入力 / 削除方法にについては、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
・ワンタッチダイヤルパネルを開き、[スペース] を押すと、数字と数字の間にスペースを入力できます。（スペースの入力は任意で、ダイヤル中は無視されます。）



・番号にポーズを入力する場合は、[リダイヤル / ポーズ] を必要回数押します。





6 テンキーで登録する名前（スペースを含めて最大　16　文字）を入力し、[OK] を押します。

```
                    :ア
キヤノン　エイキ゛ョウフ゛_
```
→
```
タンシュク　タ゛イヤル
*03=
```

番号の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。

7 引き続き番号を登録する場合は、手順 4 ～ 6 を繰り返します。

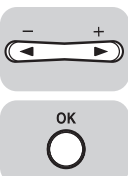
番号の登録を終了する場合は、[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

短縮ダイヤルに登録されているファクス / 電話番号や名前を変更 / 削除する

短縮ダイヤルに登録されている番号や名前を変更したり、すべての登録情報を削除することができます。

■ 番号を削除するには

1 「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.4-7）の手順 1 ～ 3 を実行します。



2 [◀(-)] または [▶(+)] を押して、変更 / 削除する短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、[OK] を 2 回押します。

[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤルを入力して、番号を選択することもできます。

3 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア]を押して番号を削除し、[OK]を押します。

```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ        →  タンシュク  タ゛イヤル
TEL=                         2.ナマエ
```

番号を削除すると、その番号に登録されていた名前も一緒に削除されます。

4 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

■ 番号 / 名前を変更するには

1 「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.4-7）の手順 1 〜 3 を実行します。

（→ P.4-7）

2 [◀(-)] または [▶(+)] を押して、変更 / 削除する短縮ダイヤル(00 〜 99) を選択し、[OK] を 2 回押します。

[短縮] を押し、テンキーで2桁の短縮ダイヤルを入力して、番号を選択することもできます。

3 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア]を押して、番号を削除します。

4 テンキーで新しい番号を入力し、[OK] を 2 回押します。

```
テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ        →                   :ア
TEL=457xxxx_               キヤノンハンハ゛イ_
```

- 番号の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
- 数字を 1 つだけ削除する場合は、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してカーソルを削除する数字の下に移動し、[削除] を押します。
- 名前のみを変更する場合は、手順 2 の後に [OK] を 2 回押し、ワンタッチダイヤルパネルを開いてから、手順 5 に進みます。

5 [クリア] を押して、名前を削除します。

4 ダイヤル登録機能





6 テンキーで新しい名前を入力し、[OK] を押します。

```
                   :A   →   ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ
Canon ITALIA               *03=
```

・文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
・名前を変更しない場合は、手順 7 に進みます。



7 別の番号 / 名前を変更する場合は、手順 2 〜 6 を繰り返します。

番号 / 名前の変更を終了する場合は、[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

4

ダイヤル登録機能

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルを使って、原稿を送信します。

1 ADF に原稿をセットします。

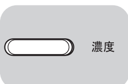
ファクス送信できる原稿の種類、要件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

・ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）
・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）





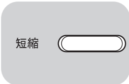
4 [短縮] を押した後、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤル（00 〜 99）を入力します。

```
TEL=                    →   TEL=          456xxxx
*                           *04 Canon CANADA
```

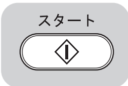
・短縮ダイヤルに登録された名前が表示されます。名前が登録されていない場合は、短縮ダイヤルに登録された番号が表示されます。



- 誤って別の短縮ダイヤルを押した場合は、[ストップ / リセット] → [短縮] を押し、正しい番号を押し直してください。



- 入力した短縮ダイヤルにファクス番号が登録されていない場合は、ディスプレイに < ミトウロクデス > と表示されます。



5 [スタート] を押します。

- [スタート] を押さなくても 5 秒経過すると、自動的に原稿の読み込みが開始されます。自動読み込みをさせたくないときは、ダイヤルタイムアウト機能を解除してください。詳細については、P.14-10 を参照してください。
- 送信中にエラーが発生した場合は、エラー送信レポートが出力されます。この場合は、ファクスを再送信してください。エラーについては、「ファクスのトラブル」(→ P.12-14)を参照してください。

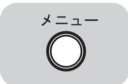
メモ

短縮ダイヤルを使用して、原稿を同時に複数箇所に送信することもできます。詳細については、「グループダイヤル」(→ P.4-12)および「同報送信」(→ P.5-15)を参照してください。

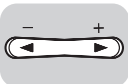
グループダイヤル

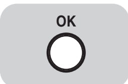
グループダイヤルのグループを作成する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録してある複数の相手先を、グループとして 1 つのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにまとめて登録することができます。グループダイヤルを登録しておくと、一度の操作で複数の相手先を指定することができます。1 つのグループダイヤルには、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルを合わせて、最大 131 箇所まで登録することができます。

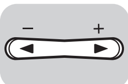


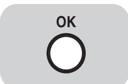
1 **[メニュー] を押します。**





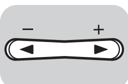
2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<5.アテサキ トウロク>を選択し、[OK] を押します。**





3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<3.グループ ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。**

■ **ワンタッチダイヤルにグループを登録するには**





4 **[◀(-)] または [▶(+)]、あるいはワンタッチダイヤルキーを押して、使用されていないワンタッチダイヤル（01 ～ 32）を選択し、[OK] を 2 回押します。**

選択したキーにすでにグループまたは番号が登録されている場合は、< グループ ダイヤル > または < ワンタッチ ダイヤル > と表示されます。

■ 短縮ダイヤルにグループを登録するには



4　[短縮] を押し、使用されていない 2 桁の短縮ダイヤル（00 〜 99）をテンキーで入力し、[OK] を 2 回押します。

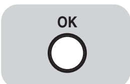
```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
＊21＝
```
→
```
TEL＝
```

・選択した短縮ダイヤルにすでにグループまたは番号が登録されている場合は、< グループダイヤル > または < タンシュク ダイヤル > と表示されます。

・引き続き短縮ダイヤルに登録を行う場合は、[◀ (-)] または [▶ (+)] を使用することもできます。

メモ

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルは、いずれかで使用する名前と番号を登録できます。グループを作成する際は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した番号と名前を、上書きしないように注意してください。
- 登録済みのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにグループを登録したり、グループを登録し直したりする場合は、まず登録情報を削除する必要があります。詳細については、P.4-3 を参照してください。



5　グループに登録するワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを選択し、[OK] を 2 回押します。

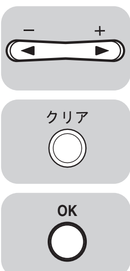
・ワンタッチダイヤルに登録された番号をグループに追加する場合は、追加したいワンタッチダイヤルを押します。



・短縮ダイヤルに登録された番号を追加する場合は、[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤルを入力します。複数の番号を登録する場合は、番号を入力するたびに [短縮] を押してください。

メモ

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されていない番号をグループに登録することはできません。
- [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、グループに登録されている番号を確認できます。



・グループから番号を削除する場合は、ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア] を押します。（< クリア シマシタ > と表示されます。）

・グループに番号を追加する場合は、番号が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押し、[OK] を押します。その番号がグループに追加されます。

6 テンキーでグループの名前（スペースを含めて最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。

キヤノン　グ゛ループ゛_　　:ア	→	グ゛ループ゛ダ゛イヤル ＊22＝

文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。

7 引き続きグループを登録する場合は、手順 4 〜 6 を繰り返します。

グループの登録を終了する場合は、[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

グループダイヤルに登録されているファクス/電話番号や名前を変更 / 削除する

グループダイヤルに登録されている番号や名前を変更したり、すべての登録情報を削除することができます。

■ 番号 / 名前を削除するには

1 「グループダイヤルのグループを作成する」（→P.4-12）の手順1〜3を実行します。

2 [◀(-)] または [▶(+)]、あるいはワンタッチダイヤルキーを押すか、[短縮] を押してテンキーで 2 桁の短縮ダイヤルを入力して、削除したいグループダイヤルを選択し、[OK] を 2 回押します。

3 [◀(-)] または [▶(+)] を押して、削除したい番号を選択します。

4 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア] を押して番号を削除し、[OK] を 2 回押します。

TEL＝	→	キヤノン　グ゛ループ゛_　　:ア

登録されているすべての番号を削除しても、グループダイヤルの名前は削除されません。



5 [クリア] を押して名前を削除し、[OK] を押します。



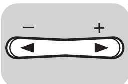
:ア キヤノン　ク゛ルーフ゛_	→	:ア クリア　シマシタ



6 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

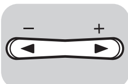
■ 番号 / 名前を変更するには

1 「グループダイヤルのグループを作成する」(→P.4-12) の手順1〜3を実行します。



2 [◀(-)] または [▶(+)]、あるいはワンタッチダイヤルキーを押すか、[短縮] を押してテンキーで 2 桁の短縮ダイヤルを入力して、変更したいグループダイヤルを選択し、[OK] を 2 回押します。





3 [◀(-)] または [▶(+)] を押して、変更したい番号を選択します。



4 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア]を押して、番号を削除します。



5 グループに登録するワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを選択し、[OK] を 2 回押します。

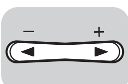
・ワンタッチダイヤルに登録された番号をグループに追加する場合は、追加したいワンタッチダイヤルを押します。

・短縮ダイヤルに登録された番号を追加する場合は、[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤルを入力します。複数の番号を登録する場合は、番号を入力するたびに [短縮] を押してください。



メモ

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されていない番号をグループに登録することはできません。
- [◀(-)] または [▶(+)] を押して、グループに登録されている番号を確認できます。







・グループから番号を削除する場合は、ワンタッチダイヤルパネルを開き、[クリア] を押します。（< クリア シマシタ > と表示されます。）

・グループに番号を追加する場合は、番号が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押し、[OK] を押します。その番号がグループに追加されます。



6 [クリア] を押して、名前を削除します。





7 テンキーでグループの名前（スペースを含めて最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。

：ア キヤノン　グ゛ループ゛_	→	グ゛ループ゛　ダ゛イヤル ＊22＝

文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。



8 引き続き番号 / 名前を変更する場合は、手順 2 〜 7 を繰り返します。

番号 / 名前の変更を終了する場合は、[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

グループダイヤルを使用する

以下の手順に従い、グループダイヤルとして登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを使って、複数の相手先へ原稿を送信します。

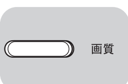
1 ADF に原稿をセットします。

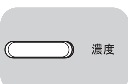
ファクス送信できる原稿の種類、要件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

・ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）

・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）

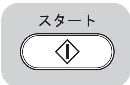
4 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されたグループの番号を入力します。

```
TEL=ク゛ルーフ゜ タ゛イヤル
 03 キヤノン ク゛ルーフ゜
```

```
TEL=ク゛ルーフ゜ タ゛イヤル
*21 キヤノン ク゛ルーフ゜
```



・誤って別のグループを選択した場合は、[ストップ / リセット] を押し、最初から選択し直してください。
・ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにグループ（またはファクス番号）が登録されていない場合は、<ミトウロクデス>と表示されます。
・ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力してから自動送信が開始されるまでの5秒以内に、別のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力できます。複数のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力した場合は、10 秒後に自動送信が開始されます。自動送信を解除したい場合は、<ダイヤルタイムアウト>設定を変更してください。詳細については、P.14-10 を参照してください。



5 [スタート] を押します。

原稿の読み込みが開始され、グループに登録されている番号がダイヤルされます。

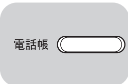
電話帳からのダイヤル

以下の手順に従い、電話帳機能を使って、登録されている相手先名称から番号を検索します。相手先の名前が分かっていて、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの番号を忘れてしまったときなどに便利です。



1 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



2 [電話帳] を押します。

```
                              :ｱ
_
```

電話帳に番号が登録されていない場合は、< ミトウロクデス > と表示され、ダイヤル入力モードに戻ります。



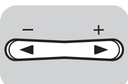
3 テンキーで、検索する名前の最初の文字を入力します。

例：チから始まる名前を検索する場合は、④ (タ GHI) を 2 回押します。



4 [OK] を押します。

・入力した文字から始まる名前が表示されます。
・入力した文字から始まる名前が登録されていない場合は、次の文字から始まる名前が表示されます。



5 他の名前を表示する場合は、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押します。

・[▶ (+)] を押すと、他の名前が五十音順に表示されます。
・[◀ (-)] を押すと、名前が逆順で表示されます。



6 [OK] を押します。

相手先のファクス番号と名前、または <グループ ダイヤル> とグループ名が表示されます。

ファクスの送信

5
CHAPTER

本製品を使用したファクスの送信方法を説明します。

ファクス送信の準備をする

送信可能な原稿について

セットできる原稿は次のとおりです。

複数枚の原稿をセットする場合：

サイズ：	最大：257 x 364mm（B4）
(ヨコ X タテ)	最小：148 x 105mm
枚数：	A4 最大 50 枚、レター最大 50 枚、リーガル最大 20 枚、B4 最大 20 枚 (上記以外のサイズの用紙は 1 枚です。)
厚さ：	0.06 ～ 0.13mm (この厚さを超える用紙は 1 枚ずつセットしてください。)
	厚さの異なる用紙は同時にセットできません。
重量：	40 ～ 105 g/m^2
	重さの異なる用紙は同時にセットできません。

1 枚ずつ原稿をセットする場合：

サイズ：	最大：257mm x 約 1m
(ヨコ X タテ)	最小：148 x 105mm
枚数：	1 枚
厚さ：	0.06 ～ 0.23mm
重量：	40 ～ 240 g/m^2

■ 送信できない原稿

- ADF の紙づまりを防ぐため、次のような原稿は使用しないでください。



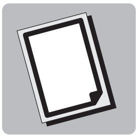
しわや折り目のある原稿



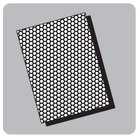
カールした原稿



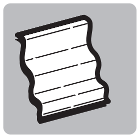
破れている原稿



カーボン紙、
裏がカーボン紙に
なっている原稿



コーティングされた原稿

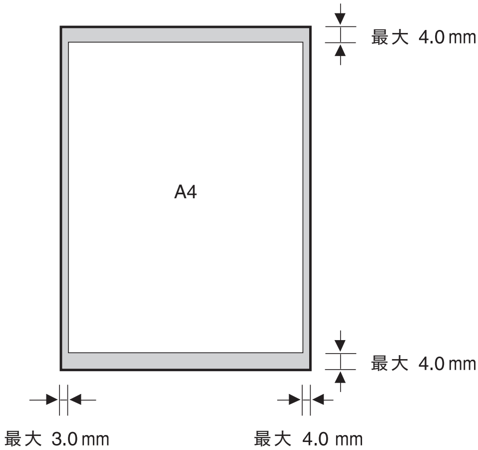


薄質半透明紙、
薄紙を使った原稿

- ホチキス、クリップなどをすべて取り外した後、原稿を ADF にセットしてください。
- のり、インク、修正液が完全に乾いているのを確認した後、原稿を ADF にセットしてください。
- 本体にきちんと入らない原稿を送信する場合は、いったん複写機でコピーを取った後セットしてください。

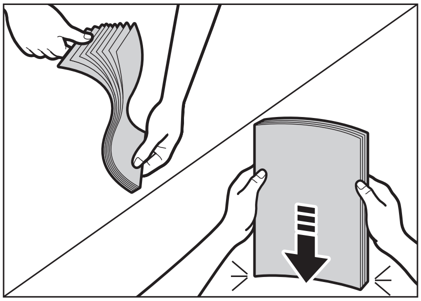
■ **読み取り可能な範囲**

本製品の読み取り可能範囲の外側の余白は、次の図のとおりです。原稿の文字や画像が、この余白にはみ出ていないか確認してください。

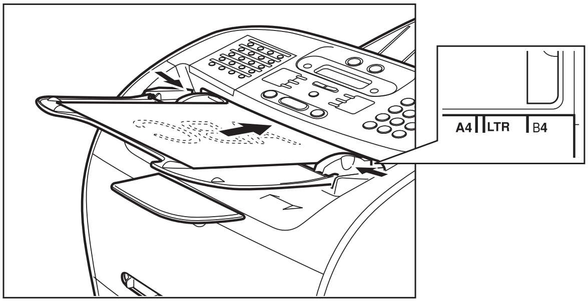


ADF に原稿をセットする

1　本体にセットする原稿束を持って端をさばいてから、平らな場所で原稿の縁を揃えます。



2 左右のガイドを調整し、原稿の幅に合わせます。



3 ADF に原稿をセットします。

原稿を読み込む準備が完了しました。

メモ

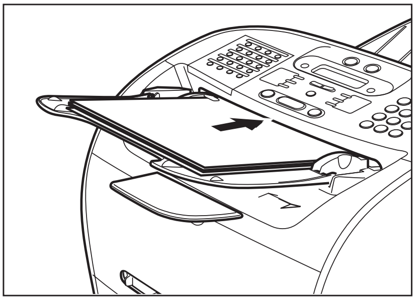
- 複数枚の原稿をセットした場合は、下の原稿（先頭ページ）から順に 1 枚ずつ送り込まれます。
- 原稿のすべてのページが読み込まれるまで、次の操作を開始しないでください。
- ADF にはA4サイズの原稿を50枚までセットできます。51 枚以上の原稿を ADF にセットすると、紙づまりが発生する場合があります。セットできる原稿の詳細は P.5-1 を参照してください。

■ **複数ページの原稿のトラブル**

複数ページの原稿の読み込みでトラブルが発生した場合は、次の手順を実行してください。

1　原稿を取り除き、平らな場所で原稿の縁を揃えます。

2　ゆっくりと ADF の奥に突き当たるところまで原稿を差し込みます。



メモ
- 上記の手順でも解決されない紙づまりのトラブルが発生した場合は、「つまった用紙を ADF から取り除く」（→ P.12-6）を参照してください。
- 原稿のすべてのページが読み込まれるまで、次の操作を開始しないでください。

画質（解像度）/ 濃度を調節する

■ **画質（解像度）を調節する**

本製品はキヤノンの超高品質画質（UHQ）画像処理技術により、原稿に忠実で鮮明なファクスを送信できます。また、送信する原稿に合わせて個別に解像度を調節することもできます。

本製品の解像度は、5 段階に分かれています。

- <ヒョウジュン>は、ほとんどの文字原稿に適しています。
- <ファイン>は、細かい文字原稿（この文字より小さい文字のとき）に適しています。
- <シャシン>は、写真入りの原稿に適しています。この設定では、原稿の写真部分が、白黒の 2 階調ではなく、256 階調のグレースケールで自動的に読み込まれます。より忠実に写真が再現されますが、送信時間は長くなります。
- <スーパーファイン>は、細かい文字（この文字よりかなり小さい文字のとき）と画像を含む原稿に適しており、解像度は<ヒョウジュン>の 4 倍です。
- <ウルトラファイン>は、かなり細かい文字（この文字よりかなり小さい文字のとき）と画像を含む原稿に適しており、解像度は<ヒョウジュン>の 8 倍です。

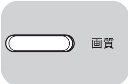
メモ　送信時間は、解像度の設定により変わります。

次の手順に従って、解像度を設定します。



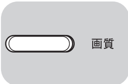
1 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



2 [画質] を押します。

ディスプレイに現在設定されている解像度が表示されます。





3 設定したい解像度が表示されるまで [画質] を押し、[OK] を押します。

```
ファクス カイゾウド セッテイ          2006 03/31 FRI 10:00
            ヒョウジュン    →   ジドウ          ファイン
```

■ 濃度を調節する

送信原稿を読み取る前に、原稿の濃淡を調節できます。

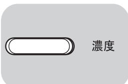
紙種または原稿の種類に合わせて調節してください。

・< ウスク > は、文字または色の濃い原稿に適しています。
・< フツウ > は、通常のプリントまたは手書きの文字原稿に適しています。
・< コク > は、文字または色の薄い原稿に適しています。



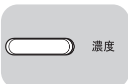
1 [ファクス] を押します。

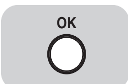
すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



2 [濃度] を押します。

ディスプレイに現在設定されている濃度が表示されます。





3 設定したい読み取り濃度が表示されるまで [濃度] を押し、[OK] を押します。

```
ヨミトリ ノウド セット             2006 03/31 FRI 10:00
                  コク    →   ジドウ          ファイン
```

メモ

- <オートクリア>機能の作動後または原稿の読み込み後、読み取り濃度が、<フツウ>に自動的に戻ります。工場出荷時に <FAX ホームポジション > の < ヨミトリ ノウド > が < シナイ > に設定されているため、[濃度] で設定した読み取り濃度は変更されません。（→第 14 章 「各種機能の登録 / 設定」）
- メニューの<ヨミトリ ノウド セット>で各読み取り濃度（ウスク / フツウ / コク）を設定できます。（→第 14 章 「各種機能の登録 / 設定」）

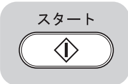
重要

印鑑の朱肉の入った原稿をファクス送信すると、朱肉がはっきり印刷されないことがあります。このようなときは、以下のいずれかの方法でファクス送信してください。

- 画質（解像度）を＜ヒョウジュン＞に設定してファクス送信する場合は、読み取り濃度を＜コク＞に設定して、送信してください。
- 画質（解像度）を＜ファイン＞に設定して、ファクス送信してください。

送信方法

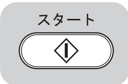
■ メモリ送信



メモリ送信を行う場合は､原稿をセットした後ファクス番号をダイヤルし､[スタート] を押します。メモリ送信については、P.5-9 を参照してください。

本製品は複数の処理を同時に行えるので、原稿を送受信している間やレポートをプリントしている間も、原稿をメモリに読み取ることができます。

■ ハンドセットによる手動送信



ファクスを送信する前に相手と通話する場合は、ハンドセットによる手動送信を行います。ハンドセットによる手動送信では、通常どおりにダイヤルして通話し、相手がファクスを受信できる状態になってから、[スタート] を押して、送信を開始します。ハンドセットによる手動送信については、P.5-10 を参照してください。

ハンドセットによる手動送信を行うには、オプションのハンドセットまたは本製品に接続された電話機が必要です。

ダイヤル方法

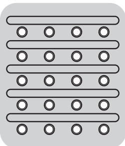
送信先の番号をダイヤルする方法は次のとおりです。

● 通常のダイヤル



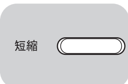
テンキーで受信者のファクス番号をダイヤルします。

● ワンタッチダイヤル



送信先の番号を登録したワンタッチダイヤルキー（01 〜 32）を押します。ワンタッチダイヤルの登録と使用については、第 4 章 「ダイヤル登録機能」を参照してください。

● 短縮ダイヤル



[短縮] を押し、送信先の番号を登録した 2 桁の短縮ダイヤル（00 〜 99）を入力します。短縮ダイヤルの登録と使用については、第 4 章 「ダイヤル登録機能」を参照してください。

● グループダイヤル

あらかじめ登録された複数のファクス番号に原稿を送信します。（グループダイヤルに登録する番号は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録済みの番号のみです。）グループダイヤルの登録と使用については、第 4 章 「ダイヤル登録機能」を参照してください。

● 電話帳からのダイヤル



[電話帳] を押し、送信先の名前の最初の文字を入力して、ダイヤルする番号を検索します。電話帳からのダイヤルについては、第 4 章 「ダイヤル登録機能」を参照してください。

原稿の送信

本製品でのさまざまなファクス送信方法を説明します。

メモリ送信

通常の送信にはメモリ送信が効率的です。< メモリガ イッパイデス > が表示された場合は、原稿の読み込みはできません。メモリに蓄積されているファクスを送信してから、原稿を読み込みますのでしばらくお待ちください。

メモ 送信先番号の自動リダイヤル待機中、次に送信するファクスをセットできます。自動リダイヤルの設定方法については、「メモリ送信による自動リダイヤル」（→ P.5-12）を参照してください。最大 5 件のファクス送信をメモリに蓄積できます。

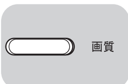
1 ADF に原稿をセットします。

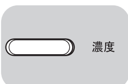
ファクス送信できる原稿の種類、条件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

- ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）
- 読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）

4 相手先のファクス / 電話番号をダイヤルします。

ダイヤル方法については、「ダイヤル方法」（→ P.5-8）を参照してください。



5 [スタート] を押します。

メモ メモリ送信を解除する場合は、[ストップ / リセット] を押してください。（→第 10 章「システムモニタ」）

ハンドセット（オプション）による手動送信

ファクスを送信する前に相手と通話する場合、または相手が自動受信可能なファクスを所有していない場合は、手動送信を行います。

メモ　手動送信するには、本製品に電話機またはオプションのハンドセットを接続する必要があります。

次の手順に従って、手動送信を行います。

1　ADF に原稿をセットします。

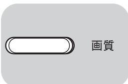
ファクス送信できる原稿の種類、条件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。

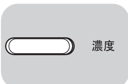


2　[ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。

3　必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。





・ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）
・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）



4　ハンドセットを取るか [オンフック] にします。

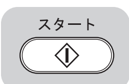
5　相手先のファクス / 電話番号をダイヤルします。

別のダイヤル方法については、「ダイヤル方法」（→ P.5-8）を参照してください。

6　相手の声が聞こえたら、通話します。

手順 4 でハンドセットを取らなかったときは、ハンドセットを取ってから通話してください。
相手の声ではなく、「ピー」という信号音が聞こえたら、相手のファクスが受信可能状態になっています。手順 8 に進んでください。

7　相手にファクスをファクス受信に設定するよう伝えます。



8　「ピー」という音が聞こえたら、[スタート] を押し、ハンドセットを置きます。

メモ　手動送信を解除する場合は、[ストップ / リセット] を押してください。



送信の中止

メモリ送信を中止する

■ 原稿を ADF で読み込み中に中止する



1　[ストップ / リセット] を押します。

読み込みが中止されます。

2　ADF から原稿を取り除きます。

詳細は「つまった用紙を ADF から取り除く」（→ P.12-6）を参照してください。

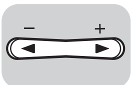
■ すべての原稿を読み込んだ後に中止する



1　原稿の送信中に [ストップ / リセット] を押します。

送信を中止するか確認するメッセージが表示されます。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？
　<　ハイ　　　　　　　　イイエ　>
```



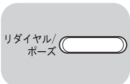
2　[◀ (-)] を押して送信を中止します。

・送信を続ける場合は、[▶ (+)] を押して < イイエ > を選択します。

・< ソウシン ケッカ レポート > が < エラージ ノミ プリント > または < プリント スル > に設定されている場合のみ、エラー送信レポートがプリントされます。（→ P.14-8）

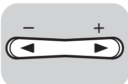
リダイヤル

手動リダイヤル



テンキーで最後にダイヤルした番号にもう一度ダイヤルする場合は、[リダイヤル / ポーズ] を押します。





手動リダイヤルを中止する場合は、[ストップ / リセット] → [◀ (-)] の順に押します。

メモリ送信による自動リダイヤル

メモリ送信では、送信先のファクスが応答しない場合や通話中の場合に、ファクス番号を自動的にリダイヤルするように設定できます。また、リダイヤルの回数と間隔を指定することもできます。「自動リダイヤルを設定する」（→ P.5-13）を参照してください。

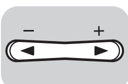
■ 自動リダイヤルを中止する



リダイヤル待機中に [ストップ / リセット] を押すと、ディスプレイはスタンバイモードに戻りますが、自動リダイヤルは解除されません。リダイヤル待機中にリダイヤルを中止する場合は、「ファクスジョブを削除する」（→ P.10-2）の手順に従ってください。リダイヤル中に中止する場合は、次の手順に従ってください。

- リダイヤルが開始されるまで待ちます。
- [ストップ / リセット] → [◀ (-)] の順に押します。





メモ メモリに蓄積されている原稿と各原稿の受付番号のリストをプリントできます。（原稿リスト）リダイヤル待ちの原稿には、「送信」と表記されます。リストをプリントするには、「原稿リスト」（→ P.11-12）を参照してください。

■ **自動リダイヤルを設定する**

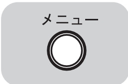
自動リダイヤルでは、次の設定が可能です。

・自動リダイヤルの有効 / 無効

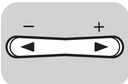
・リダイヤルの回数

・リダイヤルの間隔

次の手順に従って、自動リダイヤル設定を調整します。

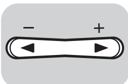


1 **[メニュー] を押します。**



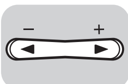


2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<4.ファクス キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



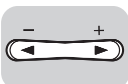


3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<3.ソウシン キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**





4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<3.ジドウ リダイヤル>を選択し、[OK] を押します。**



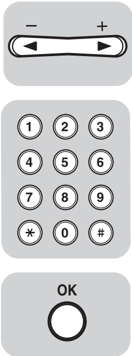


5 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、自動リダイヤルの<スル>または<シナイ>を選択し、[OK] を押します。**

・< スル > を選択した場合　：手順 6 に進みます。

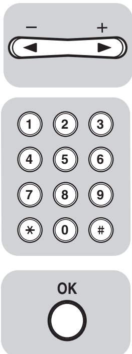
・< シナイ > を選択した場合：手順 8 に進みます。

シ゛ト゛ウ リタ゛イヤル スル	→	シ゛ト゛ウ リタ゛イヤル 1.リタ゛イヤル カイスウ



6 **もう一度 [OK] を押し、[◀ (-)] または [▶ (+)]、あるいはテンキーを使用して、リダイヤル回数を入力し、[OK] を 2 回押します。**

リタ゛イヤル　カイスウ ０２カイ	→	リタ゛イヤル　カンカク ０２フン



7 **[◀ (-)] または [▶ (+)]、あるいはテンキーを押して、リダイヤル間隔を選択し、[OK] を押します。**

リタ゛イヤル　カンカク ０２フン	→	ソウシン　キノウ　セッテイ ４．タ゛イヤルタイムアウト



8 **[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。**

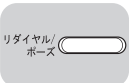
同報送信

複数の相手に同じ原稿を送信する

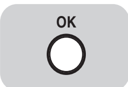
次のダイヤル方法を組み合わせることにより 1 回の操作で、最大 142 箇所に同じ原稿を送信できます。この機能を同報送信と呼びます。

- ワンタッチダイヤル：最大 32 箇所
- 短縮ダイヤル：最大 100 箇所
- 通常のダイヤル、リダイヤル：10 箇所

（テンキーまたは [リダイヤル / ポーズ] を使用）



ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの宛先は、どのような順番でも入力可能です。また、テンキーまたは [リダイヤル / ポーズ] を使用して、手動でダイヤルする宛先を 10 箇所含めることもできます。テンキーでの入力後は、必ず [OK] を押してください。



次の手順に従って、複数箇所にファクスを送信します。

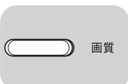
1 ADF に原稿をセットします。

ファクス送信できる原稿の種類、条件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

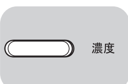
すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



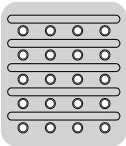
3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

・ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）

・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）

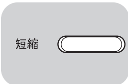


4 送信先を入力します。



● **ワンタッチダイヤル**

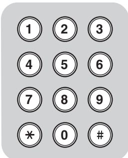
ワンタッチダイヤルキーを押します。

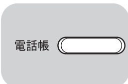


● **短縮ダイヤル**

[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤル（00 ～ 99）を入力します。

- 各短縮ダイヤルの前に、必ず [短縮] を押してください。





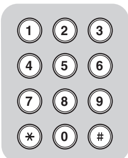
● **電話帳からのダイヤル**

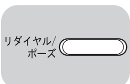
❑ [電話帳] を押します。

❑ 検索する送信先の名前の最初の文字を入力し、[OK] を押します。

❑ [◀ (-)]または[▶ (+)]を押して名前をスクロールし、目的の宛先を見つけます。

❑ [OK] を押します。





● **通常のダイヤル**

テンキーまたは [リダイヤル / ポーズ] で番号を入力します。

- 番号を入力したら、必ず [OK] を押してください。



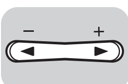
メモ

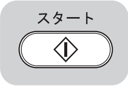
- 間違えて入力した場合は、ワンタッチダイヤルパネルを開き、[削除] を押して、1 桁ずつ削除するか、[クリア] を押して、入力した数字をすべて削除してください。
- 1 つめのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力してから 5 秒たつと、自動送信が開始されます。続けてワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力するときは、この間に入力してください。複数のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力したときは、自動的に送信開始されるまでの間隔が 10 秒間になります。自動送信を解除したい場合は、<ダイヤルタイムアウト> 設定を変更してください。詳細については、P.14-10 を参照してください。





- 入力した番号を確認する場合は、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、番号をスクロールしてください。





5 [スタート] を押します。

原稿の読み込みが開始され、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、テンキーまたは [リダイヤル / ポーズ] でダイヤルした番号の順にダイヤルされます。

メモ
- 原稿の読み取り中に本製品のメモリがいっぱいになった場合は、ディスプレイに<メモリガイッパイデス >と表示されます。このような場合には、ADF から残りの原稿を取り除き、いくつかに分けて送信してください。
- 同報送信は 1 度に 1 つしか行うことはできません。
- 送信を中止する場合は、[ストップ/リセット]を押し、ディスプレイの指示に従ってください。[ストップ / リセット] を押すと、すべての送信先への送信が中止されます。1 箇所だけの送信を中止することはできません。(→第 10 章 「システムモニタ」)



グループダイヤルを使用して原稿を送信する

同じ複数の宛先に頻繁にファクスを送信する場合は、「グループ」に登録しておくと便利です。グループは、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。番号の登録と使い方については、第 4 章 「ダイヤル登録機能」を参照してください。

タイマー送信

あらかじめメモリに原稿を読み込ませておき、指定した時刻に送信します。通話料金の安い時間帯に設定すると、通信コストを削減することができます。最大 142 箇所、20 件のタイマー送信の設定が可能です。

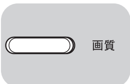
1 ADF に原稿をセットします。

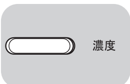
ファクス送信できる原稿の種類、要件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

・ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）
・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）



4 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[タイマー送信] を押します。





5 テンキーで原稿を送信する時刻を入力し、[OK] を押します。

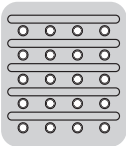
```
タイマー　ソウシン
ソウシン　ジコク　　　　10:00
```
→
```
TEL=
```

24 時間表示で時刻を入力します。1 桁の場合は最初に 0 を入力してください。

例：午前 9:30 = 09:30

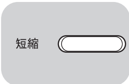
　　午後 4:30 = 16:30

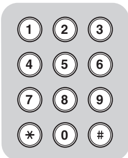
6 送信先を入力します。



● **ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルキーを押します。

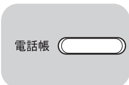




● **短縮ダイヤル**

[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤル（00 ～ 99）を入力します。

- 各短縮ダイヤル番号の前に、必ず [短縮] を押してください。





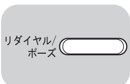
● **電話帳からのダイヤル**

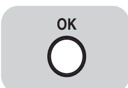
❑ [電話帳] を押します。

❑ 検索する送信先の名前の最初の文字を入力し、[OK] を押します。

❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して名前をスクロールし、目的の宛先を見つけます。

❑ [OK] を押します。





● **通常のダイヤル**

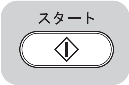
テンキーまたは [リダイヤル / ポーズ] で番号を入力します。

- 10 箇所の番号を入力できます。
- 番号を入力したら [OK] を押してください。

メモ 間違えた場合は、ワンタッチダイヤルパネルを開き、[削除] を押して 1 桁ずつ数字を削除するか、[クリア] を押して入力した数字をすべて削除してください。







7 [スタート] を押します。

原稿がメモリに読み込まれます。

メモ

- 原稿の読み込み中に本製品のメモリがいっぱいになった場合は､ディスプレイに<メモリガイッパイデス >と表示されます。この場合は、タイマー送信で原稿を送信できません。
- タイマー送信の予約は一度に 1 つしか登録できません。
- 本製品は複数の処理を同時に行えるので、タイマー送信の待機中も、他の原稿を送信、受信、プリント、コピーできます。
- タイマー送信設定後に他の原稿をプリント、コピー、送信する場合の手順は、このガイドで説明している通常の手順と同じです。
- タイマー送信を中止するには､「ファクスジョブを削除する」(→ P.10-2）を参照してください。
- メモリに蓄積されている原稿と、各原稿の受付番号のリストをプリントできます（原稿メモリリスト)。タイマー送信で送信待ちの原稿には､「タイマー送信」または「タイマー同報」と表記されます。リストをプリントするには、「原稿リスト」（→ P.11-12）を参照してください。

設定時刻になると、ダイヤルが開始され、原稿が送信されます。

受信するには

6
CHAPTER

基本的な受信機能について説明します。原稿は手動または自動で受信することができます。手動で受信する場合は、オプションのハンドセットまたは外付けの電話機を本製品に接続してください。

ファクス受信モードについて

本製品には、次の 4 つの受信モードがあります。受信モードは、ワンタッチダイヤルパネル下の［受信モード］を押して設定することができます。

受信モード	主な用途	動作	必要条件
自動受信* (〈ジドウ〉)	ファクス	すべての着信をファクスとして処理します。ファクスを自動的に受信し、電話の場合は通信を切断します。	ファクス専用の電話回線がある。
FAX/TEL 切り替え (〈FAX/TEL〉)	ファクス / 電話	ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は呼び出し音を鳴らします。詳細を設定するには、P.6-2 を参照してください。	電話機が本製品に接続されている。
手動受信 (〈シュドウ〉)	電話	ファクスの場合も電話の場合も呼び出し音を鳴らします。ファクスの場合は、手動でファクス受信を開始する必要があります。	電話機が本製品に接続されている。
留守受信 (〈ルス TEL〉)	ファクス / 電話	ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話に転送します。	留守番電話が本製品に接続されている。

* 工場出荷時の設定

待機中の画面で、設定されている受信モードを確認できます。受信モードは、ディスプレイの左下に表示されます。

受信モードを設定する

次の手順に従って、受信モードを設定します。



1 **ワンタッチダイヤルパネルを開き、[受信モード] を押します。**

ディスプレイに現在の受信モードが表示されます。





2 **受信モードを変更する場合は、設定したい受信モードが表示されるまで [受信モード] を押し、[OK] を押します。**

[受信モード] を押すたびに、受信モードは次の順序で切り替わります。

〈ジドウ〉→〈シュドウ〉→ 〈ルスTEL〉→ 〈FAX/TEL〉→ …

電話とファクスを自動で切り替えて受信する（FAX/TEL 切り替え〈FAX/TEL〉）

電話とファクスを自動的に切り替える場合は、このモードに設定します。
切り替え方法を細かく設定することもできます。

■ FAX/TEL 切り替えモードのオプションを設定する

● 呼び出し開始時間（「ヨビダシ カイシ ジカン」）

着信時に電話かファクスかを判断します。指定時間内にファクス送信音が検知されなかった場合、電話からの着信と解釈します。< ヨビダシ カイシ ジカン > 設定を使用して、本製品がファクスか電話かを確認するための時間を長くすることができます。0 ～ 30 秒の範囲で時刻を選択してください。工場出荷時の設定は 8 秒です。

● 呼び出し時間（「ヨビダシ ジカン」）

ファクスと電話の両方を自動受信するように設定されているとき、電話の場合は、呼び出し音を鳴らします。一定時間、ハンドセットを取らない場合は、呼び出し音を止めます。呼び出し音を鳴らす時間を 15 ～ 300 秒の範囲で変更できます。工場出荷時の設定は 17 秒です。

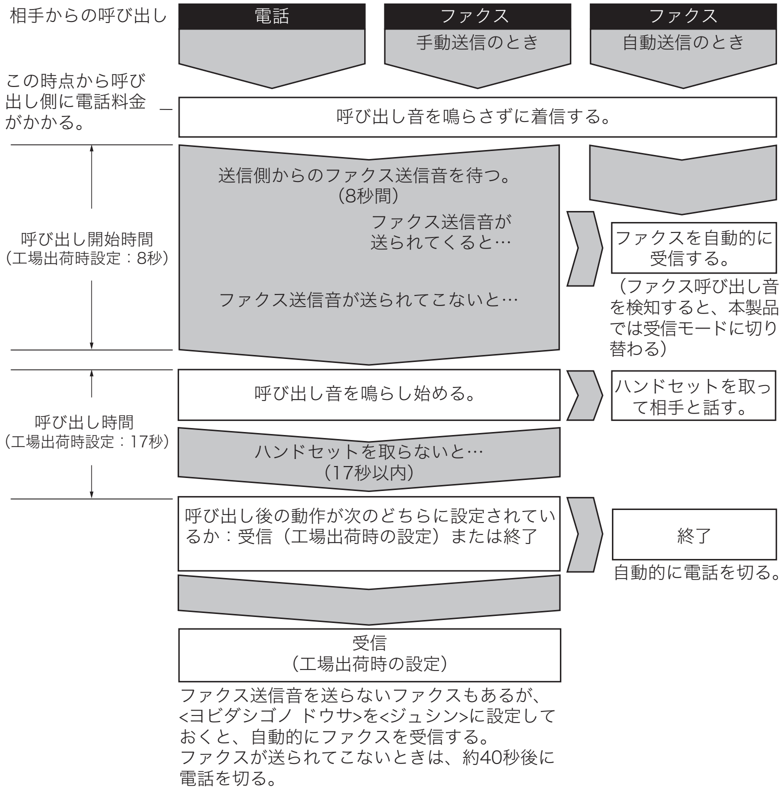
● 呼び出し後の動作（「ヨビダシゴノ ドウサ」）

ファクス送信音（受信側のファクスにファクス着信を伝える CNG 信号）を送らないファクスもあります。この場合は、着信が電話の可能性もあるため、上記の < ヨビダシ ジカン > 設定で設定した呼び出し時間、呼び出し音を鳴らします。呼び出しに応答しない場合の動作を設定できます。

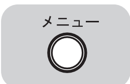
< ヨビダシゴノ ドウサ > を < ジュシン > に設定している場合は、自動的にファクス受信モードに切り替わり、ファクスの受信を開始します。ファクスが送信されない場合は、約 40 秒後に通話を切ります。工場出荷時の設定は < ジュシン > です。

< ヨビダシゴノ ドウサ > を < シュウリョウ > に設定している場合は、電話を切ります。

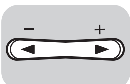
■ FAX/TEL 切り替えモードの詳細設定の流れ



次の手順に従って、FAX/TEL 切り替えモードを設定します。

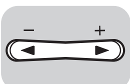


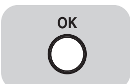
1　[メニュー] を押します。



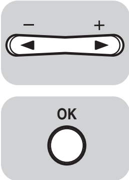


2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<4.ファクス キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

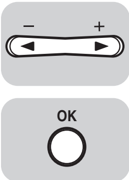




3　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<4.ジュシン キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。



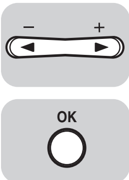
4 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<2.F/T ショウサイ セッテイ>を選択し、[OK] を 2 回押します。



5 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、着信してから呼び出し音を鳴らし始めるまでの時間を設定し、[OK] を 2 回押します。

ヨビダシ カイシ ジカン 08ビョウ	→	ヨビダシ ジカン 017ビョウ

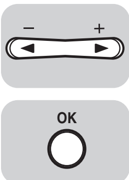
[◀ (-)] または [▶ (+)] の代わりにテンキーで時間を設定することもできます。



6 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、ハンドセットを取るまでの呼び出し時間を設定し、[OK] を 2 回押します。

ヨビダシ ジカン 030ビョウ	→	ヨビダシゴノ ドウサ ジュシン

[◀ (-)] または [▶ (+)] の代わりにテンキーで時間を設定することもできます。



7 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<ジュシン>または<シュウリョウ>を選択し、[OK] を押します。

ヨビダシゴノ ドウサ シュウリョウ	→	ジュシン キノウ セッテイ 3.チャクシン ヨビダシ

手順 6 で設定した呼び出し時間内にハンドセットが取られなかった場合の動作を指定します。



8 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

手動で受信する（手動受信〈シュドウ〉）

オプションのハンドセットまたは電話機が本製品に接続されているときに使用できます。手動受信モードでは、ファクスも電話も呼び出し音で知らせます。

メモ <ジュシン キノウ セッテイ>メニューの<リモート ジュシン>設定が、有効になっているか確認してください。詳細については、P.14-12を参照してください。

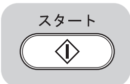
手動受信になっているとき、着信は次のように処理されます。

1 着信音が鳴ったら、ハンドセットを取ってください。

● 相手の声が聞こえたら

相手と会話します。会話の後にファクスを受信する場合は、相手にファクスのスタートボタンを押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたら、[スタート] を押して、ファクスの受信を開始し、ハンドセットを置きます。

●「ピー」という音が聞こえたとき、または何も音がしないとき



相手がファクスを送信しようとしています。
[スタート] を押し、ハンドセットを置きます。
または、電話機で受信操作を行い、ハンドセットを置きます。

・ファクスの受信が開始されます。（特に電話機が本製品から離れた場所にある場合に便利です。）
・[スタート] ボタンまたは 2 桁の ID コードを押した後、ハンドセットを置かないでいると、ファクス受信開始から、「ピー」という音が断続的に鳴り続けます。（<キホン セッテイ>メニューで<オフフックアラーム>を無効にすることにより、この音をオフにすることができます。詳細については、P.14-8を参照してください。）

メモ 遠隔操作が可能な留守番電話（離れた場所にある電話機からの操作が可能な留守番電話）を本製品に接続しているとき、この機能のセキュリティコードが、上記の 2 桁の ID コードと同じ場合があります。この場合は、本製品の 2 桁の ID コードを変更し、留守番電話のセキュリティコードと異なるコードを設定してください。コードの変更に関する詳細については、「5. リモート ジュシン」（→ P.14-12）を参照してください。

自動で受信する（自動受信〈ジドウ〉）

本製品がファクス専用回線に接続されている場合は、自動受信モードに設定しておくとファクスを自動的に受信できます。

メモ
- この場合、すべての着信はファクスからのものと解釈します。ファクスは自動的に受信しますが、音声通話は切断されます。
- 自動受信モードでは、ファクス着信時の呼び出し音のオン / オフを設定できます。本体の操作パネルからこの機能を設定するには、「3. チャクシン ヨビダシ」（→ P.14-11）を参照してください。

留守番電話機を接続して受信する（留守受信〈ルス TEL〉）

本製品に留守番電話機を接続すると、不在中でも、相手がファクスのときは自動的に受信し、電話のときは留守番電話機に用件を録音することができます。

■ **本製品と留守番電話を一緒に使用する**

本製品と留守番電話を一緒に使用する場合は、次のことにご注意ください。

- 留守番電話が 1 回目または 2 回目の呼び出し音で応答するように設定してください。
- 留守受信モードで用紙やトナーが切れた場合、すべてのファクスはメモリに受信されます。用紙を追加したりトナーカートリッジを交換すると、ファクスが自動的にプリントされます。
- 留守番電話に応答メッセージを録音する場合
  - ・メッセージの長さは 15 秒以内にしてください。
  - ・相手にファクスの送信方法を伝えてください。

例：「ただいま留守にしております。ファクスを送信される方は、スタートボタンを押してください。よろしくお願いします。」

問題が発生した場合にファクスをメモリで受信する

記録紙やトナー切れでプリントできない場合、受信したファクスは自動的にメモリに記憶されます。ディスプレイには、< ダイコウ ジュシン シマシタ > と問題を知らせるメッセージが表示されます。エラーメッセージ、原因、問題の解決方法については、以下を参照してください。

メモ
- 本製品のメモリには、最大で A4 サイズ約 510 枚分 * のデータを蓄積できます。
- 記憶されたファクスはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

メモリ代行受信した場合は、ディスプレイに次のいずれかのメッセージが表示されます。メッセージに従って問題を解決してください。

```
カートリッシ゛カ゛ カラニ ナリマシタ
```

原因：トナーカートリッジのトナーが切れた、またはきちんとセットされていません。

解決方法：カートリッジがきちんとセットされているか確認し、必要に応じて新品に交換してください。「トナーカートリッジをセット / 交換する」（→ P.1-20）を参照してください。

```
ヨウシカ゛ アリマセン
```

原因：用紙が切れています。

解決方法：カセット / マルチフィーダに用紙を追加してください。「用紙のセット」（→ P.3-3）を参照してください。

```
ヨウシカ゛ ツマリマシタ
```

```
カハ゛ーヲ アケテ クタ゛サイ
```

原因：紙づまりが発生しています。

解決方法：つまった紙を取り除いてください。「用紙がつまったときには」（→ P.12-1）を参照してください。

```
トレイカ゛ イッハ゜イテ゛ス
```

原因：排紙トレイに原稿がたまっています。

解決方法：排紙トレイから原稿を取り除き、つまった紙を取り除いてください。「用紙がつまったときには」（→ P.12-1）を参照してください。

問題が解決されると、メモリに蓄積した原稿が自動的にプリントされます。

* キヤノン FAX 標準チャート No.1（標準モード）使用時

コピー中などに受信する

本製品は複数の処理を同時に行えるので、ユーザ情報を入力している間やコピー、プリントをしている間も、ファクスや電話を受けることができます。

コピーやプリントをしている間にファクスを受信した場合は、ファクスはメモリに保存されます。コピーやプリントが終了すると、ファクスが自動的にプリントされます。登録情報を入力している場合は、ファクスは受信後すぐにプリントされ、メモリには保存されません。

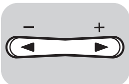
受信を中止する

受信を中止することができます。



1 **[ストップ / リセット] を押します。**

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
  <  ハイ               イイエ  >
```



2 **受信を中止する場合は [◀ (-)]、受信を続ける場合は [▶ (+)] を押します。**

ポーリング機能を使う

7
CHAPTER

ポーリング送信 / 受信の設定のしかたと使いかたについて説明します。
ポーリングを使うと、送信側が不在になってもファクスをやり取りすることができます。

ポーリング通信とは

送信側があらかじめセットしておいた原稿を、受信側から呼び出して受信する機能です。通常の送受信と異なり、ポーリング通信では、受信側が送信側に対してダイヤルすることになります。この機能をポーリング受信と呼びます。送信側は受信側からの送信要求の呼び出しに応じて原稿を送信します。

メモ　相手先にセットしてある原稿を送信させるだけでなく、ポーリング送信にも対応しています。

ポーリング受信の準備をする

ポーリング通信を行う前に、以下の点に注意してください。

1 回の操作で、最大 142 箇所まで複数台のファクスからポーリング受信できます。

相手側がポーリング ID 機能を搭載したキヤノン製ファクスを使用している場合は、ファクスのポーリング ID を 255（2 進数で 1111 1111）に設定するよう依頼してください。ポーリング ID に関する詳細については、相手側が所有しているファクスの取扱説明書を参照してください。それ以外の場合は、ポーリング ID は必要ありません。

相手先にセットされている原稿を受信する（ポーリング受信）

原稿の送信を要求する

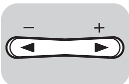


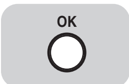
1　[ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



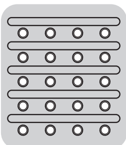
2　ワンタッチダイヤルパネルを開き、[ポーリング] を押します。





3　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<2.ポーリング ジュシン>を選択し、[OK] を押します。

ホ゜ーリンク゛ 2.ホ゜ーリンク゛ シ゛ュシン	→	TEL=



4　ポーリングする相手先を入力します。

● **ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルキーを押します。



● **短縮ダイヤル**

[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤル（00 ～ 99）を入力します。

- 各短縮ダイヤルを入力する前に、必ず [短縮] を押してください。





● **電話帳からのダイヤル**

❑ [電話帳] を押します。

❑ 検索する送信先の名前の最初の文字を入力し、[OK] を押します。

❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して名前をスクロールし、目的の宛先を見つけます。

❑ [OK] を押します。



● **通常のダイヤル**

テンキーまたは [リダイヤル / ポーズ] で番号を入力します。

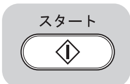
- 10 箇所の番号を入力できます。



- 番号を入力したら、必ず [OK] を押してください。

メモ　間違えた場合は、ワンタッチダイヤルパネルを開き、[削除] を押して、1 桁ずつ削除するか、[クリア] を押して、入力した数字をすべて削除します。





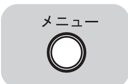
5　［スタート］を押します。

呼び出しを受けて送信する（ポーリング送信）

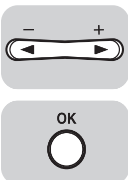
原稿をメモリに蓄積させておき、相手からの操作で送信できます。この機能をポーリング送信と呼びます。ポーリング送信をする前に、メモリ内に原稿を蓄積させるためのポーリングボックスを、あらかじめ作成しておく必要があります。

ポーリングボックスを設定する

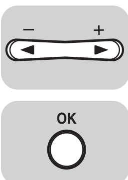
ポーリング送信を使用する前に、メニューの < ポーリング ボックス > でポーリングボックスを作成する必要があります。ポーリング用の原稿はポーリングボックスのメモリに蓄積され、相手機にポーリングされるまで、または削除されるまで保存されます。



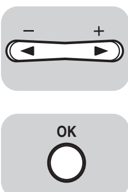
1 [メニュー] を押します。



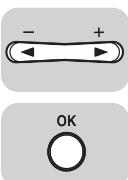
2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<4.ファクス キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。



3 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<6.ポーリング ボックス>を選択し、[OK] を押します。



4 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.サクセイ>を選択し、[OK] を押します。



5 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.ボックス メイショウ>を選択し、[OK] を押します。

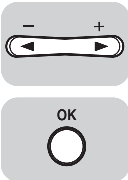


6 テンキーでポーリングボックスのファイル名（スペースを含めて最大 24 文字）を入力し、[OK] を押します。

```
                    :ア       サクセイ
キヤノン               →        2.アンショウバンゴウ
```



・文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
・ディスプレイに < トウロク シマシタ > というメッセージが数秒間表示されます。



7 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <2.アンショウバンゴウ> を選択し、[OK] を押します。

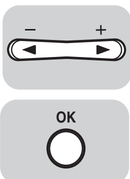
暗証番号を設定しない場合は、手順 9 に進みます。



8 テンキーで暗証番号（最大 7 桁）を入力し、[OK] を押します。

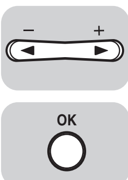
```
アンショウバンゴウ            サクセイ
          123xxxxx   →     3.ソウシンゴノ ゲンコウ クリア
```

メモ
- 暗証番号を設定することで、無許可のアクセスから保護することができます。設定を変更する場合には、この暗証番号を入力する必要があります。
- 文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。



9 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <3. ソウシンゴノ ゲンコウ クリア> を選択し、[OK] を押します。

```
サクセイ                          ソウシンゴノ ゲンコウ クリア
  3.ソウシンゴノ ゲンコウ クリア  →                    スル
```



10 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <スル> または <シナイ> を選択し、[OK] を押します。

・< スル >：相手機からのポーリングに応答して、原稿が送信された後、ポーリングボックスの原稿が消去されます。
・< シナイ >：送信後もポーリングボックスの原稿は消去されません。複数台のファクスからポーリングされる場合には、この設定を選択してください。

```
ソウシンゴノ ゲンコウ クリア      ポーリング ボックス
                  シナイ   →     2.ヘンコウ
```



11 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

ポーリングボックスに原稿を読み込む

ポーリングボックス内に原稿を記憶させます。原稿は相手先から呼び出しを受けて送信するまで、メモリ内に待機中の状態となります。

1 ADF に原稿をセットします。

ファクス送信できる原稿の種類、条件、セット方法については、「送信可能な原稿について」（→ P.5-1）および「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



2 [ファクス] を押します。

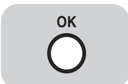
すでにファクス（スタンバイ）モードに移行している場合は、この手順は不要です。

3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

- ファクスの解像度を調節する場合は、[画質] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）
- 読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5）



4 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[ポーリング] を押します。

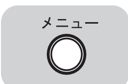


5 [OK] を押します。

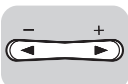
原稿がポーリングボックスに読み込まれます。

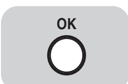
ポーリングボックスの設定内容を変更する

以下の手順に従い、ポーリングボックスの設定内容を変更します。

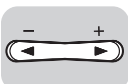


1 [メニュー] を押します。



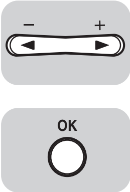


2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <4.ファクス キノウ セッテイ> を選択し、[OK] を押します。

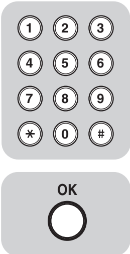




3 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <6.ポーリング ボックス> を選択し、[OK] を押します。



4 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<2.ヘンコウ>を選択し、[OK] を押します。

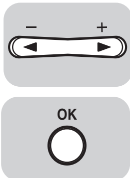


5 テンキーで暗証番号（最大 7 桁）を入力し、[OK] を押します。

暗証番号を設定していない場合は、手順 6 に進みます。

ヘンコウ アンショウバンゴウ　＊＊＊＊＊＊＊	→	ヘンコウ １．ボックス　メイショウ

文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。



6 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して変更する設定を表示し、[OK] を押します。

それぞれの項目の設定を変更するには、ポーリングボックスの初期設定の手順に従ってください。（→ポーリングボックスを設定する：P.7-4）

メモ

- 暗証番号を変更する場合は、現在の暗証番号を入力して（入力した暗証番号は表示されません）[OK] を押し、新しい暗証番号を入力して（入力した暗証番号が表示されます）[OK] を押してください。
- 暗証番号を忘れた場合は、暗証番号の変更ができません。

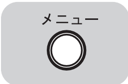


7 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

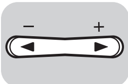
ポーリングボックスを取り消す

以下の手順に従い、ポーリングボックスを消去します。

メモ　送信待機中の原稿がポーリングボックス内にある場合は、ボックスを消去することはできません。

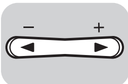


1　[メニュー] を押します。



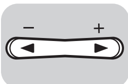


2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <4. ファクス キノウ セッテイ > を選択し、[OK] を押します。





3　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <6. ポーリング ボックス > を選択し、[OK] を押します。





4　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <3. トリケシ> を選択し、[OK] を押します。





5　テンキーで暗証番号（最大 7 桁）を入力し、[OK] を押します。

暗証番号を設定していない場合は、手順 6 に進みます。

トリケシ アンショウバンゴウ　＊＊＊＊＊＊＊	→	トリケシ トリケシマシタ

文字の入力 / 削除方法については、「文字を入力する」（→ P.2-1）を参照してください。
ポーリングボックスが削除されます。

メモ　ポーリングボックスに原稿が保存されている場合は、ポーリングボックスは削除されず、< トリケシ デキマセン > というメッセージがディスプレイに表示されます。ポーリングボックスを削除する場合は、ポーリングボックスに保存されている原稿を削除してから上記の手順に従ってください。メモリに蓄積されている原稿の削除方法については、「ファクスジョブを削除する」（→ P.10-2）を参照してください。



6　[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

その他の機能

8
CHAPTER

その他の便利な機能を説明します。

その他のダイヤル方法

海外へのダイヤルなど、その他のダイヤル方法を説明します。

長距離電話をかける

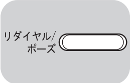
長距離の電話番号を登録する際は、番号の間または最後にポーズを挿入しなければならない場合があります。長距離電話に必要なポーズの位置と長さは、電話システムによって異なります。

■ ポーズの挿入方法

次の手順に従って、番号の間または最後にポーズを挿入してください。



1　ダイヤル番号の登録中にダイヤル番号の入力を指示されたら、テンキーで番号を入力します。





2　番号の間にポーズを挿入する場合は、[リダイヤル / ポーズ] を押します。

・番号の最後にポーズを挿入する場合は、[リダイヤル / ポーズ] → [OK] の順に押します。
・[リダイヤル / ポーズ] を 1 回押すと約 2 秒のポーズが挿入されます。
・必要に応じて、ポーズの長さを調整してください。詳細は、「2. ポーズ ジカン セット」（→ P.14-9）を参照してください。
・ポーズの長さを延長する場合は、もう一度 [リダイヤル / ポーズ] を押してください。ボタンを押すたびに、ポーズの長さが 2 秒延長されます。
・番号の最後に挿入されたポーズ（P）は 10 秒です。この値は変更できません。

プッシュホンサービスを利用する

銀行の残高照会、電車や飛行機の予約、ポケットベルサービスなど、いろいろなプッシュホンサービスが利用できます。また、本製品がダイヤル回線に接続されている場合でも、トーン送出機能を使って、各種のプッシュホンサービスを利用することもできます。



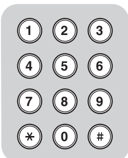
1 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



2 [オンフック] を押します。

オプションのハンドセットを接続している場合は、ハンドセットを取ります。（→第 1 章「お使いになる前に」）
通信中 / メモリランプが緑色に点滅し、「ツー」という発信音が聞こえます。



3 テンキーで相手先を指定します。

相手先に接続します。



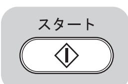
4 相手の音声が聞こえたら、[トーン] を押します。

- [トーン] を押すと、[トーン] が押されたことを示す「T」という文字がディスプレイに表示されます。
- トーン送出に切り替わります。



5 プッシュホンサービスの内容に合わせて、テンキーで番号を入力します。

サービスの内容やテンキーから操作する番号については、サービスを提供している業者に確認してください。



6 受信状態にする必要のある場合は、[スタート] を押します。

サービスの利用を終了するときは、[オンフック] を押すか、ハンドセットを元に戻します。

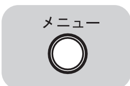
メモリ受信を利用する

受信した原稿をメモリに蓄積させ、用紙にプリントしないように設定することができます。この機能をメモリ受信と呼びます。この機能を利用すると、夜間や休日などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、安全に管理することができます。メモリ受信した原稿は、後から暗証番号を入力して用紙にプリントすることができます。

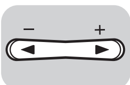
メモリ受信と暗証番号を設定する

メモリ受信が設定されると自動的にメモリ受信モードに切り替わります。メモリ受信モードに設定されている間に受信した原稿は、暗証番号を入力してプリントするまで蓄積されたままとなります。

以下の手順に従い、メモリ受信と暗証番号を設定します。

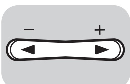


1 **[メニュー] を押します。**



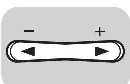


2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<4.ファクス キノウ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



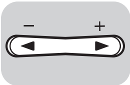


3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<7.システム カンリ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**

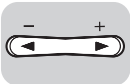




4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.メモリ ジュシン>を選択し、[OK] を押します。**




5 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して < スル > を選択し、[OK] を押します。




6 [◀ (-)]または[▶ (+)]を押して設定したい設定内容を表示させ、[OK]を押します。

メモリ ジュシンでは次の内容を設定できます。

設定項目	設定内容
1. プリント アンショウバンゴウ	0 ～ 9999999 メモリ受信設定の暗証番号を設定します。 暗証番号は設定することをお勧めします。 ロックを解除して、メモリに蓄積されている原稿をプリントするときに使用します。 テンキーを使って、暗証番号を入力します。（7 文字以内）→ [OK] を押します。
2. レポート	送受信結果レポートや通信管理レポートをプリントするかどうか設定します。
プリント シナイ	メモリ受信モードに設定されているとき、レポートをプリントしません。
プリント スル	メモリ受信モードに設定されているとき、レポートをプリントします。

太字は工場出荷時の設定



7 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

メモリ受信を解除して、原稿をプリントする

以下の手順に従い、メモリ受信を解除し、メモリ受信した原稿をプリントします。

1 **メモリ受信が < スル > に設定されているときには、< メモリ ジュシン > とディスプレイに表示されます。**

2 **「メモリ受信と暗証番号を設定する」（→ P.8-3）の手順 1 ～ 5 に従い、メモリ受信を < シナイ > に設定します。設定が完了し、メモリ受信した原稿がプリントされます。**



3 **暗証番号が設定されている場合は、テンキーで暗証番号を入力し、[OK] を押します。メモリ受信を < シナイ > に設定し、もう一度 [OK] を押します。[OK] を押すと、メモリ受信モードに設定されている間にメモリ受信した原稿がプリントされ、メモリ受信モードは解除されます。**

メモ　暗証番号を忘れた場合は、メモリ受信を解除できません。

F ネットを利用する

F ネットとは、NTT コミュニケーションズが提供するファクシミリ通信網サービス（有料）のことです。F ネットを使って、各種サービスを利用することができます。

F ネットをご利用になるには、NTT コミュニケーションズとの加入契約が必要です。詳しくは、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

F ネットの加入契約をされる際、「G3 の 16Hz」で契約してください。

F ネットのおもなサービス

F ネットのおもなサービスは以下のとおりです。

F ネットでできること	内容
無鳴動自動受信	呼び出し音は鳴らさずに自動受信します。
漢字宛名サービス	送信した場合、相手の記録紙に送信日時や発信者電話番号などが自動的に印字されます。
再コール	相手が話し中の場合など、自動的にかけ直します。
送達通知	送信の結果が通知されます。
不達通知	原稿を送信できなかった場合、不達通知が送られてきます。
短縮ダイヤル	登録した短縮ダイヤルで、簡単にダイヤルできます。
同報通信	1 回の操作で複数の相手に送信します。
親展通信	暗証番号で特定の相手と通信します。
閉域接続	特定のグループ内だけで通信します。
ファクシミリボックス	本製品を使用中でも NTT 内のボックスでいったん受信します。
ファクシミリ案内	各種の情報サービスが利用できます。

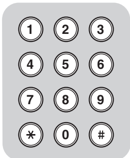
F ネットで同報通信する

F ネットを利用する例として、電話番号が「03-1111-2222」と「03-3333-4444」の相手に同報通信する場合の説明をします。

1 ADF に原稿をセットします。

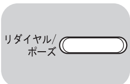
原稿をセットする方法については、「ADF に原稿をセットする」(→ P.5-3) を参照してください。

メモ　原稿に合わせて解像度、濃度、画質が設定できます。(→画質（解像度）/ 濃度を調節する：P.5-5)



2 テンキーで同報認識番号「162」を入力します。

```
TEL=              162
```



3 [リダイヤル / ポーズ] を押します。

入力した「162」の後に「P」が表示されます。

```
TEL=             162P
```

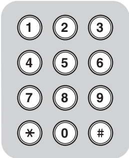
メモ
- F ネットがつながりにくい場合は、もう一度 [リダイヤル / ポーズ] を押してポーズを追加してください。
- ポーズ 1 つ（「p」）につき 2 秒間のポーズ時間が設定されます。



4 [トーン] を押します。

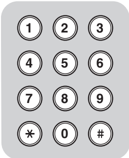
プッシュ回線に接続している場合は、[トーン] を押さずに手順 5 に進みます。

```
TEL=            162PT
```



5 テンキーで同報通信のサービスコード「#213」を入力します。

```
TEL=          162ᴘT#213
```

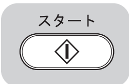


6 続けてテンキーで送信する相手先の電話番号「0311112222」、「＊」、「0333334444」、「#」を入力します。

```
TEL=2222*0333334444#
```

メモ

- 手動送信の場合、F ネットの電話番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録することもできます。（→ワンタッチダイヤルを登録する：P.4-2）（→短縮ダイヤルを登録する：P.4-7）
- 手動送信の場合、相手先の指定はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなども利用できます。（→ワンタッチダイヤルを使用する：P.4-5）（→短縮ダイヤルを使用する：P.4-10）



7 ［スタート］を押します。

原稿の読み込みが開始されます。

9
CHAPTER

コピーするには

コピーの操作方法について説明します。

コピー操作の流れ

以下の手順に従い、コピー操作を行います。

1 ADF に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「ADF に原稿をセットする」(→ P.5-3) を参照してください。



2 [コピー] を押します。

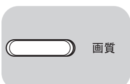
すでにコピー（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



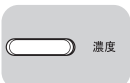
3 テンキーでコピー部数を入力します。

最大 99 部まで設定できます。

4 原稿に合わせて設定を行います。



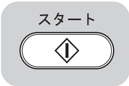
・読み取り解像度を調節する場合は、[画質] を押します。(→画質（解像度）を調節する : P.9-8)



・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。(→濃度を調節する : P.9-8)



・コピー倍率を調節する場合は、[拡大 / 縮小] を押します。(→コピー倍率の設定 : P.9-6)



5 [スタート] を押します。

メモ　コピーを中止する場合は、[ストップ / リセット] を押してください。

用紙のサイズと種類の設定（カセット、マルチフィーダ共通）

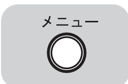
メモ

- A4 よりもサイズの小さい用紙で連続コピーをした後すぐに A4 サイズの用紙でコピーを取ると、コピーが汚れる場合があります。1 分程度待ってからコピーしてください。
- マルチフィーダにセットされた用紙は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- メニューでいったん変更した設定は、自動では元に戻りません。必要な場合は、元の設定に変更し直してください。
- 小さいサイズの用紙、厚紙＊などの用紙にコピーする場合は、コピー速度が通常よりも若干遅くなる場合があります。

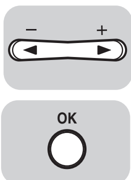
  ＊用紙の種類をメニューで選択してください。
- 熱転写プリンタなどで印字した用紙の裏面にコピーやプリントをしないでください。
- OHP フィルムにコピーする場合は、フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

用紙のサイズを設定する

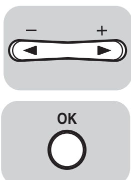
工場出荷時の用紙サイズの設定は A4 です。A4 以外のサイズの用紙にコピーする場合は、用紙のサイズを設定してください。



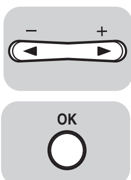
1 **[メニュー] を押します。**



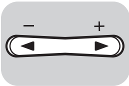
2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.ヨウシ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.カセット>または<2.テザシトレイ>を選択し、[OK] を押します。**

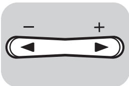


4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.ヨウシ サイズ>を選択し、[OK] を押します。**





5 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、用紙のサイズ（カセットの場合は A4、B5、A5、LTR、EXEC、ハガキ、オウフクハガキ、フウトウ、またはマルチフィーダの場合は A4、B5、A5、LTR、LGL、EXEC、ハガキ、オウフクハガキ、フウトウ、フリー）を選択し、[OK] を押します。



● **< フウトウ > を選択した場合は**

[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、封筒の種類（洋形 4 号、洋形 2 号）を選択し、[OK] を押します。



● **< フリー > を選択した場合は**

[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して < タテ サイズ > または < ヨコ サイズ > を選択し、[OK] を押します。

テンキー、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して用紙の縦横のサイズを mm 単位で指定します。

< タテ サイズ > の設定可能範囲：127 ～ 356mm
< ヨコ サイズ > の設定可能範囲：76 ～ 216mm

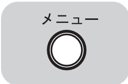
[OK] を押します。
上の手順を繰り返して縦横のサイズをそれぞれ指定します。



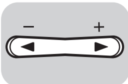
6 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

用紙の種類を設定する

工場出荷時の設定では、< フツウシ > が選択されています。普通紙以外の用紙にコピーする場合は、次の手順に従って、用紙の種類を設定してください。用紙に合った設定をすることでコピーやプリントの質を向上させることができます。

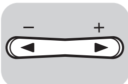


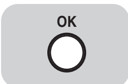
1 **[メニュー] を押します。**



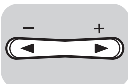


2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.ヨウシ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



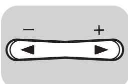


3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<1.カセット>または<2.テザシトレイ>を選択し、[OK] を押します。**





4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<2.カミシュ>を選択し、[OK] を押します。**





5 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、用紙の種類（フツウシ、OHP フィルム、フツウシL、アツガミ、アツガミH）を選択し、[OK] を押します。**



6 **[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。**

コピー倍率の設定

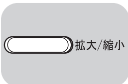
定形変倍またはズーム変倍を入力して、拡大 / 縮小コピーを取ることができます。

定形変倍を使用して拡大 / 縮小する



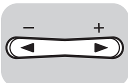
1 [コピー] を押します。

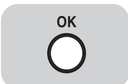
すでにコピー（スタンバイ）モードに移行している場合は、この手順は不要です。



2 [拡大 / 縮小] を押します。.

```
テイケイ ヘンハ゛イ
 -        100%        +
```





3 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押してコピー倍率を選択し、[OK] を押します。

```
テイケイ ヘンハ゛イ                      70%        A4
 -     70% A4→A5 B4→B5     →    ▢▢■▢◗      モシ゛        01
```

次の項目から選択できます。

- 200%　MAX.
- 141%　A5 → A4
- 115%　B5 → A4
- 100%
- 86%　A4 → B5
- 81%　B4 → A4、B5 → A5
- 70%　A4 → A5、B4 → B5
- 50%　MIN.

メモ

- <コピー シヨウ セッテイ>メニューの<サイズ ケイレツ>設定がインチまたはAに設定されている場合、定形変倍は次のようになります。
  インチ：50%、64%、78%、100%、129%、200%
  A：50%、70%、100%、141%、200%





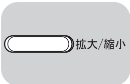
- コピー倍率をリセットする場合は、<トウバイ 100%>が表示されるまで [拡大 / 縮小] を数回押し、[OK] を押してください。

ズーム変倍を使用して拡大 / 縮小する



1　[コピー] を押します。

すでにコピー（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



2　[拡大 / 縮小] を 2 回押します。

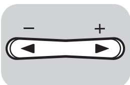
```
ズーム 50-200%
 -      100%     +
```



3　テンキーでコピー倍率を入力し、[OK] を押します。

```
ズーム 50-200%
 -       80%     +
```
→
```
 80%        A4
            モジ      01
```

・コピー倍率は、50 ～ 200% の範囲で 1% 単位で入力可能です。



・コピー倍率の入力後も、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、コピー倍率を調整できます。コピー倍率を大きくする場合は [▶ (+)]、小さくする場合は [◀ (-)] を押してください。

メモ　コピー倍率をリセットする場合は、<トウバイ 100%> が表示されるまで [拡大 / 縮小] を数回押し、[OK] を押してください。





画質 / 濃度を調節する

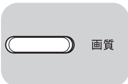
画質（解像度）を調節する

文字原稿や写真原稿に合わせて、3 段階に画質を調節できます。



1 [コピー] を押します。

すでにコピー（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



2 [画質] を繰り返し押して設定する解像度を表示します。

次の項目から選択できます。

- < モジ > は、文字原稿に適しています。
- < モジ / シャシン > は、文字と写真の両方を含む原稿に適しています。
- < シャシン > は、写真原稿に適しています。

メモ < モジ / シャシン > または < シャシン > が設定された場合は、コピー濃度は自動的に手動モードに切り替わります。

濃度を調節する

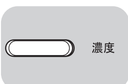
原稿の濃度に合わせて、自動または手動で濃度を調節できます。

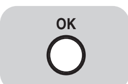
■ 自動調節



1 [コピー] を押します。

すでにコピー（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





2 [濃度] を押して自動モードを選択し、[OK] を押します。

ﾉｳﾄﾞ ｼﾞﾄﾞｳ	→	100% A4 01 A ﾓｼﾞ

コピーの濃度が自動的に調節されます。

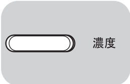
メモ < ジドウ > が設定された場合は、画質のモードは自動的に < モジ > に切り替わります。

■ 手動調節

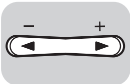


1　[コピー] を押します。

すでにコピー（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。



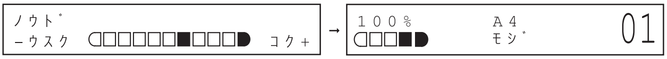
2　[濃度] を 2 回押して、手動モードを選択します。





3　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してコピー濃度を調節し、[OK] を押します。

薄く設定する場合は、[◀ (-)] を押します。
濃く設定する場合は、[▶ (+)] を押します。.



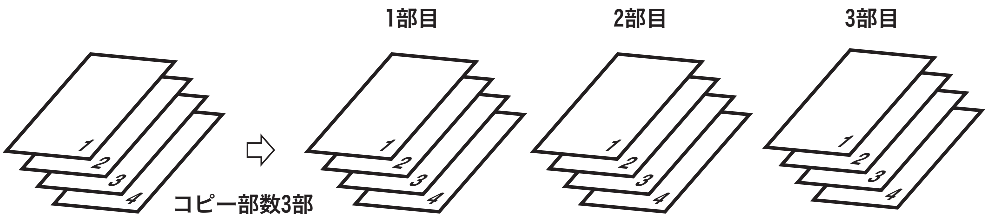
メモ　目盛りが左に移動すると濃度は薄く、右に移動すると濃く設定されます。

その他の機能

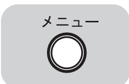
本製品では、ソートコピーおよび予約コピーが可能です。

ソートコピー

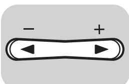
出力されたコピーをページ順に並べることができます。複数ページの原稿を複数部コピーするときに便利です。この機能を使用するには、< コピー シヨウ セッテイ > メニューで < ジドウ ソート > を < スル > に設定する必要があります。(→ P.14-6)



次の手順に従って、ソートコピー機能を < スル > に設定します。

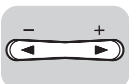


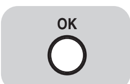
1 **[メニュー] を押します。**



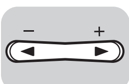


2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <3. コピー シヨウ セッテイ > を選択し、[OK] を押します。**





3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <5. ジドウ ソート> を選択し、[OK] を押します。**





4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して < スル > を選択し、[OK] を押します。**



5 [ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

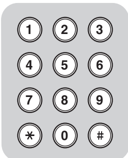
ソートコピー機能が < スル > に設定されます。コピーを取る場合は、「コピー操作の流れ」（→ P.9-1）の手順に従ってください。

予約コピー

プリントをしている間に次のジョブを予約できます。

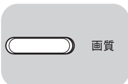
1 ADF に予約する原稿をセットします。

原稿をセットする方法は、「ADF に原稿をセットする」（→ P.5-3）を参照してください。



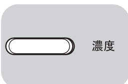
2 テンキーでコピー部数を入力します。

最大 99 部まで設定できます。

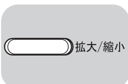


3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

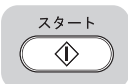
・読み取り解像度を調節する場合は、[画質]を押します。（→画質（解像度）を調節する：P.9-8）



・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→濃度を調節する：P.9-8）



・コピー倍率を調節する場合は、[拡大 / 縮小] を押します。（→コピー倍率の設定：P.9-6）



4 [スタート] を押します。

読み込みが開始されます。

メモ

- 現在コピー中のプリントが完了すると、予約したコピーが開始されます。
- 原稿の読み込み中にメモリがいっぱいになった場合は、ディスプレイに < メモリガ イッパイデス > と表示されます。ADF を使用して読み込みを行っている場合は、ADF 内で読み込み中の原稿が停止します。この場合には、[OK] を押して、原稿を排出させてください。このとき読み込まれたすべての原稿は消去されます。原稿をいくつかに分けてコピーするか、画質モードを下げてからコピーし直してください。
- 使用可能なメモリが少なくなると、< シバラク オマチクダサイ > と < メモリガ アクノヲマッテイマス > が交互に表示されます。メモリが空くと、読み込みが自動的に再開されます。また、カセットに用紙がセットされているか確認してください。

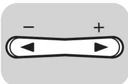
■ 予約したコピージョブを確認する



1　プリント中に [ストップ / リセット] を押します。

```
チュウシスルコピ゜ーシ゜ョフ゜ヲセンタク
＊0044          02×30
```

- 予約番号
- ＊：プリント中
  表示なし：待機中
  ー：用紙切れ、紙づまり等
- コピー部数
- 原稿枚数



2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、予約番号と原稿枚数を確認します。

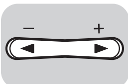
メモ　確認を完了するには、[ストップ / リセット] を押します。



■ 予約したコピージョブを削除する



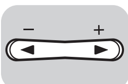
1　プリント中に [ストップ / リセット] を押します。





2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して削除するジョブを表示し、[OK] を押します。

```
チュウシスルコピ゜ーシ゜ョフ゜ヲセンタク     コヒ゜ーヲ　チュウシ　シマスカ?
＊0045          01×20      →     <　ハイ          イイエ　>
```



3　[◀ (-)] を押して、< ハイ > を選択します。

予約されていたコピージョブが削除されます。

メモ
- コピージョブの削除を取り消す場合は、[▶ (+)] を押して、< イイエ > を選択します。
- 削除したコピージョブは復元できません。

10 CHAPTER

システムモニタ

コピー、ファクス、プリント、レポートの各ジョブ状況の確認

ジョブの確認や削除を行うには、[システムモニタ] を使用します。

[システムモニタ] を使用すると、モードごとに次の順序でジョブがディスプレイに表示されます。

コピーモード	ファクスモード
- コピー ジョウキョウ	- ファクス ジョウキョウ
- ファクス ジョウキョウ	- コピー ジョウキョウ
- プリント ジョウキョウ	- プリント ジョウキョウ
- レポート ジョウキョウ	- レポート ジョウキョウ

通信状況を確認する

次の手順に従って、ファクス送受信の状況を確認します。





1 [システムモニタ]を押して、<ファクス ジョウキョウ>を表示し、[OK]を押します。

```
ファクス　シ゛ョウキョウ
　1.ツウシン　シ゛ョウキョウ
```
→
```
16:50　0056　TX
　　　　　123xxxx
```



メモ

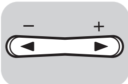
- スタンバイモードに戻る場合は、[ストップ / リセット] を押してください。
- ファクスの送受信が行われていないときに上の手順を行った場合は、< ツウシンチュウノブンショハアリマセン > と表示され、手順 1 左のディスプレイに戻ります。
- ディスプレイに表示されている受付番号と <TX/RX> は次のとおりです。
  - <0001> 〜 <4999>：送信ファクス（TX）
  - <5001> 〜 <9999>：受信ファクス（RX）

通信結果と送信予約を確認する

次の手順に従って、ファクス送受信の結果と送信予約（自動リダイヤル、タイマー送信）を確認します。



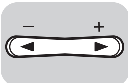
1 **[システムモニタ] を押して < ファクス ジョウキョウ > を表示します。**





2 **[◀ (-)]または[▶ (+)]を押して<2.ツウシンケッカ>を選択し、[OK]を押します。**

送信時刻、受付番号、ファクス番号をチェックして送信結果と予約状況を確認できます。



3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、送信結果と予約状況を確認します。**

```
15:34 0010 TX ﾀｲｷﾁｭｳ
[   01]CANON USA
```

メモ スタンバイモードに戻る場合は、[ストップ / リセット] を押してください。

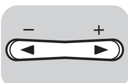


ファクスジョブを削除する

次の手順に従って、自動リダイヤルまたはタイマー送信で送信待ちの原稿を削除します。



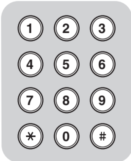
1 **[システムモニタ] を繰り返し押して、<ファクス ジョウキョウ>を表示します。**





2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<3.ゲンコウ クリア>を選択し、[OK] を押します。**

```
ﾌｧｸｽ ｼﾞｮｳｷｮｳ
 3.ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
```

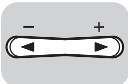


3 **テンキーで削除するファクスジョブの受付番号を入力し、[OK] を押します。**




```
ウケツケ ハ゛ンコ゛ウ        0055   →   クリアシテ イイテ゛スカ?
                                          < ハイ          イイエ >
```

メモ　予約したファクスジョブの受付番号は、原稿リストをプリントして確認できます。(→P.11-12)



4 **ファクスジョブを削除する場合は、[◀ (-)] を押して<ハイ>を選択します。**

ファクスジョブの削除を取り消す場合は、[▶ (+)] を押して < イイエ > を選択します。

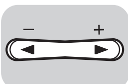
メモ　送信予約および通信ジョブが存在しないときに上の手順を行った場合は、< チクセキガゾウガ アリマセン > と表示され、手順 2 のディスプレイ表示に戻ります。
通信中のジョブは、システムモニタからは削除できません。

コピージョブを確認 / 削除する



1 **[システムモニタ] を繰り返し押して、<コピー ジョウキョウ>を表示します。**

メモ　ジョブが存在しない場合は、< コピー ジョブハ アリマセン > と表示されます。



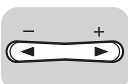
2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、ジョブ番号とコピー部数を確認します。**

```
コヒ゛ー シ゛ョウキョウ
*0003            03×02
```

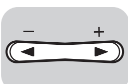


3 **コピージョブを削除する場合は、[OK] を押します。**

```
コヒ゛ーヲ チュウシ シマスカ?
 < ハイ          イイエ >
```



4 **ジョブの削除を確定する場合は、[◀ (-)] を押して < ハイ > を選択します。**



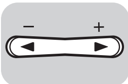
メモ
- ジョブの削除を取り消す場合は、[▶ (+)] を押して < イイエ > を選択します。
- 削除されたジョブは復元できません。

プリントジョブを確認 / 削除する



1 [システムモニタ] を 3 回押します。

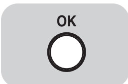
メモ　ジョブが存在しない場合は、< プリント ジョブハ アリマセン > と表示されます。



2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、ファイル名を確認します。

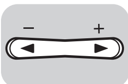
```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ
＊ －－－－－－－－－－－－
```

ファイル名

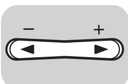


3 プリントジョブを削除する場合は、[OK] を押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 < ﾊｲ           ｲｲｴ >
```



4 ジョブの削除を確定する場合は、[◀ (-)] を押して < ハイ > を選択します。



メモ

- ジョブの削除を取り消す場合は、[▶ (+)] を押して<イイエ>を選択します。削除されたジョブは復元できません。
- ディスプレイには、ASCII コードの文字が表示されます。ASCII コード以外の文字を使用すると、正しい文字が表示されない場合があります。

レポートジョブを確認 / 削除する



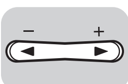
1 [システムモニタ] を 4 回押します。

メモ　ジョブが存在しない場合は、< レポート ジョブハ アリマセン > と表示されます。

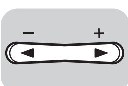


2 存在するレポートジョブが 1 件のみの場合は、[OK] を押して削除します。

```
ﾚﾎﾟｰﾄｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 < ﾊｲ           ｲｲｴ >
```



3 ジョブの削除を確定する場合は、[◀ (-)] を押して、< ハイ > を選択します。



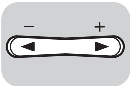
4 複数のレポートジョブが存在する場合は、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して削除するジョブを選択します。

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ
＊02 ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
```



5 [OK] を押します。

```
レポ゛ートヲ　チュウシ　シマスカ?
 <　ハイ　　　　　　　　イイエ　>
```



6 ジョブの削除を確定する場合は、[◀ (-)] を押して < ハイ > を選択します。

メモ　ジョブの削除を取り消す場合は、[▶ (+)] を押して < イイエ > を選択します。削除されたジョブは復元できません。

11
CHAPTER

各種レポート / リストをプリントする

各種レポートおよびリストのプリントのしかたについて説明します。
通信結果に関するレポートをはじめ、本製品に登録した電話番号や通信設定内容の一覧をプリントすることができます。
カセットに A4 またはレターサイズの用紙をあらかじめセットしておいてください。

通信管理レポートをプリントする

通信管理レポートは、20 件ごとに自動的にプリントされます。レポートには送受信ファクスの詳細が記載されており、通信を確認できます。

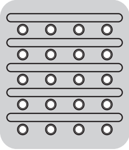
- 送受信が同じレポートにプリントされます。
- 原稿を複数の相手に送信した場合（同報送信）、グループ通信として同じ受付番号が割り当てられます。

通信が 20 件に満たなくても、手動で通信管理レポートをプリントすることができます。



1　[ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。





2　ワンタッチダイヤルパネルを開き、[レポート] を押します。

```
レホ゜ート
  １.ツウシンカンリ　レホ゜ート
```



3 [OK] を押します。

通信管理レポートがプリントされ、ディスプレイがスタンバイモードに戻ります。

2006 03/31 15:35 FAX 03xxxxxxxx　　キヤノン　　☑001

****
***　通信管理レポート　***
****

開始時刻	相手先	番号	通信モード	枚数	通信結果
*03/31 13:35	03xxxxxxxx	0001	送信	0	NG 00'00 0 #0995
*03/31 13:47	03xxxxxxxx	0002	送信	0	NG 00'00 0 #0018
*03/31 13:55	03xxxxxxxx	0003	送信	0	NG 00'00 0 #0018
03/31 13:57	03xxxxxxxx	0004	送信 ECM	1	OK 00'16

エラーコード

*が付いている場合は、すでにプリントされています。

受付番号

送信結果レポート

本製品は送信中にエラーが発生した場合のみ、レポート（エラー送信レポート）がプリントされるよう設定されていますが、原稿を送信するたびにレポート（送信結果レポート）をプリントするように変更することもできます。

また、メモリ送信の場合は、原稿の最初のページをレポートと一緒にプリントするかどうかを選択することもできます。
これらの設定については、<レポート セッテイ>メニューの「1. ソウシンケッカ レポート」（→ P.14-8）を参照してください。

開始時刻	最後に原稿を送信した時刻です。
通信時間	最後に原稿を送信したときにかかった時間です。
枚数	送信されたページ数を示します。
通信結果	OK すべてのページが正常に送信されたことを示します。 NG 再試行をしても一部のページまたはすべてのページが送信されなかったことを示します。

エラー送信レポート

```
2006 03/31 13:58 FAX  03xxxxxxxx          キヤノン                    ☑001

                    ***************************
                    ***     エラー送信レポート     ***
                    ***************************

        次の送信はエラー終了しました

        受付番号                  0003
        相手の電話番号            03xxxxxxxx
        相手先略称
        開始時刻                  03/31 13:55
        通信時間                  00'00
        枚数                         0
        通信結果                  NG          STOP
```

送信結果レポート

原稿の最初のページをプリントするようにファクスを設定した場合

2006 03/31 13:03 FAX 03xxxxxxxx　　キヤノン　　001

```
****************************
***    送信結果レポート    ***
****************************

次の送信は正しく終了しました

受付番号          0022
相手の電話番号    03xxxxxxxx
相手先略称
開始時刻          03/31 16:03
通信時間          00'11
枚数                 1
通信結果          OK
```

WORLD ESTATE, INC.
West 44th Street
New York, NY
U.S.A
Global Real Estate Consultants in the Heart of

March 28, 2006

マルチ通信結果レポート

同報送信した場合は、マルチ通信結果レポートがプリントされます。

2006 03/31 13:18 FAX 03xxxxxxxx　　キヤノン　　001

```
******************************
***  マルチ通信結果レポート  ***
******************************

受付番号          5012
枚数                 1
未通信相手先
                  (3)    03xxxxxxxx
終了相手先
                  [  01]052xxxxxxx          カイハツ
                  [  02]03xxxxxxxx          キヤノン ハンバイ
エラー相手先
                  (4)    03xxxxxxxx
```

通信管理レポート（送信結果レポートまたは受信結果レポート）をプリントするように本製品を設定し、その後、同報送信または複数の相手先からのポーリング受信を使用した場合は、通信管理レポート（送信または受信）の代わりにマルチ通信結果レポートがプリントされます。

受信結果レポート

受信結果レポートは設定しない限りプリントされません。

原稿を受信するたび、または受信中にエラーが発生した場合に、受信結果レポートをプリントするよう本製品を設定できます。設定については、P.14-9 を参照してください。

2006 03/31 15:49 FAX 03xxxxxxxx キヤノン 001

****
*** 受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

次の受信は正しく終了しました

受付番号	5013
相手の電話番号	03xxxxxxxx
相手先略称	
開始時刻	03/31 15:48
通信時間	00'35
枚数	1
通信結果	OK

メモリクリアリスト

停電時、メモリに蓄積されたすべての原稿は、最長約 1 時間保存可能です。ファクスの電力供給の回復が 1 時間以上かかった場合、メモリ内の原稿データは消去されます。また、電力供給が回復されるとすぐに、停電によりメモリから削除された原稿データのリストが自動的にプリントされます。

2006 03/31 10:32 FAX 03xxxxxxxx キヤノン ☑001

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※ メモリクリアリスト ※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

次の通信予約またはメモリはクリアされました

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻
0011	タイマー送信	[01] カイハツ	1	03/31 10:27	12:00
0012	タイマー同報	[02] キヤノン ハンバイ	5	03/31 10:28	15:00

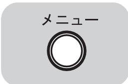
メモ

- 停電時に原稿が画像メモリに蓄積されていた場合は、用紙切れやトナー切れが発生していない限り、電力供給が回復されるとメモリクリアリストがプリントされます。
- メモリクリアリストは手動でプリントできません。

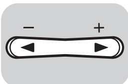
ダイヤルリストをプリントする

本製品では、ダイヤルリストをプリントできます。このリストでは、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル（グループダイヤルを含む）に登録された番号と名前を確認できます。

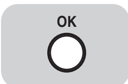
次の手順に従って、リストをプリントします。

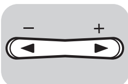


1 [メニュー] を押します。

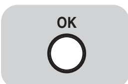


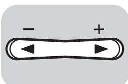
2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<8.リスト プリント>を選択し、[OK] を押します。



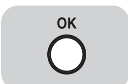


3 [◀ (-)]または[▶ (+)]を押して<2.ダイヤルリスト>を選択し、[OK]を押します。



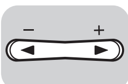


4 [◀ (-)]または[▶ (+)]を押してプリントするリストを選択し、[OK]を押します。



次の項目から選択できます。

- <ワンタッチ ダイヤルリスト 1>
- <タンシュク ダイヤルリスト 1>
- <グループ ダイヤルリスト >



<ワンタッチ ダイヤルリスト 1>または<タンシュク ダイヤルリスト 1>を選択した場合は、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <1. ソート シナイ > または <2. ソート スル > を選択してプリントする順序を決められます。

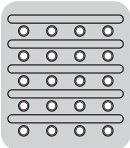


登録番号順でプリントする場合は、<1. ソート シナイ > を選択し、[OK] を押します。
相手先の名前を五十音順に並べてプリントする場合は、<2. ソート スル > を選択し、[OK] を押します。
リストがプリントされ、スタンバイモードに戻ります。

メモ

[レポート] を使用して、ダイヤルリストをプリントすることもできます。ワンタッチダイヤルパネルを開き、[レポート] を押して <2. ダイヤルリスト > を選択し、[OK] を押します。その後、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してプリントするレポートを選択して [OK] を押してください。







ワンタッチダイヤルリスト

ソートを行わなかった場合

2006 03/31 13:23 FAX 03xxxxxxxx キヤノン ☑001

****
*** ワンタッチ宛先リスト1 ***
****

番号	相手の電話番号	相手先略称
[04]	03xxxxxxxx	キヤノン ハンバイ
[03]	03xxxxxxxx	カイハツ
[06]	048xxxxxxx	サイタマ
[07]	グループダイヤル	キヤノン グループ A
[08]	グループダイヤル	コクナイ グループ A
[05]	052xxxxxxx	カイハツ
[02]	03xxxxxxxx	キヤノン ハンバイ
[01]	011xxxxxxx	カイハツ

ソートを行った場合

2006 03/31 13:23 FAX 03xxxxxxxx キヤノン ☑001

****
*** ワンタッチ宛先リスト1 ***
****

番号	相手の電話番号	相手先略称
[01]	011xxxxxxx	カイハツ
[03]	03xxxxxxxx	カイハツ
[05]	052xxxxxxx	カイハツ
[07]	グループダイヤル	キヤノン グループ A
[02]	03xxxxxxxx	キヤノン ハンバイ
[04]	03xxxxxxxx	キヤノン ハンバイ
[08]	グループダイヤル	コクナイ グループ A
[06]	048xxxxxxx	サイタマ

短縮ダイヤルリスト

ソートを
行わなかった場合

2006 03/31 13:23 FAX 03xxxxxxxx　　ｷﾔﾉﾝ　　001

****
短縮宛先ﾘｽﾄ1
****

番号	相手の電話番号	相手先名称
[* 00]	011xxxxxxx	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ
[* 02]	052xxxxxxx	ﾄｳｶｲ
[* 01]	048xxxxxxx	ｻｲﾀﾏ
[* 03]	076xxxxxxx	ﾎｸﾘｸ

ソートを
行った場合

2006 03/31 13:23 FAX 03xxxxxxxx　　ｷﾔﾉﾝ　　001

****
***　短縮宛先ﾘｽﾄ1　***
****

番号	相手の電話番号	相手先名称
[* 01]	048xxxxxxx	ｻｲﾀﾏ
[* 02]	052xxxxxxx	ﾄｳｶｲ
[* 03]	076xxxxxxx	ﾎｸﾘｸ
[* 00]	011xxxxxxx	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ

グループダイヤルリスト

2006 03/31 13:24 FAX 03xxxxxxxx　　ｷﾔﾉﾝ　　001

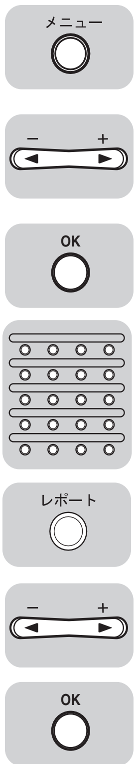
****
***　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ電話番号ﾘｽﾄ　***
****

[07] ｷﾔﾉﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ A	[01] 011xxxxxxx	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ
	[02] 03xxxxxxxx	ｶｲﾊﾂ
[08] ｺｸﾅｲｸﾞﾙｰﾌﾟ A	[03] 03xxxxxxxx	ｶｲﾊﾂ
	[04] 03xxxxxxxx	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ

ユーザデータリストをプリントする

本製品に登録されたすべてのデータのリストをプリントできます。入力したユーザ情報（名前と番号、日付と時刻など）や現在選択されている設定を確認できます。

次の手順に従って、ユーザデータリストをプリントします。



1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して<8.リスト プリント>を選択し、[OK]を2回押します。**

ユーザデータリストがプリントされ、スタンバイモードに戻ります。

メモ

[レポート] を使用して、ユーザデータリストをプリントすることもできます。ワンタッチダイヤルパネルを開き、[レポート] を押し、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <3. ユーザデータ > を選択して、[OK] を押してください。

2006 03/31 14:17 FAX　　キヤノン　　☑001

```
*************************
***   ユーザデータリスト   ***
*************************
```

1.用紙設定	
カセット	
用紙サイズ	A4
紙種	普通紙
手差しトレイ	
用紙サイズ	封筒
	洋形4号
紙種	厚紙
2.共通機能設定	
初期モード	ファクス
オートクリア後のモード切替	初期モードに戻す
音量調整	
キータッチ音量	鳴らさない
アラーム音量	鳴らす
音量	1
送信終了音量	エラー時のみ鳴らす
音量	1
受信終了音量	エラー時のみ鳴らす
音量	1
プリント終了音量	エラー時のみ鳴らす
音量	1
読取終了音量	エラー時のみ鳴らす
音量	1
通信音量	鳴らす
音量	2
濃度設定	3
トナーセーブモード	しない

全メモリ容量		8.176MB
ECONT	-----	0007

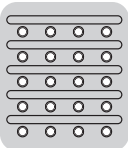
原稿リスト

メモリ内に蓄積されているすべての原稿データのリストをプリントすることができます。

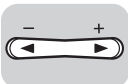


1 [ファクス] を押します。

すでにファクス（スタンバイ）モードになっている場合は、この手順は不要です。









2 ワンタッチダイヤルパネルを開き、[レポート] を押します。

[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <4. ゲンコウ リスト > を選択し、[OK] を押します。

原稿リストがプリントされ、スタンバイモードに戻ります。

メモ メモリに蓄積されている原稿の受付番号が分かれば、その原稿を削除できます。(→ファクスジョブを削除する：P.10-2)

2006 03/31 14:33 FAX 03xxxxxxxxx キヤノン ☑001

****

*** 原稿リスト ***

****

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻
0019	送信	03xxxxxxxxx	1	03/31 17:38	
0024	タイマー送信	[* 06]キヤノンUSA	1	03/31 18:33	20:00

12
CHAPTER

困ったときには

本製品が正常に動作しないときの対処のしかたについて説明します。

用紙がつまったときには

ここでは、つまった用紙の取り除き方を説明します。

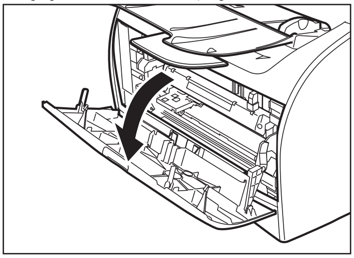
つまった用紙を本体内部から取り除く

用紙が本体の内部でつまると、ディスプレイに < ヨウシガ ツマリマシタ > および < カバーヲ アケテ クダサイ > と表示されます。

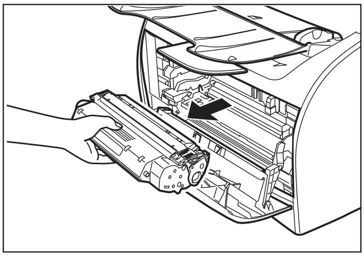
注意 本体内部とカートリッジは、高圧や高温になる部分があります。内部を調べる際は、やけどや感電をしないように十分に注意してください。

メモ 本体内部からつまった用紙を取り除く際は、用紙についたトナーが手や服につかないように気をつけてください。トナーがついた場合は、すぐに冷水で洗ってください。温水で洗うと、トナーが定着して汚れが落ちなくなります。

1　プリンタカバーを開けます。排紙トレイに用紙が残っているときは、取り出しておきます。

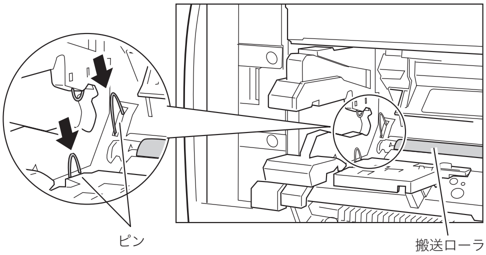


2　カートリッジを取り外します。



重要

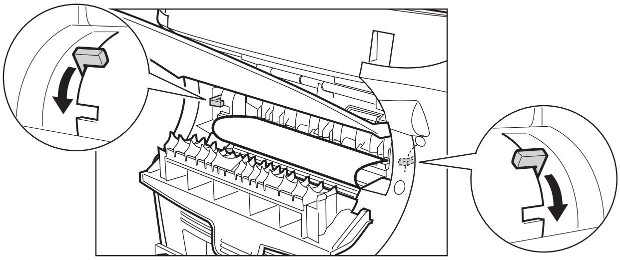
- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触すると、損傷する場合があります。
- つまった用紙を取り除くときに、搬送ローラ（網掛け部分）に触らないでください。表面が非常に傷つきやすく指の油分に弱いので、プリント品質が低下する原因になる場合があります。
- 搬送ローラの左端にあるピンに触れないでください。プリンタを損傷する恐れがあります。



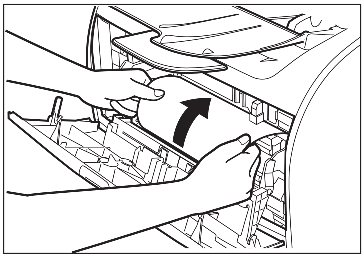
メモ

カートリッジを 5 分以上、日光や照明の下に放置しないでください。光にさらさないよう、必要に応じて購入時の保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。

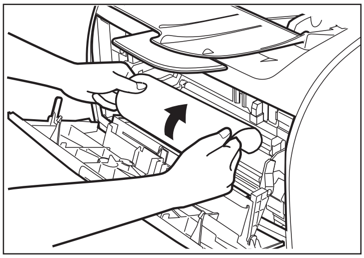
3 **フェイスアップカバーを開けて、フェイスアップ排紙エリアの両側にある緑色の用紙解除レバーを押し下げます。**



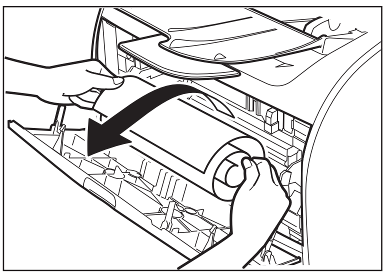
4 **つまった用紙の両端を持って、注意しながら内側に引っ張り、静かに引き出します。**



5 **プリント面が内側になるように用紙の先端を巻き込んで、巻いた用紙を静かに抜き取ります。**



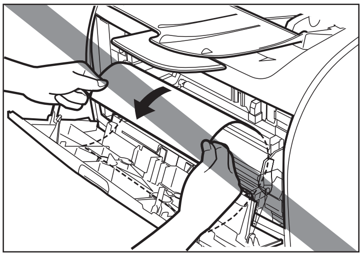
6 **用紙の先端が見えていて定着エリア（黄色のラベルが貼られている部分）に引き込まれていない場合は、用紙を手前に引っ張って内巻にします。**

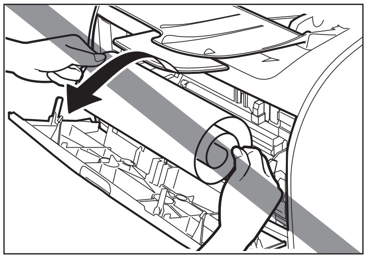


用紙の先端が定着エリアに引き込まれている場合は、フェイスアップ側の排紙ローラにある用紙を、先端が見えるまで静かに引っ張ります。

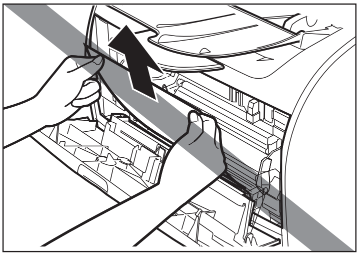
重要

- つまった用紙をカセットから手前に引っ張らないでください。故障の原因になる場合があります。

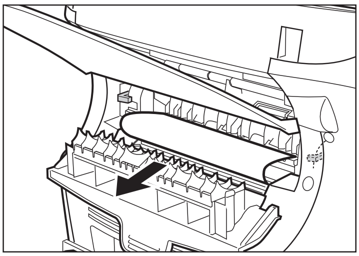




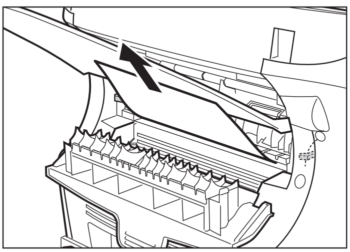
- つまった用紙を上に引っ張らないでください。用紙についたトナーがプリンタを汚損して、プリント品質が低下する原因になります。



7 排紙ローラの間にある用紙を、先端が見えるまで静かに引っ張ります。

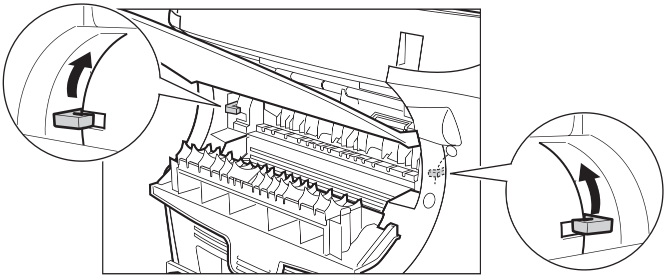


8 注意しながら、用紙をローラからまっすぐ引き抜きます。



つまった用紙がアコーディオンのように折り畳まれている場合は、用紙を伸ばしてから、引き抜いてください。

9 用紙解除レバーを元の位置に戻して、フェイスアップカバーを閉じます。



重要
- 必ず用紙解除レバーを元の位置に戻してください。レバーを下げたままでは動作しません。
- プリント中は絶対に用紙解除レバーを下げないでください。固定器具が損傷する恐れがあります。

10 カートリッジを元のように差し込んでから、プリンタカバーを閉じます。

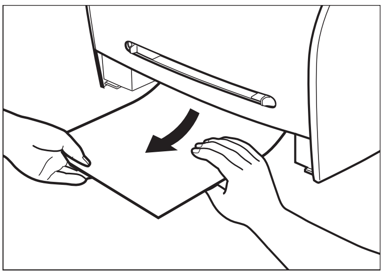
詳細は「トナーカートリッジをセット / 交換する」（→ P.1-20）を参照してください。

重要
カートリッジを元に戻してプリンタカバーを閉じると動作可能になります。動作可能な状態に戻らない場合は、用紙解除レバーが元の位置に戻っているか、つまった用紙が残っていないかを確認してください。

● 用紙カセットを使って用紙がつまった場合

1 カセットを完全に引き出します。

2 用紙の両端を持って、本体から引き抜きます。

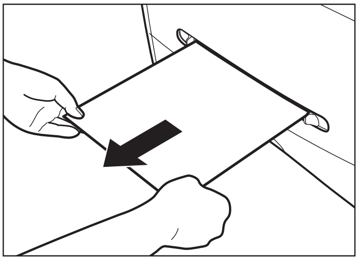


3 カセットを本体に差し込みます。

4 プリンタカバーを開閉して本体をリセットします。

● マルチフィーダを使って用紙がつまった場合

1 **用紙の両端を持って、マルチフィーダから引き抜きます。**



2 **プリンタカバーを開閉して本体をリセットします。**

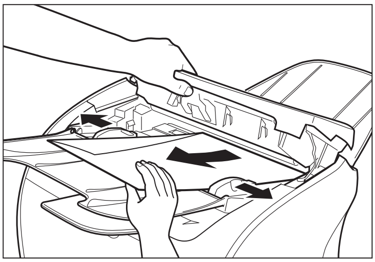
12

困ったときには

つまった用紙を ADF から取り除く

原稿が ADF につまると、ディスプレイに < ゲンコウヲ テンケン シテクダサイ > と表示されます。

1 **スライドガイドをいっぱいに開けて、スライドガイドに引っ掛からないように用紙を取り除きます。ADF を開けて、つまった用紙を静かに取り除きます。**



メモ　紙づまりを取り除いたら、ADF にセットし直す前に原稿の縁を揃えてください。

ディスプレイの表示

ジョブの実行中や、エラーが発生すると、メッセージが表示されます。

メッセージ表示	原因	処置
ウケツケ バンゴウ nnnn*	ファクスの送受信時に任意の ID 番号 (nnnn) を割り当てる。	後日の参照のため、この番号を書き留めてください。
カートリッジガ カラニ ナリマシタ	カートリッジのトナーが切れた、均一でない、またはきちんとセットされていない。	カートリッジを振ってトナーを均一にならした後、セットし直してください。または必要に応じて新品に交換してください。(→ P.1-20)
カートリッジヲ セット シテクダサイ	カートリッジが装着されていないか、正しく装着されていない。	カートリッジを正しく装着してください。(→ P.1-20)
ゲンコウガ ナガスギマス	原稿が長すぎる、または正しく給紙されていない。	原稿の長さを複数ページの場合は364mm以下、1 ページの場合は 1m 以下にしてください。
	ADF に紙がつまっている。	ADF から原稿を取り除いてください。(→ P.12-6) 原稿が長すぎたり短すぎたりしないか確認します。(→ P.5-1) プリンタカバーを開閉して本体をリセットします。
ゲンコウヲ テンケン シテクダサイ	ADF に紙がつまっている。	ADF から原稿を取り除いてください。(→ P.12-6) 原稿が長すぎたり短すぎたりしないか確認します。(→ P.5-1) プリンタカバーを開閉して本体をリセットします。
	ADF ローラが原稿を送らずに空転している。	本体にセットする前に用紙の端をさばき、原稿の縁を平らな面で揃えてください。
	読み取り中に [ストップ / リセット] を押したので、原稿が ADF で停止しています。	原稿を ADF から取り除いてください。(→ P.12-6)
ジュワキヲ オイテクダサイ	ハンドセットがハンドセット置き台にきちんと置かれていない。	ハンドセットを正しく置いてください。

* ID 番号はスタンバイモードでは表示されません。原稿の読み取り時、[システムモニタ] 操作時、手動受信モードまたはメモリでファクスを受信する場合、送信の完了後に表示されます。

メッセージ表示	原因	処置
ダイコウ ジュシン シマシタ	用紙やトナーがなくなったり、紙づまりやセットされた用紙サイズが正しくないなどの原因で、ファクスをメモリ受信した。	正しいサイズの用紙をカセットにセットする、カートリッジを交換する、または紙づまりを直す、のいずれかを行います。(→ P.6-7)
テザシノ ヨウシヲ ジョキョ	マルチフィーダに用紙がセットされている。	マルチフィーダから用紙を取り除いてください。ファクスを受信してから、用紙がマルチフィーダにセットされると、受信されたファクスはメモリに保存されます。
プリンタエラー Exxx**	本体に何らかのエラーが発生している。	電源コードをコンセントから抜いて3〜5分ぐらい待ち、もう1度電源につなぎます。これで問題が解消しない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
プリンタ データエラー	本製品とコンピュータ間のデータ通信に異常が発生している。	[システムモニタ] で、現在のプリントジョブまたは最後のプリントジョブ（複数のジョブのプリント中）を削除してください。メニューの < プリンタ リセット > を使用すると、すべてのプリントジョブが削除されます。(→ P.14-15)
プリンタヲ テンケン シテクダサイ	プリンタで異常が発生している。	プリンタカバーを開閉して本体をリセットしてください。それでも表示が消えない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
ミトウロクデス	ワンタッチダイヤルまたは入力した短縮ダイヤルに何も登録されていない。	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録してください。(→ P.4-2、P.4-7)
メモリガ イッパイデス	大きな原稿のセット時にソートコピーが設定されていたので、メモリがいっぱいになった。	原稿を分けて、別々にコピーしてください。ADFで原稿を読み取っているときに <メモリガ イッパイデス > が表示されると、読み取り中の原稿が ADF で停止します。原稿を ADF から取り除いてください。(→ P.12-6)
メモリ シヨウ リョウ nn %	使用中のメモリの割合を表示している。原稿を ADF にセットすると表示される。	メモリ内のファクスが送信されるまで待ちます。また、不要な文書がメモリ内にあれば、プリントするか、消去してください。
ヤリナオシテ クダサイ	レポートのプリント中に、カセットの用紙やトナーがなくなったり、紙づまり、用紙サイズ設定が正しくない。	カセットに用紙をセットする、カートリッジを交換する、紙づまりを直す、正しい用紙サイズを指定する、のいずれかを行ってから、レポートを再プリントしてください。

** xxx は数字

メッセージ表示	原因	処置
ヨウシガ アリマセン	カセットまたはマルチフィーダに用紙がセットされていない。	カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットしてください。(→ P.3-3 ～ 3-12) セットできる枚数以上の用紙をカセットにセットしていないかどうか確認してください。 マルチフィーダには用紙を1枚ずつ送ってください。(→ P.3-8 ～ 3-12) コピー中に用紙をセットする場合は、サイズの違う用紙をセットしないでください。
ヨウシ サイズ エラー	カセットまたはマルチフィーダの用紙のサイズが、メニューの <ヨウシ サイズ > 設定で指定された用紙サイズと違う。	正しいサイズの用紙をセットするか、メニューの<ヨウシ サイズ>設定を変更してください。(→ P.14-3) プリンタカバーを開閉して本体をリセットします。
ヨウシサイズ ヘンコウ	レポートやリストをプリントするとき、カセットに A4 またはレターサイズ以外の用紙がセットされている。	カセットに A4 またはレターサイズの用紙をセットしてください。それ以外のサイズの用紙にはプリントできません。
ヨウシガ ツマリマシタ	紙づまりしている。	紙づまりを解消して (→ P.12-1 ～ 12-6)、用紙をカセットまたはマルチフィーダにセットし直してください。プリンタカバーを開閉して本体をリセットします。
ヨミコミ チュウ ↕ メモリガ アクノヲ マッテイマス ↕ シバラクオマチクダサイ	グラフィックや写真の多い原稿の場合、読み取り中にメモリが少なくなる。	プリントが続行してメモリの空き容量が増えると、自動的に読み取りが再開します。 プリンタカバーを開閉して本体をリセットしてください。

エラーコード

エラーの詳細説明をプリントする十分なスペースがないため、エラーレポートにはエラーコードが記録されます。レポートにエラーコードが記録された場合、エラーコードをメモし、次のリストで原因と処置方法を確認して的確に対処してください。

コード番号	原因	処置
#0001	原稿がつまっている可能性があります。	つまっている原稿を取り除いてください。
#0003	長さが 1m 以上の原稿を ADF から送ろうとしました。 データ量が大きすぎるため、1 枚の原稿を送信するのに時間がかかってしまいます。 1 枚の原稿を受信するのに時間がかかってしまいます。	原稿を長さ 1m 以内に分けて、送信し直してください。 読み取り時の解像度を下げて送信してください。 通信相手に、読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分けて送信するように連絡してください。
#0005	相手が 35 秒以内に応答しませんでした。 相手のファクスがG3 ファクスではない可能性があります。	もう一度はじめからやり直してください。また、相手にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、電話番号にポーズを入れてください。 相手に確認し、G3 ファクスに送ってください。相手が G3 ファクスを持っていない場合は、先方が対応できる通信モードを使って原稿を送信し直してください。
#0009	用紙がないか記録紙カセットが正しくセットされていません。	用紙を補給するか、あるいはカセットを正しくセットし直してください。
#0011	相手機に原稿がセットされていないためポーリング受信できませんでした。	相手に原稿をセットするように連絡してください。
#0012	相手機の記録紙がなくなり、メモリもいっぱいのため送信できませんでした。	相手に用紙を補給するように連絡してください。
#0018	リダイヤルしても応答がありませんでした。相手が通話中などで 55 秒以内に応答がなかったため送信できませんでした。	しばらく待ってからもう一度やり直してみてください。それでも送信できない場合は、相手にファクス機の電源が入っているかどうか確認してもらってください。相手が通話中の場合は、時間をおいてから送信し直してみてください。
#0022	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの登録内容が削除されていました。	再度ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録してください。(→ワンタッチダイヤルを登録する：P.4-2)(→短縮ダイヤルを登録する：P.4-7)
#0037	メモリがいっぱいです。	メモリ代行受信などでメモリに記録された原稿をプリントしてください。
#0995	通信予約のクリア操作が行われました。	もう一度原稿をメモリに読み込んで、電源は切らずに送信待機状態にしておいてください。

給紙のトラブル

用紙がうまく給紙されない

原因 1　カセットまたはマルチフィーダの用紙は、適切な枚数ですか？

処置　カセットまたはマルチフィーダの用紙が、セットできる枚数をオーバーしないようにしてください。（→用紙のセット：P.3-3）

原因 2　用紙が正しくセットされていますか？

処置　カセットまたはマルチフィーダ内の用紙が正しくセットされているか、スライドガイドが正しく調節されているかどうか確認してください。（→用紙のセット：P.3-3）

原因 3　カセットが正しく差し込まれていますか？

処置　カセットは奥までしっかり差し込んでください。カセットが傾いていたり、斜めに差し込まれたりしていないか確認してください。

斜めに用紙が送られる（プリントが曲がっている）

原因　用紙が正しくセットされていますか？

処置 1　カセットまたはマルチフィーダ内の用紙が正しくセットされているか、スライドガイドが正しく調節されているかどうか確認してください。（→用紙のセット：P.3-3）

処置 2　排紙口がふさがれていないか確認してください。

用紙が重なって送られる

原因 1　用紙が正しくセットされていますか？

処置　カセットまたはマルチフィーダ内の用紙が正しくセットされているか、スライドガイドが正しく調節されているかどうか確認してください。（→用紙のセット：P.3-3）

原因 2　カセットにセットする前に、用紙をさばきましたか？

処置　用紙をさばいてから、カセットにセットしてください。さばくことにより用紙が重なるのを防ぎます。

原因 3　カセットまたはマルチフィーダにセットされている用紙は、適切な枚数ですか？

処置 1　カセットまたはマルチフィーダ内の用紙が、セットできる枚数をオーバーしないようにしてください。（→用紙のセット：P.3-3）

処置 2　用紙をカセットまたはマルチフィーダに無理に詰めないでください。

処置 3　マルチフィーダには、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

原因 4　カセットまたはマルチフィーダにセットされた用紙は、1 種類だけですか？

処置 1　1 種類の用紙だけをセットしてください。

処置 2　本製品に適した用紙をセットしているかどうか確認してください。（→第 3 章「用紙の取り扱い」）

OHP フィルムがうまく送られない

原因 1　OHP フィルムが正しくセットされていますか？

処置　カセットまたはマルチフィーダ内の OHP フィルムが正しくセットされているか、スライドガイドが正しく調節されているかどうか確認してください。（→用紙のセット：P.3-3）

原因 2　適切な OHP フィルムがマルチフィーダにセットされていますか？

処置　カラーコピー機用の OHP フィルムは使わないでください。紙づまりの原因になります。キヤノン推奨の OHP フィルムをお使いください。

用紙がカールして送られる

原因　適切な用紙がセットされていますか？

処置　適切な用紙がカセットまたはマルチフィーダにセットされているかどうか確認してください。（→第 3 章「用紙の取り扱い」）

用紙がバラバラに排紙される

原因　適切な用紙がセットされていますか？

処置 1　適切な用紙がカセットまたはマルチフィーダにセットされているかどうか確認してください。（→第 3 章「用紙の取り扱い」）

処置 2　メニューの < ヨウシ セッテイ > の <カミシュ> で適切な用紙の種類が選択されているかどうか確認してください。（→用紙のセット：P.3-3）
使用できる用紙の種類の詳細は、P.3-2 を参照してください。

紙づまりが何度も起こる

原因 1　適切な用紙がセットされていますか？

処置　お使いの用紙のサイズ、厚さ、種類を確認してください。（→使用可能な用紙について：P.3-1）

原因 2　適切な用紙が正しくセットされていますか？

処置　用紙をさばいてから、カセットにセットしてください。さばくことにより用紙が重なるのを防ぎます。

原因 3　排紙トレイがふさがれていませんか？

処置 1　排出された用紙を、排紙トレイに戻さないでください。（→フェイスダウン排紙エリア：P.3-15）

処置 2　用紙以外の物を排紙トレイに置かないでください。（→フェイスダウン排紙エリア：P.3-15）

原因 4　適切な場所に設置されていますか？

処置　本製品が適切な場所に設置されているかどうか確認してください。（本製品の仕様については、第 15 章 「付録」を参照してください。安全上の警告や注意については、「設置場所について」（→ P.1-4）を参照してください。）

封筒がうまく送られない

原因 1　封筒が正しくセットされていますか？

処置　封筒が正しくセットされているかどうか確認してください。（→封筒をカセットにセットする：P.3-6 または封筒をマルチフィーダにセットする：P.3-10）カセットには 20 枚以上の封筒をセットしないでください。マルチフィーダには 1 枚ずつ封筒をセットしてください。

原因 2　適切な封筒がセットされていますか？

処置　推奨封筒（洋形 4 号、洋形 2 号）をカセットまたはマルチフィーダにセットしてください。（→封筒をカセットにセットする：P.3-6 または封筒をマルチフィーダにセットする：P.3-10）

ファクスのトラブル

送信時のトラブル

ファクスが送れない

原因 1　本体が過熱していませんか？

処置　電源コードをコンセントから抜いて 3 〜 5 分ぐらい熱が冷めるのを待ちます。その後もう 1 度電源につないで、送信してみてください。

原因 2　電源コードを接続したばかりですか？

処置　本製品が動作可能な状態になるまで少しお待ちください。

原因 3　電話の回線種別（ダイヤル / プッシュ）が正しく設定されていますか？

処置　正しい電話回線種別（ダイヤル / プッシュ）に設定されているかどうか確認してください。（→電話回線の種類を設定する：P.2-5）

原因 4　原稿がセットされていますか？

処置　原稿を取り出して、端を揃えてから ADF に正しくセットしてください。

原因 5　ワンタッチダイヤルまたは入力した短縮ダイヤルに登録した内容は正しいですか？

処置　ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをチェックして、正しく登録されているかどうか確認してください。（→第 4 章「ダイヤル登録機能」）

原因 6　正しい番号にダイヤルしましたか？

処置　番号が正しいかどうか確認して再度ダイヤルしてください。

原因 7　相手のファクスは用紙がありますか？

処置　ファクスに用紙がセットされていることを相手に確認してください。

原因 8　送信中にエラーが起きましたか？

処置　通信管理レポートをプリントして、エラーの有無を確認してください。（→通信管理レポートをプリントする：P.11-1）

原因9　電話回線は通じていますか？

処置　本製品に接続された電話のハンドセットを取ったときに、発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない場合は、お近くの電話会社にご連絡ください。

原因10　受信側のファクスはG3ファクスですか？

処置　受信側のファクスが本製品と互換性があるか（G3 ファクスであるかどうか）を確認してください。

原因11　エラー送信レポートに「話し中でした」と表示されていませんか？

処置１　相手のファクス番号 / 電話番号が話し中です。後で再度送信してください。

処置２　相手のファクスが動作していません。相手に確認してください。

原因12　受信側のファクスは55秒以内に応答しましたか？（自動リダイヤル後に）

処置　相手に確認してください。海外にファクスを送る場合は、番号を入力した後ポーズを押してみてください。（→長距離電話をかける：P.8-1）

原因13　通信中/メモリランプが点灯していませんか？

処置　通信中 / メモリランプが点灯している場合は、内線が使用中です。内線が空くまでお待ちください。

相手に送ったファクスにシミや汚れがある

原因１　本製品（送信側のファクス）は適切に動作していますか？

処置　コピーをして、本製品をチェックします。詳細は第９章 「コピーするには」を参照してください。コピーがきれいな場合は、受信側のファクスに問題がある可能性があります。コピーにシミや汚れがある場合は、本製品の読み取りエリアを清掃してください。詳細は第 13 章 「日常のメンテナンス」を参照してください。

原因２　原稿がセットされていますか？

処置　原稿を取り出して、端を揃えてから、ADF に正しくセットしてください。(→ ADF に原稿をセットする：P.5-3)

ECM (Error Correction Mode) で送信できない

原因　受信側のファクスは ECM に対応していますか？

処置　受信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラーチェックをしない通常モードで原稿が送信されます。

送信中にエラーが頻繁に起きる

原因　電話回線は適切な状態ですか？接続状態は良好ですか？

処置　通信速度を落としてください。（→ 3. ソウシン スタート スピード：P.14-7）

受信時のトラブル

ファクスを自動受信できない

原因 1　自動受信するように設定されていますか？

処置　ファクスを自動受信するには、受信モードを <ジドウ> モードまたは <ルスTEL> モードに設定する必要があります。（→第 6 章「受信するには」）<ルスTEL> モードに設定した場合は、留守番電話が本製品に接続されていること、発信メッセージが適切に録音されていてスイッチが入っていることを確認してください。
メニューの <ファクス キノウ セッテイ> の <4. ジュシン キノウ セッテイ> の <4. ジドウ ジュシン キリカエ> が <スル> に設定されていると、受信モードが <シュドウ> に設定されていても、ファクスが自動受信されます。（→ 4. ジドウ ジュシン キリカエ：P.14-11）

原因 2　メモリがいっぱいではありませんか？

処置　メモリに保存されているファクスやプリントジョブが終了するまで待つか、それらをメモリから消去（→ P.10-2）した後、相手にファクスを再送するように依頼してください。

原因 3　受信中にエラーは起きませんでしたか？

処置　通信管理レポートをプリントして、エラーの有無を確認してください。（→通信管理レポートをプリントする：P.11-1）受信結果レポートが自動プリントされる場合は、それをチェックすることもできます。（→受信結果レポート：P.11-5）

原因 4　電話回線は正しく接続されていますか？

処置　すべての回線が正しく接続されていることを確認してください。（→スタートアップガイド「電話線を接続する」）

電話とファクス受信が自動的に切り替わらない

原因 1　電話とファクス受信が自動的に切り替わるように設定されていますか？

処置　自動で切り替えるには、受信モードを < ジドウ >、<FAX/TEL> または < ルスTEL> モードに設定する必要があります。（→第 6 章「受信するには」）
留守番電話が本製品に接続されていること、応答メッセージが適切に録音されていてスイッチが入っていることを確認してください。

原因 2　本製品に接続されている電話機を使用して受信していますか？

処置　オプションのハンドセットまたは外付け電話機を本体に接続して受信してください。

原因 3　送信側のファクスは、着信信号がファクスだと知らせる信号（CNG 信号）を送ることができますか？

処置　一部のファクスは、着信がファクスだと知らせる信号（CNG 信号）を送ることができません。その場合は、ファクスを手動受信してください。（→手動で受信する（手動受信〈シュドウ〉）：P.6-5）

原稿を手動受信できない

原因 1　手動受信するように設定されていますか？

処置　ファクスを手動受信するには、受信モードを < シュドウ > に設定する必要があります。（→第 6 章「受信するには」）

原因 2　ハンドセットを置いた後で [スタート] を押しましたか？

処置　ハンドセットを置く前に [スタート] を押してください。通話が切れてしまいます。

印字品質が悪い

原因 1　正しい種類の用紙を使っていますか？

処置　本製品に適した用紙をセットしているかどうか確認してください。詳細は第 9 章「コピーするには」を参照してください。

原因 2　送信側のファクスは正しく動作していますか？

処置　通常ファクスの品質を左右するのは、送信側のファクスです。ファクスの原稿読み取りガラスが汚れていないかどうか相手に確認してください。

ファクスがプリントされない

原因 1　トナーカートリッジは正しく装着されていますか？

処置　トナーカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。詳細は「トナーカートリッジをセット / 交換する」（→ P.1-20）を参照してください。

原因 2　カートリッジにトナーが残っていますか？

処置　新しいカートリッジに交換してください。詳細は「トナーカートリッジをセット / 交換する」（→ P.1-20）を参照してください。

原因 3　カセットに正しい用紙がセットされていますか？

処置 1　用紙がカセットにセットされているかどうか確認してください。詳細は第 3 章 「用紙の取り扱い」を参照してください。

処置 2　正しいサイズの用紙をセットするか、メニューの < ヨウシ セッテイ > で < ヨウシ サイズ > を変更してください。詳細は第 3 章 「用紙の取り扱い」または第 9 章 「コピーするには」を参照してください。

受信したファクスにシミやムラがある

原因 1　電話回線は適切な状態ですか？接続状態は良好ですか？

処置　送受信を ECM (Error Correction Mode) で行えば、このようなトラブルは解消されます。ただし、電話回線の状態が悪い場合は、再度受信する必要があります。相手に連絡して、再受信してください。

原因 2　送信側のファクスは適切に動作していますか？

処置　通常ファクスの品質を左右するのは、送信側のファクスです。ファクスの原稿読み取りガラスが汚れていないかどうか相手に確認してください。

ECM で受信できない

原因　送信側のファクスは ECM に対応していますか？

処置　送信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラーチェックをしない通常モードで原稿が受信されます。

受信中にエラーが頻繁に起きる

原因　送信側のファクスは適切に動作していますか？

処置　ファクスが適切に動作しているかどうか相手に確認してください。

電話のトラブル

電話がかけられない

原因 1　電話回線は正しく接続されていますか？

処置　すべての回線が正しく接続されていることを確認してください。(→スタートアップガイド「電話線を接続する」)

原因 2　電話の回線種別（ダイヤル / プッシュ）が正しく設定されていますか？

処置　正しい電話回線種別（ダイヤル / プッシュ）に設定されているかどうか確認してください。（→電話回線の種類を設定する：P.2-5）

通話中に電話が切れてしまう

原因　電話線は正しく接続されていますか？

処置　電話線コードが、本製品の接続端子、電話回線コンセント、電話機の差し込み口に正しく接続されているかどうか確認してください。（→スタートアップガイド「電話線を接続する」）

コピーのトラブル

コピーできない

原因 1　カートリッジが正しく装着されていますか？

処置　カートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。(→トナーカートリッジをセット / 交換する：P.1-20)

原因 2　カートリッジにシーリングテープが残っていませんか？

処置　カートリッジからシーリングテープをはがしてください。(→トナーカートリッジをセット / 交換する：P.1-20)

原因 3　カセットは本体に正しく差し込まれていますか？

処置　カセットは奥までしっかり差し込んでください。(→用紙をカセットにセットする：P.3-3)

原因 4　電源コードを接続したばかりですか？

処置　少しお待ちください。電源コードの接続直後は原稿を読み取れません。

原因 5　原稿が正しくセットされていますか？

処置 1　原稿を取り出して、端を揃えてから ADF に正しくセットしてください。(→ ADF に原稿をセットする：P.5-3)

処置 2　ADF が閉じているかどうか確認してください。

ADF で用紙を送ると、原稿に黒いスジや汚れがつく

原因　ADF の原稿読み取りガラスやローラが汚れていませんか？

処置　ADF の原稿読み取りガラスやローラを清掃してください。(→ ADF エリアのお手入れ：P.13-1)

メモ　このほか「プリント品質のトラブル」(→ P.12-21) も参照してください。

プリント品質のトラブル

プリント品質がよくない。プリントが不鮮明、ドットが欠けている、白いスジが入る。

原因 1　お使いの用紙のサイズ、厚さ、種類は、本製品の仕様の範囲内ですか？

処置　お使いの用紙が本製品の仕様に対応しているかどうか確認してください。（→使用可能な用紙について：P.3-1）

原因 2　カートリッジは正しく装着されていますか？

処置　カートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。（→トナーカートリッジをセット / 交換する：P.1-20）

原因 3　カートリッジに十分なトナーは残っていますか？

処置　必要に応じてカートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジをセット / 交換する：P.1-20）

原因 4　濃度は正しく調節されていますか？

処置　[濃度] で正しく調節してください。（→濃度を調節する：P.9-8 ）

コピーが汚い

原因 1　ADF の読み取りガラスや操作部の裏側は汚れていませんか？

処置　ADF の読み取りガラスや操作部の裏側を清掃してください。（→ ADF エリアのお手入れ：P.13-1）

原因 2　トナーカートリッジが損傷していませんか？

処置　トナーカートリッジに傷がある場合は、新しいカートリッジと交換してください。（→トナーカートリッジをセット / 交換する：P.1-20）

原因 3　周囲の温度が急激に変化していませんか？内部で結露が発生していることがあります。

処置　本製品を使用する前に、2 時間以上かけて室温に合わせてください。

原因 4　安定した場所に設置されていますか？

処置　本製品を適切な場所に設置してください。（→設置場所について：P.1-4）

コピーが濃すぎる、薄すぎる

原因 1　濃度が正しく調節されていませんか？

処置　[濃度] で正しく調節してください。（→濃度を調節する：P.9-8 ）

原因 2　トナーセーブモードになっていませんか？

処置　メニューの < キョウツウ キノウ セッテイ > で < トナーセーブ モード > を < シナイ > に設定してください。（→ 5. トナーセーブモード：P.14-5）

厚手の用紙にコピーすると、部分的に欠けたり、ぼやけた状態でプリントされる

原因　用紙の種類が正しく設定されていますか？

処置　メニューの < ヨウシ セッテイ > の < カミシュ > で < アツガミ > または < アツガミ H> を選択してください。（→用紙のセット：P.3-3）

目の粗い用紙にコピーすると、文字や画像が欠けてプリントされる

原因　用紙の種類が正しく設定されていますか？

処置　メニューの < ヨウシ セッテイ > の < カミシュ> で <OHP フィルム > などの適切な紙種を選択してください。（→用紙のセット：P.3-3）

コピーすると、用紙の縁が汚い

原因　用紙サイズが正しく設定されていますか？

処置　メニューの < ヨウシ セッテイ > の < ヨウシ サイズ > に適切な用紙サイズを指定してください。（→用紙のセット：P.3-3）

プリントのトラブル

エラーランプが点灯する

原因　用紙はうまく送られますか？カセットまたはマルチフィーダ内に用紙はありますか？

処置１　紙づまりを直すか、カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットします。（紙づまりの直しかたは「用紙がつまったときには」（→ P.12-1）、用紙のセットのしかたは「用紙のセット」（→ P.3-3）を参照してください。）

処置２　紙づまりでない場合、カセットまたはマルチフィーダ内に用紙がセットされている場合は、電源コードをコンセントから抜いて３〜５分ぐらい待ってから、もう１度電源につなぎます。問題が解消されていれば、エラーランプが消えてディスプレイはスタンバイモードに戻ります。エラーランプが消えない場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

プリントアウトが用紙サイズに合わない

原因　用紙がカセットに正しく揃えてセットされていますか？用紙がマルチフィーダに正しくセットされていますか？

処置　用紙が正しく揃えてカセットにセットされているか、マルチフィーダに正しくセットされているかどうか確認してください。（→用紙のセット：P.3-3）

トラブルが解決しない場合

本製品にトラブルが発生し、この章の説明でも解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

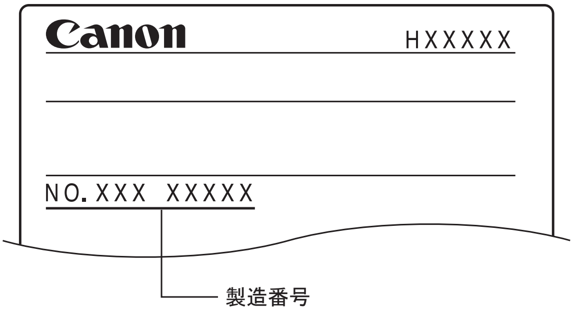
注意　本製品から変な音がしたり、煙が出たり変な臭いがする場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

メモ　ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡する前に、次の情報をご確認ください。

・本製品の名称 : Canofax L380S

・本製品の製造番号（本体裏面ラベルに記載されています。）



・ご購入店

・トラブルの詳細な説明

・トラブルを解決するために取った措置とその結果

日常のメンテナンス

13
CHAPTER

用紙の補給方法やトナーカートリッジの交換方法、日常のお手入れについて説明します。

日常のお手入れ

最良のプリント品質を保つために、定期的に清掃してください。清掃する前に、メモリの受信データはすべて出力してください。

本体のお手入れ

1. **電源コードを電源コンセントから抜きます。**
2. **水または少量の中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れを拭き取ります。**

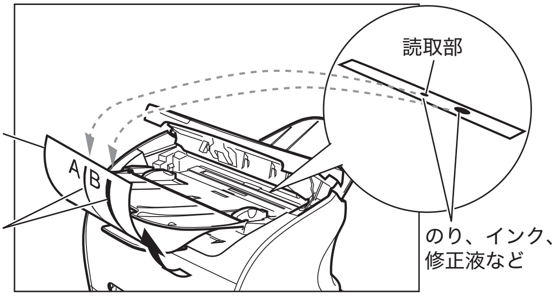
⚠注意 アルコールやシンナー、ベンジン、アセトンなどの溶剤は、本体表面のプラスチック部を変質させることがあります。絶対にお使いにならないでください。

ADF エリアのお手入れ

ADF を使って原稿を給紙すると、出力紙に黒いスジが出る場合があります。

これは、ADF の読取部に付着したのり、インク、修正液などの異物が原因です。柔らかく清潔な布で、読取部をふいてください。特に出力紙に黒いスジが出る箇所は、丁寧に清掃してください。

読み取りガラスの汚れが落ちにくい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布でふいてから、別の乾いた布でふいてください。

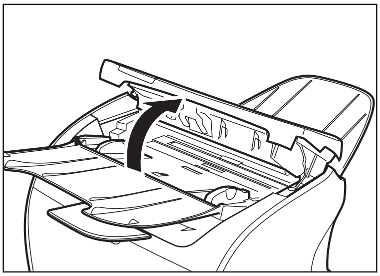


重要　原稿に付着したのり、インク、修正液が乾いていないうちにADFで原稿を送ると、のり、インク、修正液などの異物が原稿読み取りガラスを汚損することがあります。これがコピーに黒いスジが出る原因です。原稿をADFにセットするときは、原稿に付着したのり、インク、修正液が完全に乾いていることを確かめてください。

メモ　電源コードを抜いたまま1時間以上放置すると、メモリに蓄積されている原稿データが消えてしまいます。清掃後は忘れずに電源コードを接続してください。

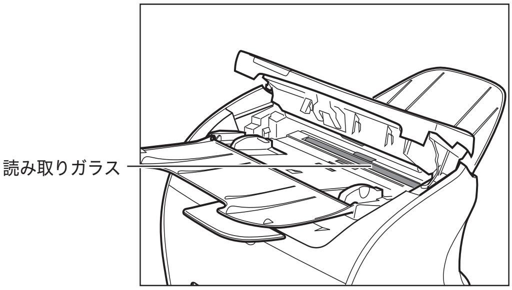
1 電源コードを電源コンセントから抜きます。

2 操作パネルを静かに引き上げます。



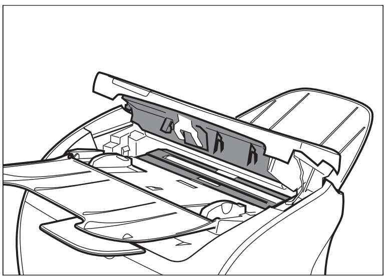
3 乾いた柔らかく清潔な布で、読み取りガラスとローラ（網掛け部分）を清掃します。

・読み取りガラスやローラが汚れていると、送信原稿やコピーが汚れてプリントされてしまいます。
・読み取りガラスやローラを、傷をつけないように柔らかい布で清掃します。
・乾いた柔らかい布でローラ付近の紙くずや繊維などを拭きとります。



4 網掛け部分の操作パネルと本体を清掃します。

操作パネルの裏にたまったチリやほこりも、コピーや送信原稿の品質に影響します。



メモ　操作パネルはカチッと音がするまで閉じてください。

5 電源コードをコンセントに差し込みます。

13
日常のメンテナンス

本製品の移送

移送する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。移送中に揺れる可能性がある場合（例：長距離の移送）は、以下の措置を取ってください。以下の注意事項を守らないと本製品が損傷したり、プリントの品質が劣化する恐れがあります。

1 **電源コードをコンセントから抜きます。**

2 **電話やコンピュータに接続されている場合は、電話線やUSBケーブルを外します。**

3 **プリンタカバーを開けます。**

4 **カートリッジの端をつかんで、本体から取り外します。直射日光に当てないように、カートリッジを購入時に入っていた保護袋にしまいます。**

5 **プリンタカバーを閉じます。**

6 **カセットを完全に抜き出し、延長カバーを本体から外します。**

7 **カセットから延長カセットを外します。**

8 **カセットを本体に差し込みます。**

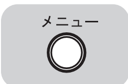
9 **排紙トレイと原稿排紙トレイを外します。**

14
CHAPTER

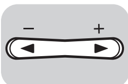
各種機能の登録 / 設定

登録 / 設定メニューで使用できる各種設定内容について説明します。
メニュー内にはあらかじめさまざまな機能が登録 / 設定されています。登録 / 設定されている内容をまとめてユーザデータと呼びます。ユーザデータはお好みに合わせて変更することができます。

登録 / 設定メニューを使う



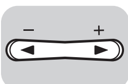
1 **[メニュー] を押します。**





2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して変更するメニューを選択し、[OK] を押します。**

```
トウロク/セッテイ
  3.コピー シヨウ セッテイ
```
→
```
コピー シヨウ セッテイ
  1.ヒョウシ゛ュン カ゛シツ
```



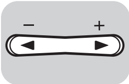


3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して変更する項目を選択し、[OK] を押します。**

```
コピー シヨウ セッテイ
  2.ヒョウシ゛ュン ノウト゛
```
→
```
ヒョウシ゛ュン ノウト゛
                マニュアル
```

メモ

- 各メニュー項目については、「メニューの設定内容」（→ P.14-3）を参照してください。



- [◀ (-)] や [▶ (+)] で項目や値を選択した後、[OK] を押して設定を確定（登録）してください。

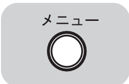




- [OK] を押す前に [ストップ / リセット] ボタンを押すと、選択した項目は登録されません。



- 設定 / 登録を終了するには、[ストップ / リセット] を押します。



- [メニュー] を押すと、前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

1. 用紙設定

設定項目	設定内容
1. カセット	
1. ヨウシ サイズ	カセットにセットする用紙のサイズを選択します。 セットできる用紙サイズは、**A4**、B5、A5、LTR、EXEC、ハガキ、オウフクハガキ、フウトウ（ヨウガタ 4 ゴウ、ヨウガタ 2 ゴウから指定可能）です。
2. カミシュ *	カセットで使用する用紙の種類を選択します。 セットできる用紙の種類は、**フツウシ**、OHP フィルム、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H です。
2. テザシトレイ	
1. ヨウシ サイズ	マルチフィーダにセットする用紙のサイズを選択します。 セットできる用紙サイズは、**A4**、B5、A5、LTR、LGL、EXEC、ハガキ、オウフクハガキ、フウトウ（ヨウガタ 4 ゴウ、ヨウガタ 2 ゴウから指定可能）、フリー（縦と横をミリ単位で指定可能）です。
2. カミシュ *	マルチフィーダで使用する用紙の種類を選択します。 セットできる用紙の種類は、**フツウシ**、OHP フィルム、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H です。

（**太字**は工場出荷時の設定）

* 使用できる用紙の種類の詳細は、P.3-2 を参照してください。

2. 共通機能設定

設定項目	設定内容
1. ショキ モード	電源コードの接続時やオートクリアされたときに、ディスプレイに表示されるモードを選択します。
コピー	コピーモードが選択されます。
ファクス	ファクスモードが選択されます。
2. オートクリアゴノモード キリカエ	オートクリア後に<ショキ モード>に設定したモードに切り替わるかどうか選択します。
ショキモードニ モドス	オートクリア後に<ショキ モード>に設定したモードに自動的に切り替わります。
ショキモードニ モドサナイ	オートクリア後も<ショキ モード>に設定したモードに自動的に切り替わりません。
3. オンリョウ チョウセイ	音量を調整します。
1. キー タッチ オンリョウ	操作パネル上のキーを押したときの音量を調整します。
ナラス	1～3（**1**）
ナラサナイ	音を消します。
2. アラーム オンリョウ	アラームの音量を調整します。
ナラス	1～3（**1**）
ナラサナイ	音を消します。
3. ソウシン シュウリョウ オンリョウ	ファクス送信終了時の音量を調整します。
ナラス	1～3（**1**）
エラージ ノミ ナラス	1～3（**1**）
ナラサナイ	音を消します。

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
4. ジュシン シュウリョウ オンリョウ	ファクス受信終了時の音量を調整します。
ナラス	1 ～ 3（**1**）
エラージ ノミ ナラス	1 ～ 3（**1**）
ナラサナイ	音を消します。
5. プリント シュウリョウ オンリョウ	プリント終了時の音量を調整します。
ナラス	1 ～ 3（**1**）
エラージ ノミ ナラス	1 ～ 3（**1**）
ナラサナイ	音を消します。
6. ヨミトリ シュウリョウ オンリョウ	読み取り終了時の音量を調整します。
ナラス	1 ～ 3（**1**）
エラージ ノミ ナラス	1 ～ 3（**1**）
ナラサナイ	音を消します。
7. ツウシン オンリョウ	回線モニタの音量を調整します。
ナラス	1 ～ 3 (**2**)
ナラサナイ	音を消します。
4. ノウドセッテイ	プリント濃度を 5 段階で調節します。(**3**)
5. トナーセーブモード	トナーセーブモードを設定します。
スル	トナーセーブモードをオンにします。
シナイ	トナーセーブモードをオフにします。

（**太字**は工場出荷時の設定）

3. コピー仕様設定

設定項目	設定内容
1. ヒョウジュン ガシツ	原稿の種類を選択します。 **モジ ゲンコウ**：文字モード モジ / シャシン *1：文字 / 写真モード シャシン *1：写真モード
2. ヒョウジュン ノウド	自動または手動の濃度設定モードを選択します。
ジドウ *2	濃度が自動調節されます。
マニュアル	濃度を手動で調節します。 濃度は 9 段階で調節できます。（**5**）
3. ヒョウジュン バイリツ	50 ～ 200% の範囲で拡大 / 縮小率を選択します。（**100%**）
4. ヒョウジュン ブスウ	コピー枚数を選択します。 01 ～ 99 (**01**)
5. ジドウ ソート	自動ソートを設定します。
スル	自動ソート機能をオンにします。
シナイ	自動ソート機能をオフにします。
6. サイズ ケイレツ	用紙サイズグループを選択します。用紙サイズグループが変わると、プリセットされた拡大縮小率が変更されます。
インチ	定形変倍：50%、64%、78%、100%、129%、200%
A	定形変倍：50%、70%、100%、141%、200%
AB	定形変倍：50%、70%、81%、86%、100%、115%、141%、200%
7. シャープネス	白黒原稿はシャープネスをかけられます。文字や線を鮮明にしたい場合は、大きな数値を選択します。写真をコピーする場合は、小さな数値を選択します。 1 ～ 9 (**5**)

（**太字**は工場出荷時の設定）

*1 <モジ/ シャシン>や<シャシン>が選択されると、<ヒョウジュン ノウド>が自動的に<マニュアル>に変更されます。
*2 < ジドウ > の選択時は、< ヒョウジュンガシツ > が < モジ ゲンコウ > に自動的に変更されます。

4. ファクス機能設定

設定項目	設定内容
1. キホン セッテイ	ファクスモードの基本操作を設定します。
1. デンワ カイセン セッテイ	電話回線の設定をします。
1. ユーザ TEL	発信元の電話番号とファクス番号を 20 桁以内（スペースを含む）で登録できます。
2. カイセン シュルイ センタク	電話回線の種類を選択します。
ダイヤル カイセン	電話回線をダイヤル回線に設定します。
ダイヤル スピード センタク	ダイヤル速度を設定します。 **20PPS**/10PPS
プッシュ カイセン	電話回線をプッシュ回線に設定します。
3. ソウシン スタート スピード	すべてのファクス送信の通信速度を設定します。 **33600bps**/14400bps/9600bps/7200bps/4800bps/2400bps
4. ジュシン スタート スピード	すべてのファクス受信の受信速度を設定します。 **33600bps**/14400bps/9600bps/7200bps/4800bps/2400bps
2.ユーザ リャクショウ トウロク	発信元の名前または会社名を 24 文字以内（スペースを含む）で登録できます。
3. ハッシンモト キロク	送信する各ページに発信元の ID（発信元記録）をプリントします。
ツケル	発信元記録を有効にすると、以下の項目を設定できます。
1. ハッシンモト キロク イチ	**ガゾウノ ソトニ ツケル**：発信元記録が原稿の外側にプリントされます。 ガゾウノ ナカニ ツケル：発信元記録が原稿の内側にプリントされます。
2. デンワバンゴウ マーク	識別ヘッダ番号の前につける文字を選択します。 **FAX**、TEL
ツケナイ	発信元記録は送信するページにプリントされません。

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
4. ヨミトリ ノウド セット	読み取り濃度を調節します。
1. ウスク	濃い原稿に設定します。(**3**)
2. フツウ	通常の原稿に設定します。(**5**)
3. コク	薄い原稿に設定します。(**7**)
5. オフフックアラーム	ハンドセットが置き台にない場合に知らせるオフフックアラームを設定します。
スル	受信後にハンドセットが外れていると、オフフックアラームが鳴ります。
シナイ	オフフックアラームを鳴らしません。
2. レポート セッテイ	レポート設定を行います。
1. ソウシンケッカ レポート	送信レポートの自動出力を設定します。
プリント シナイ	レポートを出力しません。
エラージ ノミ プリント	送信エラーが起きたときだけレポートを出力します。
ソウシン ガゾウ	レポートにファクスの 1 ページ目を出力するかどうか選択します。
ツケル	ファクスの 1 ページ目を出力します。
ツケナイ	ファクスの 1 ページ目を出力しません。

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
プリント スル	原稿送信時に毎回レポートを出力します。
ソウシン ガゾウ	レポートにファクスの 1 ページ目を出力するかどうか選択します。
ツケル	ファクスの 1 ページ目を出力します。
ツケナイ	ファクスの 1 ページ目を出力しません。
2. ジュシンケッカ レポート	受信レポートの自動出力を設定します。
プリント シナイ	レポートを出力しません。
エラージ ノミ プリント	受信エラーが起きたときだけレポートを出力します。
プリント スル	原稿受信時に毎回レポートを出力します。
3. ツウシンカンリ レポート	20 件ごとに通信管理レポートを自動出力するかどうかを設定します。
スル	通信管理レポートを出力します。
シナイ	通信管理レポートを出力しません。
3. ソウシン キノウ セッテイ	送信機能を設定します。
1. ECM ソウシン	ECM（Error Correction Mode：自動誤り訂正モード）による送信を設定します。
スル	相手のファクスがECM対応の場合、すべての送信をECMで行います。
シナイ	ECM 送信しません。
2. ポーズ ジカン セット	ダイヤル時に間に入れるポーズの長さを設定します。 01 ～ 15 ビョウ（**02 ビョウ**）

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
3. ジドウ リダイヤル	相手の電話回線が話し中の場合や応答がないとき、自動リダイヤルを実行するかどうかを設定します。
スル	リダイヤル動作をカスタマイズします。
1. リダイヤル カイスウ	リダイヤルする回数を設定します。 01 ～ 15 カイ（**02 カイ**）
2. リダイヤル カンカク	リダイヤルの間隔を設定します。 02 ～ 99 フン（**02 フン**）
シナイ	リダイヤルしません。
4. ダイヤルタイムアウト	スピードダイヤルでファクス番号を入力した後の原稿の自動読み取りを設定します。
スル	1 件の宛先を入力後は 5 秒、複数の宛先入力後は 10 秒後に読み取りが自動的に開始します。
シナイ	[スタート] を押して原稿を読み取ります。押さないと、オートクリア機能がはたらいて、2 分後にディスプレイの表示がスタンバイモードに戻ります。
5. ダイヤルジ カイセンカクニン	使用する電話回線の状況を確認してからファクス送信を開始するかどうか選択します。「**スル**」に設定した場合、回線状況に応じて電話番号のダイヤル操作を行うため、相手機と正常に通信することができます。 通常は「**スル**」に設定してください。
スル	送信時に回線状況を確認してからダイヤル操作を開始します。
シナイ	送信時に回線状態を確認しません。お使いの電話回線が NTT 以外（内線同士の通信等）の場合には、「シナイ」に設定してください。この場合「**スル**」に設定すると、送信エラーの原因になることがあります。
4. ジュシン キノウ セッテイ	受信機能を設定します。
1. ECM ジュシン	ECM による受信を設定します。
スル	相手のファクスがECM対応の場合、すべての受信をECMで行います。
シナイ	ECM 受信しません。
2. F/T ショウサイ セッテイ	FAX/TEL をセットすると、以下のオプション項目を設定できます。
1. ヨビダシ カイシ ジカン	ファクス信号を着信してから呼び出し音を鳴らすまでの時間を設定します。 00 ～ 30 ビョウ（**08 ビョウ**）

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
2. ヨビダシ ジカン	着信呼び出し音を鳴らす時間を設定します。 015 ～ 300 ビョウ（**017 ビョウ**）
3. ヨビダシゴノ ドウサ	ヨビダシ ジカンが経過した後の動作を選択します。
ジュシン	ファクス受信モードに自動的に切り替え、ファクス受信を開始します。
シュウリョウ	通信を切断します。
3. チャクシン ヨビダシ	受信モードをジドウにセットした場合、着信時に呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。
シナイ	ファクス受信時に呼び出し音を鳴らしません。（節電モードでは 1 ～ 2 回鳴ることがあります。）
スル	電話機が接続されている場合は、ファクス受信時に呼び出し音を鳴らします。
ヨビダシ カイスウ	本製品が応答するまでに呼び出し音を鳴らす回数を設定します。 01 ～ 99 カイ（**02 カイ**）
4. ジドウ ジュシン キリカエ	手動受信モードの場合、指定された時間呼び出し音が鳴った後で、原稿受信モードに切り替えるかどうかを設定します。
シナイ	接続された電話で手動で応答するまで、呼び出し音が鳴り続けます。
スル	指定時間呼び出し音が鳴ってから、原稿受信モードに切り替わります。
ヨビダシ ジカン	原稿受信に切り替わるまでの時間を設定します。 01 ～ 99 ビョウ（**15 ビョウ**）

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
5. リモート ジュシン	リモート受信を設定します。
スル	リモート受信します。
リモート ジュシン ID	外付けの電話で受信番号を押して、ファクスの受信を開始できます。 [0] ～ [9]、[＊]、[＃] から 2 文字を組み合わせます。(**25**)
シナイ	リモート受信しません。
5. プリント セッテイ	プリント機能を設定します。
1. ガゾウ シュクショウ	ファクス原稿を縮小して受信します。
スル	縮小受信します。
1. シュクショウ モード センタク	**ジドウ**：縮小率が自動的に設定されます。 コテイ：縮小率を事前に設定します。 97%、95%、**90%**、75%
2. シュクショウ ホウコウ センタク	**タテ ノミ**：縦方向のみ縮小します。 タテ ヨコ トモ：縦横を縮小します。
シナイ	縮小受信しません。
2. インジ ケイゾク	トナーがなくなった場合に印字を継続するかどうか設定します。
シナイ	印字を継続しないで代行受信します。
スル	印字を継続します。（トナーが完全になくなった場合は印字できません。）

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	設定内容
6. ポーリング ボックス	作成、変更、取り消しの機能を設定します。
1. サクセイ	ポーリングボックスを登録します。
1. ボックス メイショウ	ポーリングボックスの名前を入力します。（スペースを含めて 24 文字以内）
2. アンショウバンゴウ	ポーリングボックスの設定を保護するための暗証番号を入力します。（7 文字以内）
3. ソウシンゴノ ゲンコウ クリア	ポーリングで送信された原稿の処理を指定します。 **スル**、シナイ
2. ヘンコウ	ポーリングボックスの設定を変更します。
1. ボックス メイショウ	ボックス名称を変更します。
2. アンショウバンゴウ	暗証番号を変更します。
3. ソウシンゴノ ゲンコウ クリア	送信後の原稿クリア設定を変更します。
3. トリケシ	ポーリングボックスとその全設定を削除します。
7. システム カンリ セッテイ	FAX ホームポジションの機能を設定します。
1. メモリ ジュシン	メモリ受信機能を設定します。
シナイ	原稿を受信すると同時にプリントします。
スル	すべての原稿をメモリ受信します。暗証番号を入力するか、< シナイ > に設定するまで、原稿はプリントされません。
1. プリント アンショウバンゴウ	メモリ受信設定の暗証番号を入力します。（7 文字以内）
2. レポート	送受信結果レポートや通信管理レポートをプリントするかどうか設定します。
プリント シナイ	レポートをプリントしません。（メモリ受信を解除するとプリントします。）
プリント スル	レポートをプリントします。
2. FAX ホームポジション	FAX ホームポジションの機能を設定します。
1. カイゾウド	ファクスの解像度を設定します。
シナイ	オートクリア後も [画質] で設定した解像度が維持されます。
ヒョウジュン	文字のみのほとんどの原稿に適しています。
ファイン	文字の小さな原稿に適しています。
シャシン	写真を含む原稿に適しています。
スーパーファイン	小さい文字や画像を含む原稿に適しています。（ヒョウジュンの 4 倍の解像度）
ウルトラファイン	小さい文字や画像を含む原稿に適しています。（ヒョウジュンの 8 倍の解像度）
2. ヨミトリ ノウド	標準の読み取り濃度を設定します。 **シナイ**、ウスク、フツウ、コク

（**太字**は工場出荷時の設定）

5. 宛先登録

設定項目	設定内容
1. ワンタッチ ダイヤル	ワンタッチダイヤルのデータを登録します。 最大 32 箇所登録できます。
ワンタッチ ダイヤル	ワンタッチダイヤルを選択します。
1. デンワバンゴウ	相手の電話番号を登録します。 （スペースを含めて 120 桁以内）
2. ナマエ	相手の名前を登録します。（スペースを含めて 16 文字以内）
2. タンシュク ダイヤル	短縮ダイヤルのデータを登録します。 最大 100 箇所登録できます。
タンシュク ダイヤル	短縮ダイヤルを選択します。
1. デンワバンゴウ	相手の電話番号を登録します。 （スペースを含めて 120 桁以内）
2. ナマエ	相手の名前を登録します。（スペースを含めて 16 文字以内）
3. グループ ダイヤル	グループダイヤルのデータを登録します。 1 グループに最大 131 箇所登録できます。
グループ ダイヤル	グループダイヤルを選択します。
1. デンワバンゴウ	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを指定することで、相手の電話番号を登録します。
2. ナマエ	グループの名前を登録します。（スペースを含めて 16 文字以内）

（**太字**は工場出荷時の設定）

6. プリント設定

設定項目	設定内容
1. ヒョウジュン ブスウ	プリンタ機能の通常のページ枚数を設定します。 01 ～ 99 (**01**)
2. ジドウ エラースキップ	エラーを自動的にスキップしてプリントするか、スキップしないかを設定します。
スル	自動エラースキップをオンにします。エラーをスキップして、エラーコードを表示せずに次のジョブに自動的に移ります。
シナイ	自動エラースキップをオフにします。手動でエラーをスキップして次のジョブに移ります。
3. エラータイムアウト	コンピュータからデータを受け取れない場合に本製品がエラーを返すまでの時間を設定します。
スル	エラータイムアウトをオンにします。タイムアウト時間を設定します。 005 ～ 300 ビョウ（**015 ビョウ**）
シナイ	エラータイムアウトをオフにします。
4. プリンタ リセット	受信中のジョブと受信済みのジョブを取り消します。

（**太字**は工場出荷時の設定）

7. タイマー設定

設定項目	設定内容
1. ヒヅケ / ジコク セット	現在の日付と時刻を入力します。
2. オートクリア	オートクリア機能を設定します。本製品を一定時間操作しなかった場合に、ディスプレイの表示がスタンバイモードに戻ります。
スル	オートクリア機能をオンにします。 1 ～ 9 フン（**2 フン**）
シナイ	オートクリア機能をオフにします。
3. オート セツデン	節電モードを設定します。
スル	節電モードに移行します。 03 ～ 30 フン（**05 フン**）
シナイ	節電モードをオフにします。
4. ヒヅケ / ジコク タイプ	ヒヅケ/ジコクセット　メニューの形式とディスプレイに表示される日付のタイプを設定します。 **YYYY MM/DD**、MM/DD/YYYY、DD/MM YYYY

（**太字**は工場出荷時の設定）

8. リストプリント

設定項目	設定内容
1. ユーザデータ	メニューに設定/登録されている項目のリストを出力します。
2. ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されているファクス/電話番号のリストをプリントします。
1. ワンタッチ ダイヤルリスト 1	ワンタッチダイヤルリストをプリントします。
1. ソート シナイ	項目をソートせずにプリントします。
2. ソート スル	項目をソートしてプリントします。
2. タンシュク ダイヤルリスト 1	短縮ダイヤルリストをプリントします。
1. ソート シナイ	項目をソートせずにプリントします。
2. ソート スル	項目をソートしてプリントします。
3. グループ ダイヤルリスト	グループダイヤルリストをプリントします。
3. レポート チュウシ	レポートの出力を中止します。出力を取り消すレポートを選択します。
レポート ジョウキョウ	レポート状況を表示して、取り消すレポートジョブを選択できます。ジョブを選択して、[OK] を押してください。
レポートヲ チュウシ シマスカ？ ハイ	リストの出力を取り消します。
レポートヲ チュウシ シマスカ？ イイエ	リストの出力を取り消しません。

（**太字**は工場出荷時の設定）

15
CHAPTER

付録

本製品の仕様や索引を一覧します。

おもな仕様

全般

適用回線	公衆電話交換網（PSTN）
直流抵抗値	約 320Ω*
通信モード	G3
圧縮方法	MH 方式、MR 方式、MMR 方式、JBIG 方式
モデムタイプ	FAX モデム
モデム速度	33.6、31.2、28.8、26.4、24、21.6、19.2、16.8、14.4、12、9.6、7.2、4.8、2.4 Kbps（自動フォールバック）
送信速度	約 3 秒 / ページ **（メモリからの送信時）
送受信メモリ	約 8MB、DRAM、JBIG ストレージ 約 510 ページ *** 使用メモリ量をディスプレイに表示
液晶ディスプレイ	2 段（1 行につき 20 桁）
電源	100V(90V ～ 110 V)/ 50/60Hz
消費電力	最大：約 550W 以下　最小：約 9W　節電モード時：約 5.5W
寸法	438mm（幅）x 401mm（奥行）x 336mm（高さ）（トレイやオプションのハンドセットを装着していない場合の本体のみの寸法）
重量	約 11kg
使用環境	周囲温度：10 ˚C～ 32.5 ˚C 周囲湿度：20% ～ 80% RH
PC インタフェース	USB インタフェース

* 電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が 1700Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

** キヤノン FAX 標準チャート No.1 基準、JBIG、標準モードに基づいて算出しています。

*** キヤノン FAX 標準チャート No.1 基準、標準モードに基づいて算出しています。

普通紙ファクス

ADF の最大積載枚数 *	50 枚（A4、レターサイズ使用時） 20 枚（B4、リーガルサイズ使用時） 1 枚（A4、レター、リーガル以外の用紙使用時）
原稿サイズ	複数枚の場合：最大 257 x 364mm、最小 148 x 105mm 1 枚の場合：最大 257mm x 約 1m、最小 148 x 105mm
原稿の厚み	複数枚の場合：0.06 〜 0.13mm 1 枚の場合：0.06 〜 0.23mm
原稿の重量	複数枚の場合：40 〜 105 g/m^2 1 枚の場合：40 〜 240 g/m^2
送信時間	約 3 秒 **（G3 JBIG）
解像度	標準モード：8 pixels/mm x 3.85 lines/mm ファインモード：8 pixels/mm x 7.7 lines/mm 写真モード：8 pixels/mm x 7.7 lines/mm スーパーファインモード：8 pixels/mm x 15.4 lines/mm ウルトラファインモード：16 pixels/mm x 15.4 lines/mm
読み取り画像処理	超高品質画像 プロセシングシステム（UHQ(tm)） ハーフトーン：256 階調 9 段階の濃度調節
記録方式	レーザ光プリント
ファクスプリント速度	約 18 ページ / 分 **
ダイヤル方式	オートダイヤル機能 : - ワンタッチダイヤル（32 箇所） - 短縮ダイヤル（100 箇所） - グループダイヤル（131 箇所） 通常のテンキーを使ったダイヤル（数字ボタンを使用） 自動リダイヤル 手動リダイヤル ポーズボタン
通信機能	タイマー通信（1 回の指定時間に最大 142 箇所） 同報送信（最大 142 箇所） 自動受信 無鳴動受信 ECM の無効
レポート / レファレンス	通信管理レポート（最大 20 件） エラー送信レポート 送信結果レポート マルチ通信結果レポート 受信結果レポート 発信元記録（TTI: Transmit Terminal Identification）
トナー節約	受信ファクスプリント用のエコノミープリントモードで、トナー消費量を約 30%削減

* 75 g/m^2 の用紙に基づいて算出しています。
** キヤノン FAX 標準チャート No.1 基準、A4、標準モードに基づいて算出しています。

コピー機

解像度	300 x 300 dpi
デフォルトサイズ	100%
拡大縮小	50 ～ 200%
部数コピー	1 つの原稿を最大 99 部

電話

- FAX/TEL 自動切り替え
- 留守番電話接続（CNG 信号）
- 電話機接続
- オプションのハンドセット接続
- 電話によるリモート受信（デフォルトの受信 ID：25）
- トーンボタン
- リダイヤル / ポーズボタン

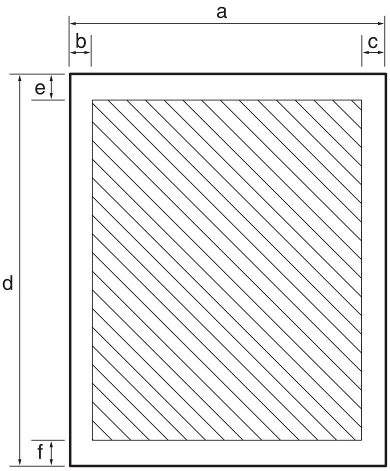
プリンタ

プリント方式	レーザ光プリント
書き込み解像度	1200 dpi 相当 x 600 dpi
給紙	自動給紙
カセット給紙	64g/m^2 ～ 128 g/m^2、マルチフィーダ：64 g/m^2 ～ 128 g/m^2
記録用紙	普通紙、カラー用紙、再生紙（100% 再生紙も含む）、OHP フィルム、封筒、ラベル、厚紙（最大 128 g/m^2）、はがき、往復はがき
封筒サイズ	洋形 4 号（235 x 105mm） 洋形 2 号（162 x 114mm）
プリント幅	最長 206mm（A4）
給紙システム	カセット給紙：250 枚（64 g/m^2） マルチフィーダ：1 枚
トナーカートリッジ	キヤノン純正品　カートリッジ W スターター（プリント可能枚数：A4 サイズで約 2,500 枚（A4 で印字率 5%）） キヤノン純正品　カートリッジ W（プリント可能枚数：A4サイズで約 3,500 枚（A4 で印字率 5%））

製品改良のため仕様は予告なく変更する場合があります。
十分なプリント品質を得るために､キヤノンの推奨する用紙と OHP フィルムのご使用をおすすめします。市販の用紙には本製品での使用に適さないものがあります。用紙および OHP フィルムについてご不明の点があるときは、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

■ プリント範囲：用紙

下図の斜線部分がプリント可能な範囲です。

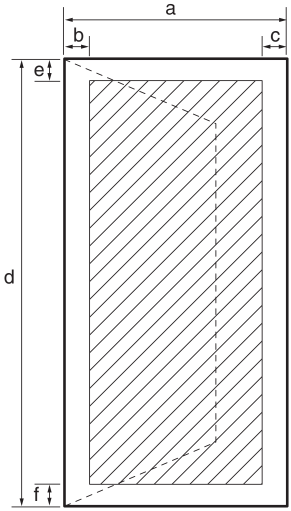


● プリント可能な範囲

	A4 サイズ	レターサイズ	リーガルサイズ
a:	210mm	8.5 インチ	8.5 インチ
b:	最大 5.0mm	最大 0.2 インチ	最大 0.2 インチ
c:	最大 5.0mm	最大 0.2 インチ	最大 0.2 インチ
d:	297mm	11.0 インチ	14.0 インチ
e:	最大 5.0mm	最大 0.2 インチ	最大 0.2 インチ
f:	最大 5.0mm	最大 0.2 インチ	最大 0.2 インチ

■ プリント範囲：封筒

斜線部分がプリント可能な範囲です。



● プリント可能な範囲

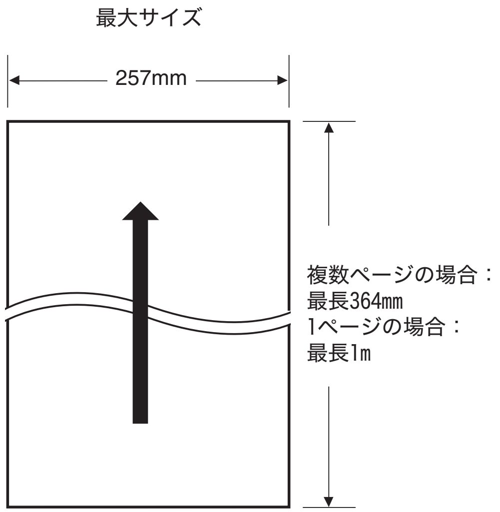
	洋形４号	洋形２号
a:	105mm	114mm
b:	最大 5.0mm	最大 5.0mm
c:	最大 5.0mm	最大 5.0mm
d:	235mm	162mm
e:	最大 5.0mm	最大 5.0mm
f:	最大 5.0mm	最大 5.0mm

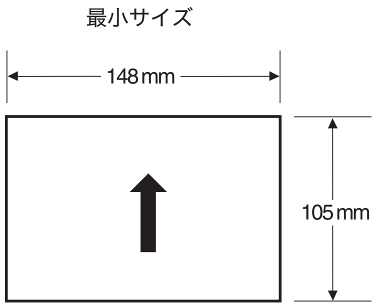
注意 封筒の種類によっては、封筒の縁にプリントできないことがあります。

15 付録

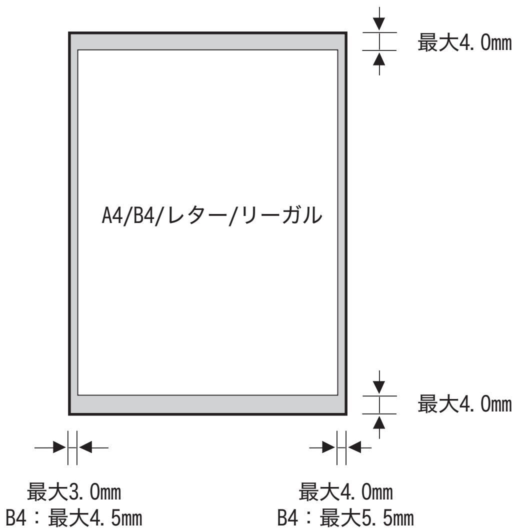
原稿サイズ

本製品で使用できる原稿の最大サイズと最小サイズです。





A4、B4、レター、リーガルサイズの原稿で、ファクスやスキャン時に読み取られる範囲です。



各辺の余白は読み取り範囲外です。

プリンタドライバ

動作環境	以下の Pentium プロセッサを搭載した IBM 互換 PC Microsoft Windows® 98、Windows® Me、 Windows® 2000、Windows® XP - Windows® 98：90MHz 以上の Pentium プロセッサ / メモリ 32MB 以上、ハードディスク空き容量 100MB 以上 - Windows® Me：150MHz 以上の Pentium プロセッサ / メモリ 32MB 以上、ハードディスク空き容量 100MB 以上 - Windows® 2000：133MHz 以上の Pentium プロセッサ / メモリ 64MB 以上（Windows® 2000 Professional）、ハードディスク空き容量 500 MB 以上 - Windows® XP：233MHz 以上の Pentium プロセッサ / メモリ 64MB、ハードディスク空き容量 500MB 以上 256 色 SVGA ディスプレイ以上 USB ポート USB ケーブル（5 メートル以内） CD-ROM ドライブまたはネットワーク経由でアクセスする CD-ROM ドライブ

索引

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
(全国共通番号)

050-555-90055

[受付時間] 〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
(1/1〜3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

FA7-8883 (020) XXXXXXXXXX PRINTED IN CHINA